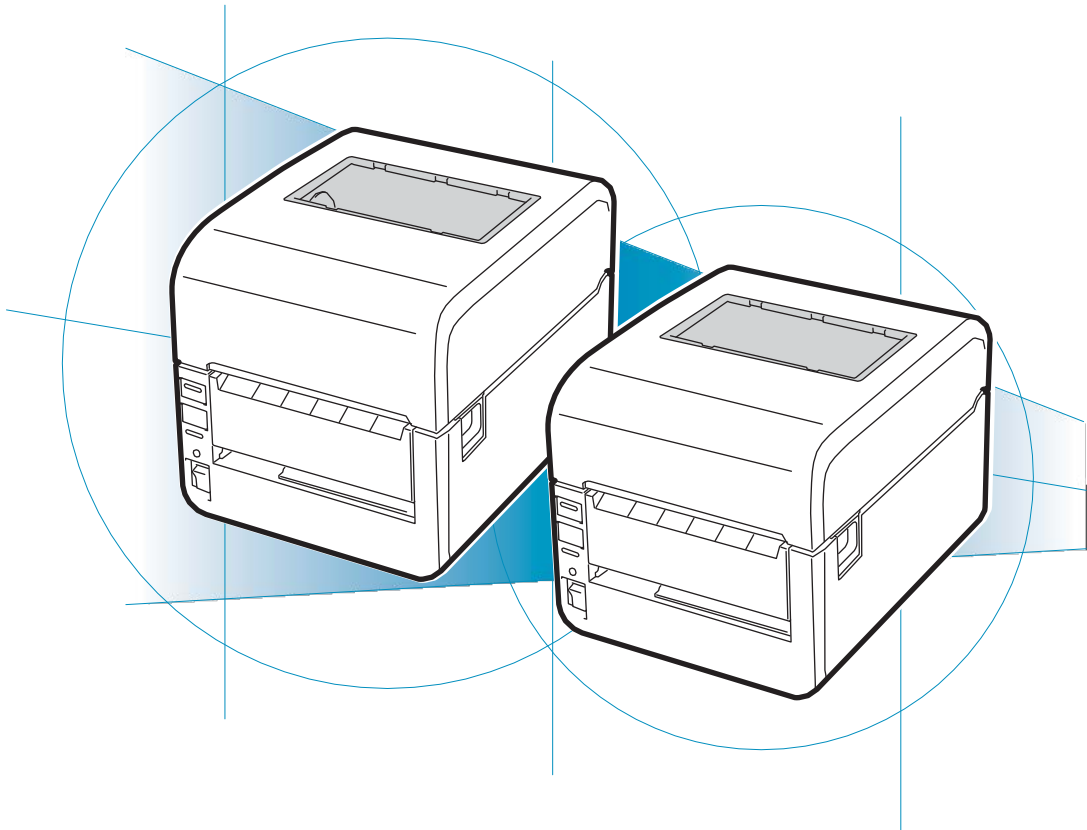


FP-43L シリーズ

ラベルプリンター ソフトウェアマニュアル



KA02094-Y930

初版

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OS の表記について

このマニュアルでは OS を以下のように略して表記しています。

Windows 10 は Microsoft Windows 10 Home operating system、Microsoft Windows 10 Pro operating system、および Microsoft Windows 10 Enterprise operating system の略です。

Windows 8.1 は Microsoft Windows 8.1 operating system、Microsoft Windows 8.1 Pro operating system、および Microsoft Windows 8.1 Enterprise operating system の略です。

Windows 8 は Microsoft Windows 8 operating system、Microsoft Windows 8 Pro operating system および Microsoft Windows 8 Enterprise operating system の略です。

Windows 7 は Microsoft Windows 7 Ultimate operating system および Microsoft Windows 7 Enterprise operating system、Microsoft Windows 7 Business operating system、Microsoft Windows 7 Home Premium operating system、Microsoft Windows 7 Starter operating system の略です。

Windows Vista は Microsoft Windows Vista Ultimate operating system および Microsoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating system の略です。

Windows Server 2012 R2 は、Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2012 は、Microsoft Windows Server 2012 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2012 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2008 は、Microsoft Windows Server 2008 operating system, Standard 日本語版、Windows Server 2008 operating system, Enterprise 日本語版、Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system, Standard 日本語版 および Windows Server 2008 R2 operating system, Enterprise 日本語版の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 富士通アイソテック株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については 4 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは富士通アイソテック株式会社のラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。本マニュアルは、ラベルプリンター「FP-43L」（以降「本プリンター」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引き書です。本マニュアルには本プリンターの操作に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。なお、ユーザーズマニュアルではプリンターを初めてお使いになる時の手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章 プリンタードライバー

本プリンターのプリンタードライバーのインストール方法、およびプリンタードライバーを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第2章 リモートパネル

リモートパネルのインストール方法、およびリモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第3章 プリンタドライバー括設定ツール

本プリンターに添付のソフトウェア CD-ROM に含まれている「プリンタドライバー括設定ツール」の使用方法について説明しています。

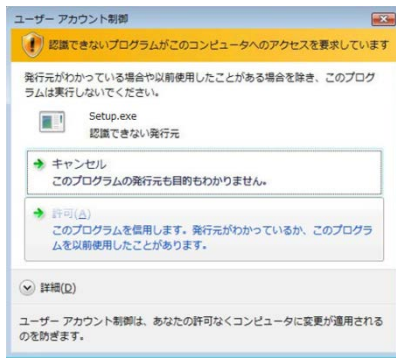
プリンターソフトウェアについて

～インストール／アンインストール前の注意事項～

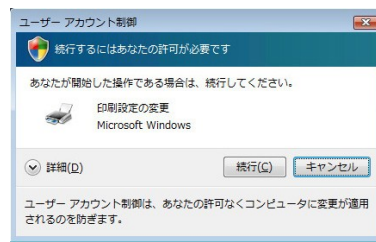
本プリンターに添付のソフトウェア CD-ROM に収録されたプリンターソフトウェアのインストールまたはアンインストールをする前の注意事項について説明します。

基本的な操作およびセットアップについては各 OS に添付のマニュアルなどをご覧ください。

- ・ 操作中に [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [許可] (または [続行]) の操作をして先に進んでください。



ソフトウェア CD-ROM をセット
したときの表示例

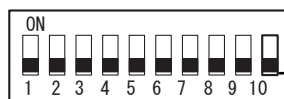


コンピューターの管理者の
場合の表示例



標準ユーザーの場合の
表示例

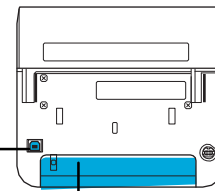
- ・ 他のユーザーがお使いのコンピューターにログオンしている場合、プリンターソフトウェアのインストールは行えません。各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
- ・ プリンターソフトウェアをインストール (またはアンインストール) する場合は、実施者が「コンピューターの管理者」である必要があります。
- ・ プリンタードライバをインストール (またはアンインストール) する前にすべてのアプリケーションを終了させてください。
- ・ 添付のソフトウェア CD-ROM は、CD-ROM をドライブにセットするだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある Setup.exe を実行してください。
- ・ プリンタードライバは印刷中にアンインストールを行うことはできません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- ・ プリンターに標準装備の USB インターフェースを使用する場合は、プリンターの DIP SW の設定を確認してください。



DIP SW10

OFF : インターフェイスボードの
インターフェースを使用する
(工場出荷時の設定)

ON : 本体の USB インターフェース
を使用する



インターフェイスボード装着部に装
着されているインターフェースを使
用する場合は「OFF」にする。

本体標準装備の USB インターフェースを使用
する場合は「ON」にする。

目 次

はじめに	ii
マニュアルの構成	ii
プリンターソフトウェアについて	iii
1 章 プリンタードライバ	1
1-1 プリンタードライバのインストール	1
インストーラを使う	2
プラグ・アンド・プレイによるインストール	9
1-2 プリンタードライバの選択	12
1-3 プリンタードライバの削除(アンインストール)	14
1-4 印刷の手順	16
1-5 印刷先の変更	17
USB インターフェースへの切り替え	18
LAN インターフェースへの切り替え	20
1-6 共有プリンターに設定する	22
1-7 印刷の詳細設定	24
[印刷設定]ダイアログボックスで詳細設定を行う([レイアウト]シート)	25
[プロパティ]ダイアログボックスで詳細設定を行う	35
1-8 ユーザー定義用紙サイズの登録	38
用紙サイズについて	38
登録手順	40
1-9 印刷の指示	43
印刷の種類と方法	43
連続印刷	44
1-10 プリンター制御フォントの使用方法	50
プリンタードライバの設定	50
アプリケーションでの指定方法	52
「FIT プリンター制御」フォントを使ったカット指定	54
「FIT プリンター制御(ファイル)」フォントを使ったカット指定	56
1-11 プリンタードライバに関する問題一覧	57
2 章 リモートパネル	58
2-1 リモートパネルのインストールとアンインストール	58
リモートパネルのインストール	58
リモートパネルの削除(アンインストール)	60
2-2 リモートパネルの起動	61
2-3 リモートパネルの使い方	62
2-4 設定変更手順	77
2-5 リモートパネルが正しく動作しないときは	78
3 章 プリンタドライバ一括設定ツール	79
3-1 制限事項・注意事項	80
3-2 起動方法	81
3-3 準 備	82
プリンターの追加	82
用紙情報の取得	84
プリンター設定の取得	85
3-4 展 開	87
用紙の追加	87
プリンターの追加	88
プリンター設定の更新	89

1 章 プリンタードライバー

プリンタードライバーは、本プリンターで印刷を行うために必要なソフトウェアです。ここでは以下について説明します。

1-1 プリンタードライバーのインストール

装置に添付の「ソフトウェア CD-ROM」を使ってお使いになるコンピュータにソフトウェアをインストールする手順およびアンインストールをする手順について説明します。

本プリンターのプリンターソフトウェアはプリンターと USB およびネットワークで接続されているコンピュータにインストールすることができます。

また、お使いのコンピュータには次の Windows OS がインストールされている必要があります。

- ・ Windows 10 日本語版
- ・ Windows 8.1 日本語版
- ・ Windows 8 日本語版
- ・ Windows 7 日本語版
- ・ Windows Vista 日本語版
- ・ Windows Server 2012 R2 日本語版
- ・ Windows Server 2012 日本語版
- ・ Windows Server 2008 R2 日本語版
- ・ Windows Server 2008 日本語版

添付のソフトウェア CD-ROM を使ったインストール方法には次の 2 つの方法があります。

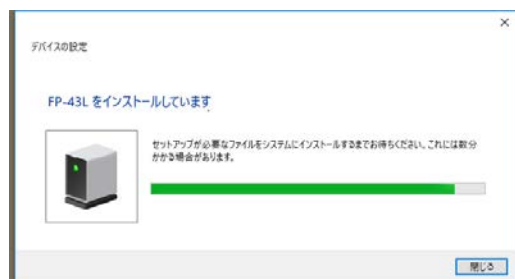
・ インストーラを使う

インストールメニューの [標準用プリンタドライバ] ボタンまたは [リストバンド用プリンタドライバ] ボタンをクリックすると、「プリンターの追加ウィザード」が起動します。このウィザードに従って作業を進めることでプリンタードライバーがインストールされます。プリントサーバーを装着したプリンターで LAN インターフェースを使用する場合、またはプラグ・アンド・プレイが起動しなかった場合に使用します。なお、LAN インターフェースを使用する場合は、あらかじめプリントサーバーのセットアップが必要です。プリントサーバーのマニュアルを参照してあらかじめセットアップを完了させておいてください。



・ プラグ・アンド・プレイ機能を使う

プリンターとお使いになるコンピュータが USB ケーブル接続されている場合、プリンター、コンピュータの順に電源を ON にすると自動的に起動する Windows のプラグ・アンド・プレイ機能を使用します。



Windows の [プリンターのインストール] (または [プリンターの追加]) 機能の利用

Windows OS の [プリンター] (または [デバイスとプリンター]) フォルダーから操作できる [プリンターのインストール] (または [プリンターの追加]) を使ってインストールすることもできます。次ページの「インストーラを使う」以降で説明している [プリンターの追加] または [プリンターの追加ウィザードの開始] ダイアログボックス以降の手順を参照してください。

インストーラを使う

添付のソフトウェア CD-ROM を起動すると、コンピューターの画面にダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになる場合も次の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。

LAN インターフェースでご使用する場合

LAN インターフェースでご使用する場合、FIT Print Server Port のインストールが必要です。FIT Print Server Port のインストールとポートのセットアップについては、プリントサーバオンラインマニュアルを参照してください。

Windows 10/8.1/8/Server 2012/2012 R2 日本語版の場合

ここでは、Windows 10 でのインストール方法を例に説明しています。

- 1 コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- 2 ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
C D 操作選択画面が表示されるのでクリックします。

DVD RW ドライブ (D:) FP_SETUP_V10
タップして、このディスク に対して行う操作を選んでください。

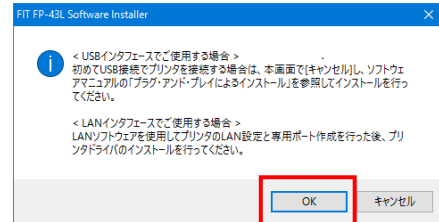
- 3 [Setup.exe の実行] をクリックします。
[FIT FP-43L Software Installer] ダイアログボックスが起動します。



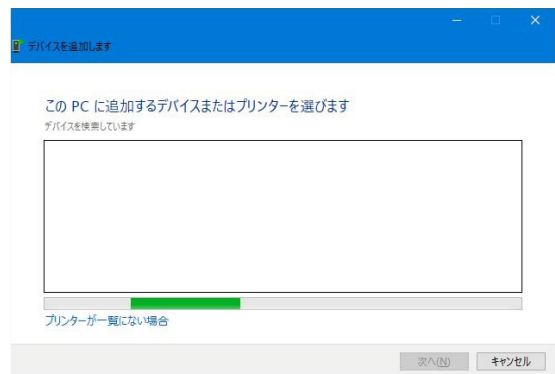
- 4 [標準用プリンタドライバ] ボタンをクリックします。
※リストバンド用ドライバーを使用する場合は[リストバンド用プリンタドライバ]をクリックします。



- 5 [OK] をクリックします。



- 6 プリンターの接続先を指定します。

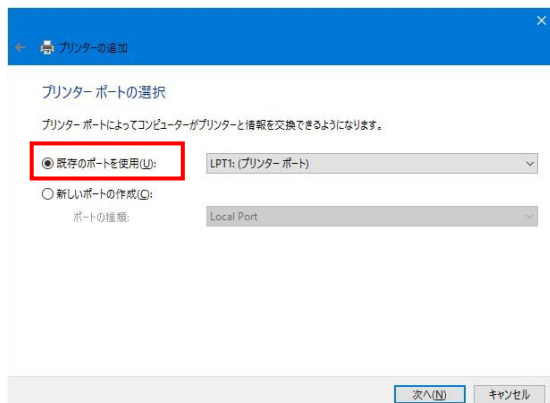


- ・有線 LAN または無線 LAN のネットワークを経由している場合
[探しているプリンターはこの一覧にはありません] または [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。
→ 7 へ
- ・USB インターフェイスを使用している場合
[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
→ 7 へ
- ・ネットワーク上の共有プリンターを使用する場合
目的のプリンターが表示された場合
一覧から目的のプリンターアイコンを選び、[次へ] をクリックします。
→ 10 へ
(一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。)
目的のプリンターが表示されなかった場合
[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
→ 以降は OS の取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定した後、10 へ

- 7 [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

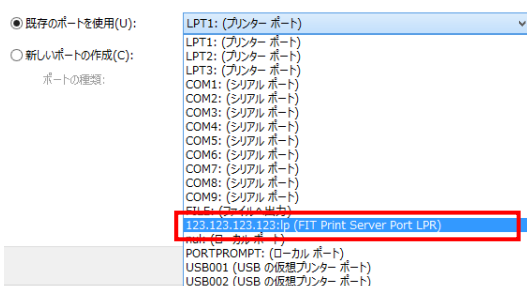
8

「既存のポートを使用」を選び、一覧から使用するポートを選択して「次へ」をクリックします。



- ・有線 LAN または無線 LAN のネットワークを使用している場合

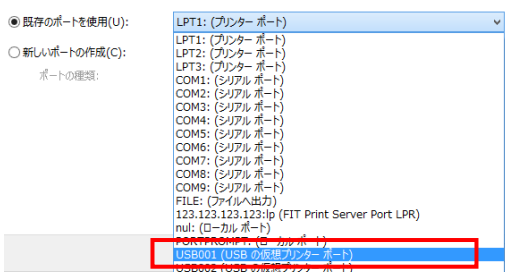
“123.123.123.123:lp (FIT Print Server Port LPR)” を選択します。



“123.123.123.123:lp” はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。目的のポートが一覧にない場合は、[新しいポートの作成] を選び、[ポートの種類] から [FIT Print Server Port] を選択して [次へ] をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順 9 へ進んでください。

- ・USB インターフェースを使用している場合

“USBnnn (USB の仮想プリンターポート)” を選択します (“nnn” は 001 から任意の 3 桁の数字です)。



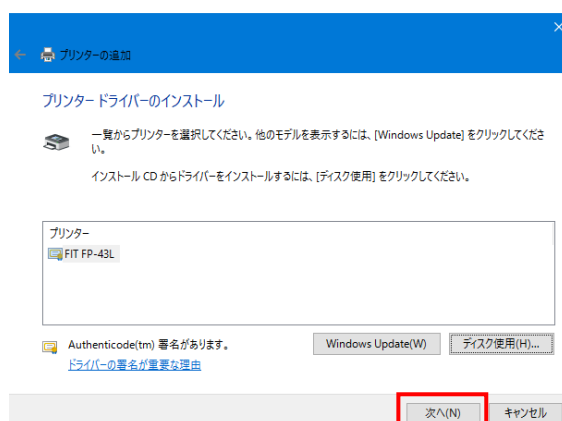
✓ チェック

USB のプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。初めて USB 接続で本プリンターを使用する場合は本節の「プラグ・アンド・プレイによるインストール」を参照してください。プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで [既存のポートを使用] から [USBnnn (USB の仮想プリンターポート)] を選択して 9 へ進んでください (“nnn” は 001 から任意の 3 桁の数字です)。

9

[プリンター] に表示されたリストの中からお使いのプリンター名 ([FIT FP-43L]) を選択し、[次へ] をクリックします。

リストバンド用の場合、[FIT FP-43L リストバンド (E-プ)] と [FIT FP-43L リストバンド (L)] から選択します。



✓ チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。[現在のドライバーを置き換える] を選んで次へ進んでください。

- 10 必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、[次へ] をクリックします。

お使いのラベルプリンターを簡単に識別できる名前を付けてください(例: FIT FP-43L)。

チェック

同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。

- 11 [インストール] をクリックします。
一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。

- 12 ネットワーク上でラベルプリンターを他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。

- 13 [完了] をクリックします。
[テストページの印刷] をクリックしないでください。

チェック

以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかどうかを選択してください。

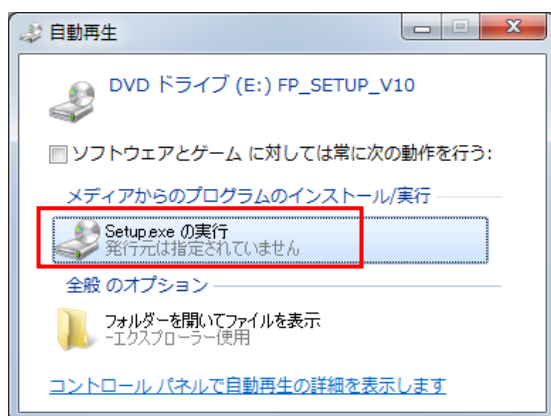
- 14 [コントロールパネル] の [ハードウェアとサウンド] にある [プリンター] をクリックして表示される一覧にインストールされたプリンターのアイコンが表示されたことを確認します。

これでインストールは完了です。

Windows 7/Vista/Server 2008日本語版の場合

ここでは、Windows 7 でのインストール方法を例に説明しています。

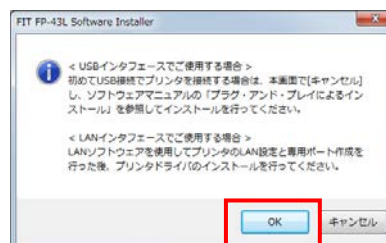
- 1 コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。
- 2 ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログボックスが起動します。
- 3 [Setup.exe の実行] をクリックします。
[FIT FP-43L Software Installer] ダイアログボックスが起動します。



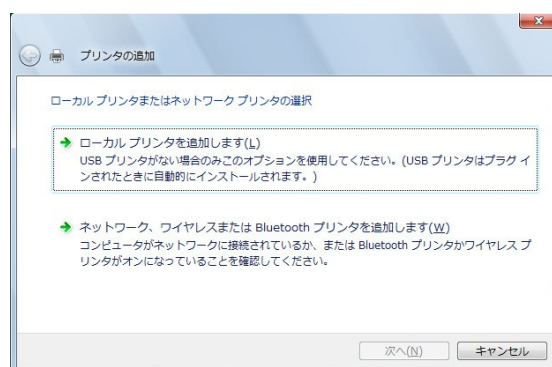
- 4 [標準用プリンタドライバ] ボタンをクリックします。
※リストバンド用ドライバーを使用する場合は[リストバンド用プリンタドライバ]をクリックします。



- 5 [OK] をクリックします。

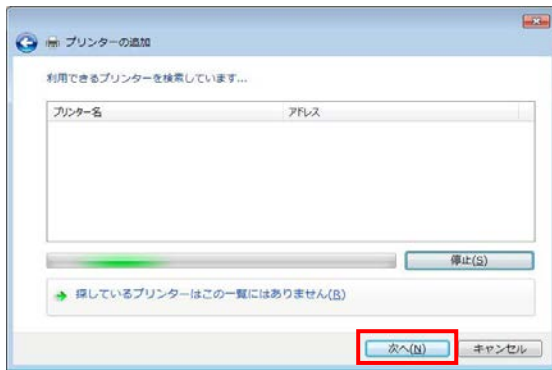


- 6 プリンターの接続先を指定します。



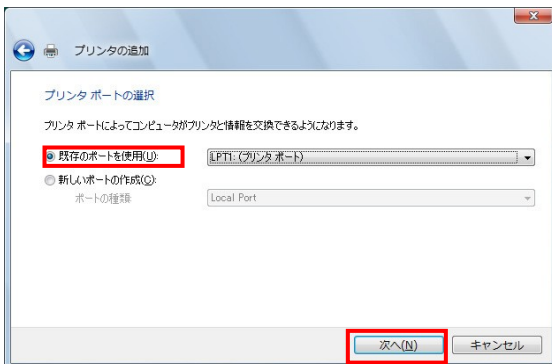
- ・有線 LAN または無線 LAN のネットワークを使用している場合
[ローカルプリンターを追加します] をクリックします。
→ 8 へ
- ・USB インターフェースを使用している場合
[ローカルプリンターを追加します] をクリックします。
→ 8 へ
- ・ネットワーク上の共有プリンターを使用する場合
[ネットワーク プリンター、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックします。
→ 7 へ

7 検索されたプリンターの一覧から目的のプリンターを選択します。



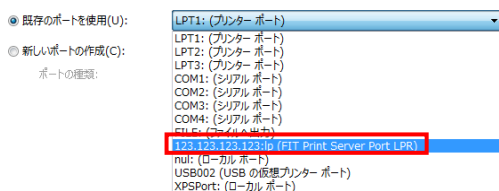
- ・目的のプリンターが表示された場合
一覧から目的のプリンターアイコンを選び、[次へ]をクリックします。
→11へ
(一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。)
- ・目的のプリンターが表示されなかった場合
[探しているプリンターはこの一覧にはありません]をクリックします。
→以降はOSの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定した後、11へ

8 [既存のポートを使用]を選び、一覧から使用するポートを選択して[次へ]をクリックします。



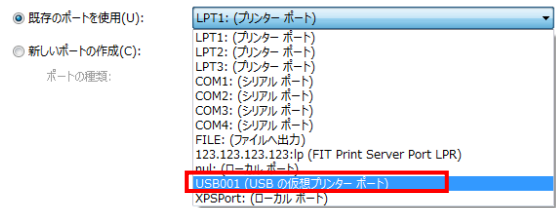
- ・有線 LAN または無線 LAN のネットワークを使用している場合

“123.123.123.123:lp (FIT Print Server Port LPR)” を選択します。



“123.123.123.123:lp” はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。目的のポートが一覧にない場合は、[新しいポートの作成]を選び、[ポートの種類]から[FIT Print Server Port]を選択して[次へ]をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順9へ進んでください。

- ・USB インターフェースを使用している場合 “USBnnn (USB の仮想プリンターポート)” を選択します。
(“nnn” は 001 から任意の3桁の数字です)

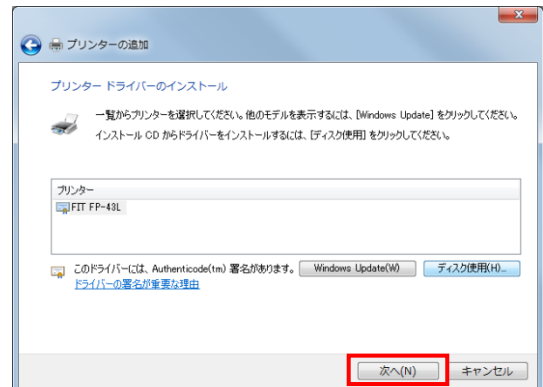


✓ チェック

USB のプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。初めて USB 接続で本プリンターを使用する場合は本節の「プラグ・アンド・プレイによるインストール」を参照してください。プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで [既存のポートを使用] から [USBnnn (USB の仮想プリンターポート)] を選択して9へ進んでください(“nnn” は 001 から任意の3桁の数字です)。

9 [プリンター]に表示されたリストの中からお使いのプリンター名 ([FIT FP-43L]) を選択し、[次へ]をクリックします。

リストバンド用の場合、[FIT FP-43L リストバンド® (E-プレス)]と[FIT FP-43L リストバンド® L]から選択します。

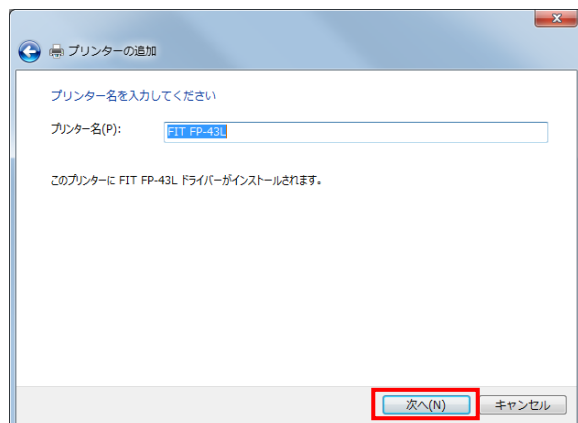


✓ チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。[現在のドライバーを置き換える]を選んで次へ進んでください。

11 必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、[次へ] をクリックします。

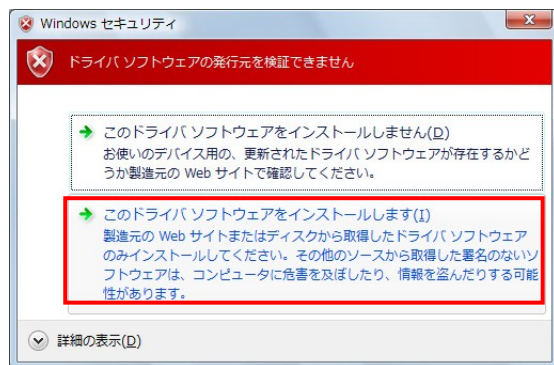
お使いのラベルプリンターを簡単に識別できる名前を付けてください（例：FIT FP-43L）。



✓ チェック

- ・ 同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。
- ・ 以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

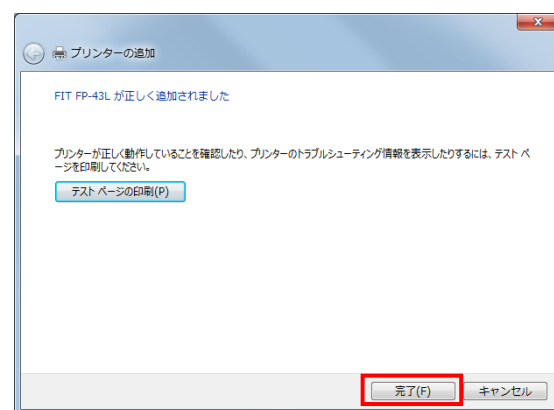
12 [このドライバソフトウェアをインストールします] または [インストール] をクリックします。一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。



13 ネットワーク上でラベルプリンターを他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。



14 [完了] をクリックします。 [テストページの印刷] をクリックしないでください。



15 [コントロールパネル] の [ハードウェアとサウンド] にある [プリンター] クリックして表示される一覧にインストールされたプリンターのアイコンが表示されたことを確認します。

これでインストールは完了です。

プラグ・アンド・プレイによるインストール

Windows の「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用したプリンタードライバのインストール方法について説明します。

✓ チェック

プラグ・アンド・プレイの注意点

- ・ USB のプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。
- ・ 本プリンターは一度、プラグ・アンド・プレイによるインストールを行うと、以降同じ USB ポートで抜き差しを行っても「新しいハードウェアの検出」ウィザードは表示されません*1。

*1 これまでと別の USB ポートに接続するなどして、「新しいハードウェアの検出」ウィザードが表示された場合、再度、プラグ・アンド・プレイによるインストールを行ってください。

ここでは Windows 7 でのインストール方法を例にしています。

1 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。

2 プリンターの電源スイッチを ON にします。

3 コンピューターの電源を ON にし、コンピューターを起動します。

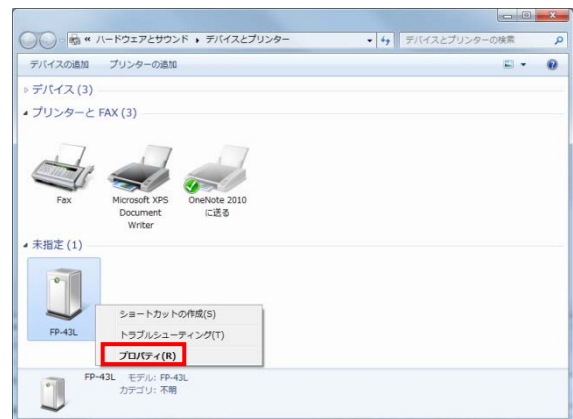
あらかじめコンピューターにプリンタードライバがインストールされている場合は、自動的にインストールが完了します。

プリンタードライバがインストールされていないときは、未指定のデバイスとして登録されます。

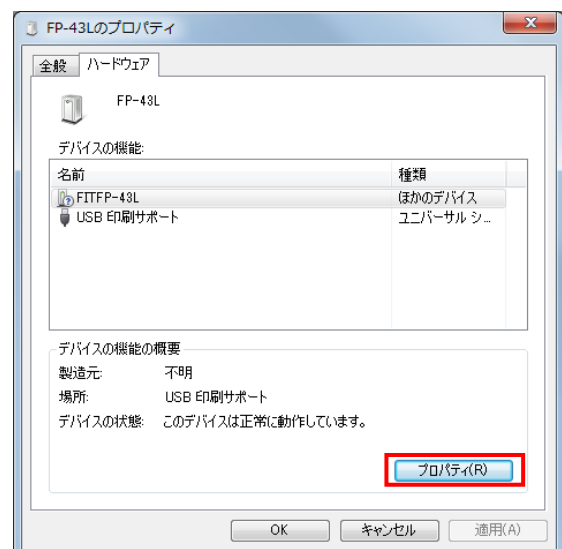
4 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「デバイスとプリンター」をクリックし、「FP-43L」を右クリックしてメニューを表示させます。



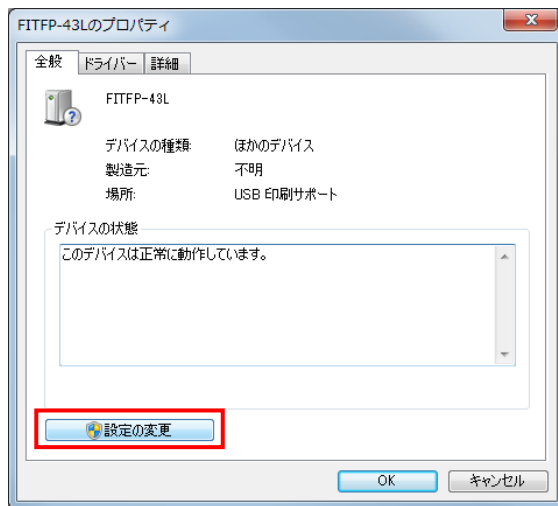
5 メニューから「プロパティ」をクリックします。



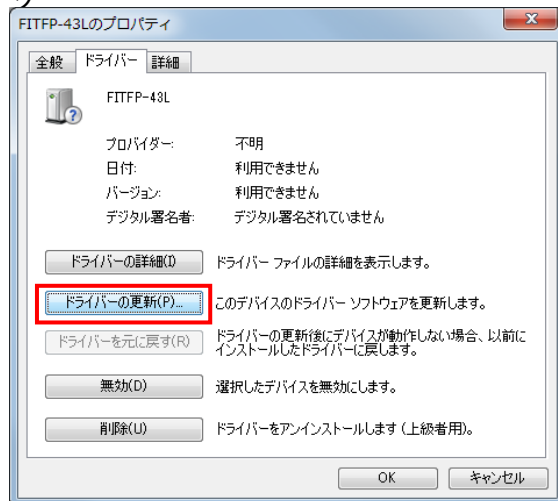
6 「ハードウェア」タブの「プロパティ」をクリックします。



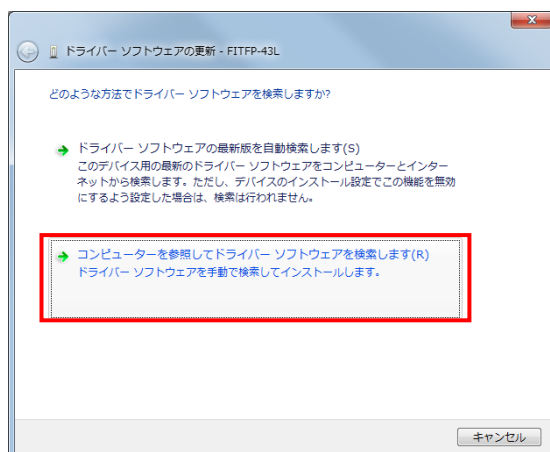
7 [全般] タブの [設定の変更] をクリックします。



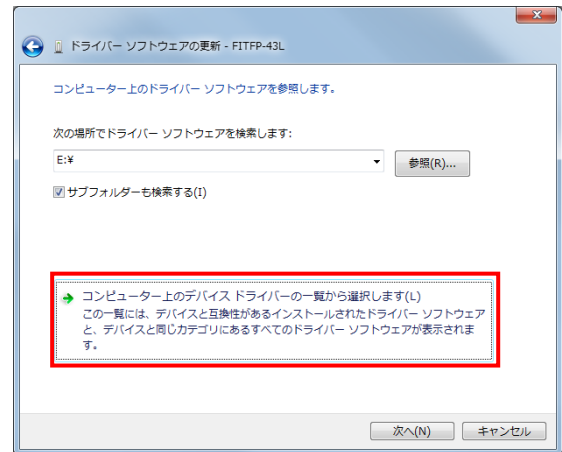
8 [ドライバー] タブの [ドライバーの更新] をクリック



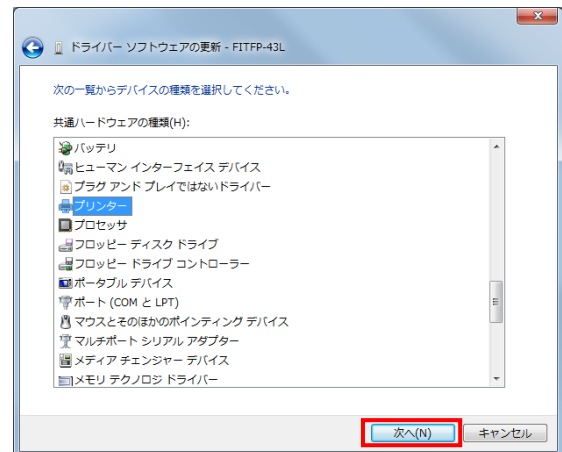
9 [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。



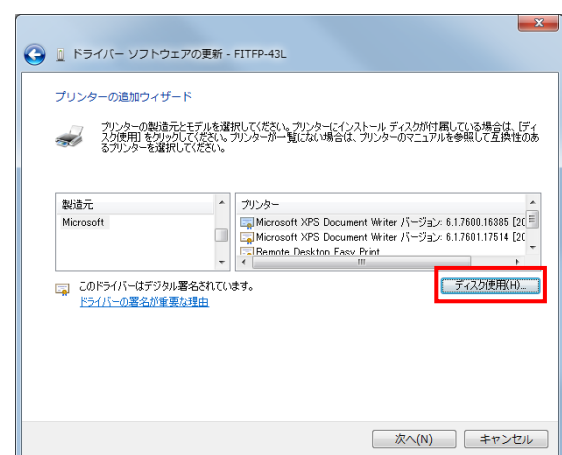
10 [コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します] をクリックします。



11 デバイスの種類から [プリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。



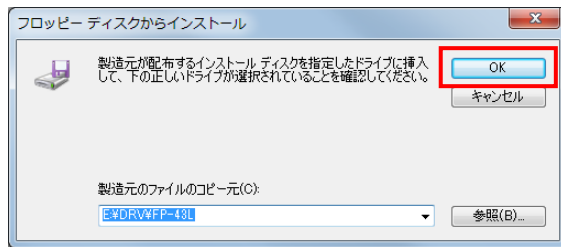
12 [ディスク使用] をクリックします。



13 [製造元のファイルのコピー元] を指定します。

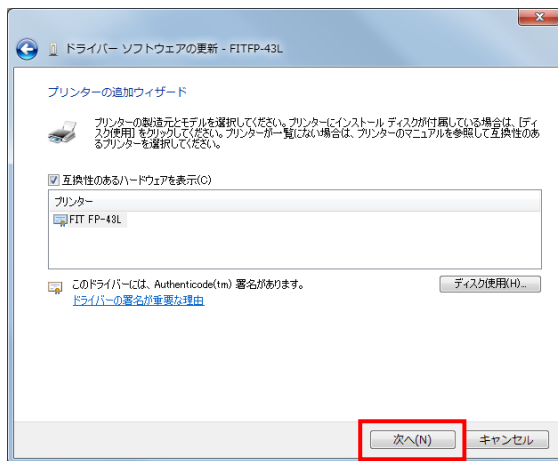
[製造元のファイルのコピー元] に、「(プリンターソフトウェア CD-ROM のセットされている) ドライブ名」、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて次の内容^{*1}を入力し、[OK] をクリックします。

^{*1} リストバンド用の場合、[DRV¥FP-43L_WristBand] と入力



14 [FIT FP-43L] を選択し、[次へ] をクリックします。

リストバンド用の場合、[FIT FP-43L リストバンド (E-ブレス)] と [FIT FP-43L リストバンド L] から、使用するドライバーを選択します。

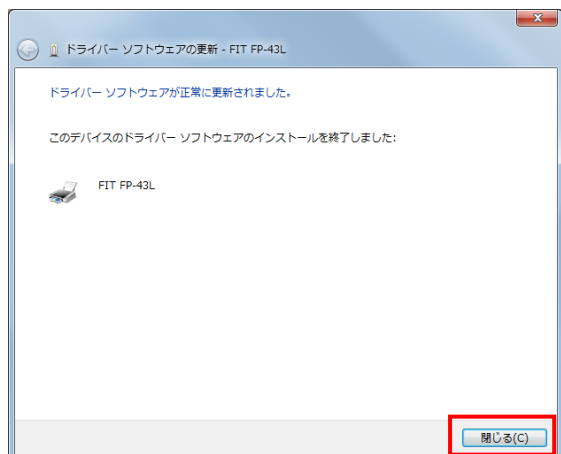


15 [インストール] をクリックします。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。



16 [閉じる] クリックします。



17 カテゴリがプリンターになっていることを確認します。



以上で完了です。

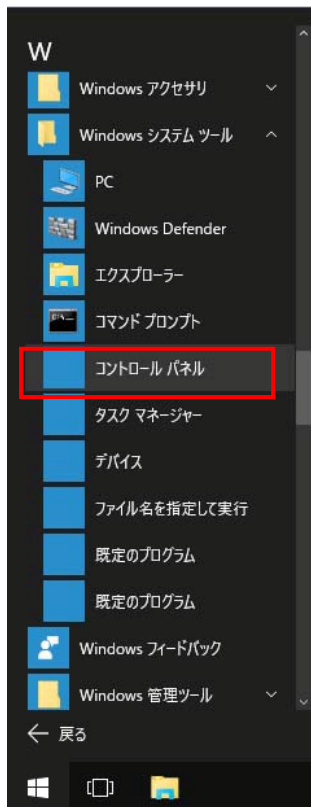
1-2 プリンタードライバの選択

1 台のコンピュータに複数のプリンタードライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタードライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタードライバを選択します。

- 1 コントロールパネルから[デバイスとプリンター]フォルダーまたは[プリンター]フォルダーを開きます。

Windows 10 の場合

- 1 [スタートボタン] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

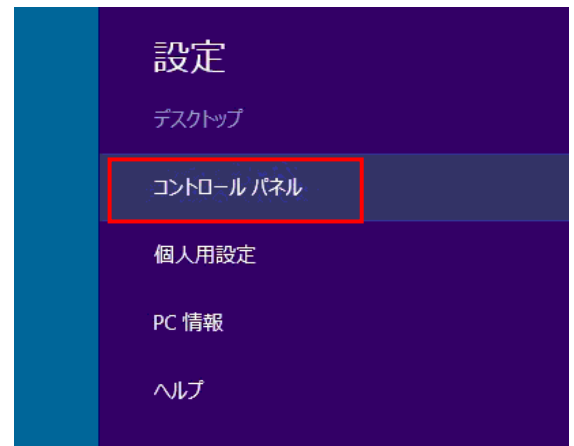


- 2 [ハードウェアとサウンド]項目内の[デバイスとプリンターの表示]をクリックします。



Windows 8/Server 2012 の場合

- 1 「Windows」キーを押しながら「D」キーを押してデスクトップを表示させ、マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。表示されたチャームから[設定チャーム]→[コントロールパネル]をクリックします。

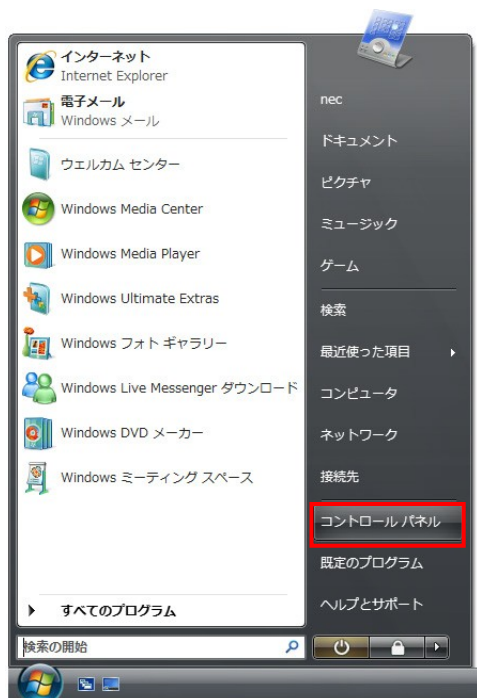


- 2 [ハードウェアとサウンド]項目内の[デバイスとプリンターの表示]をクリックします。

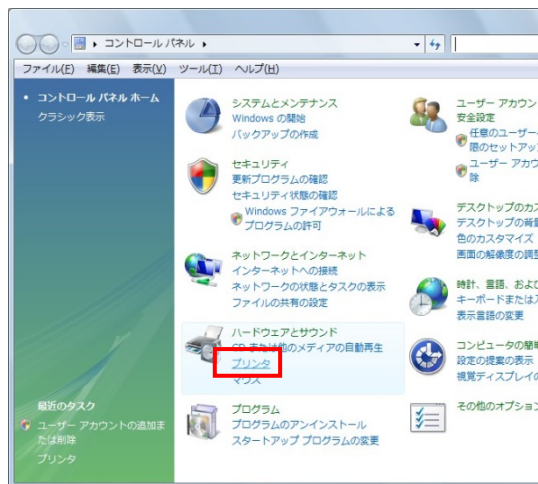


Windows 7/Vista/Server 2008 の場合

- 1 「スタート」 から 「コントロールパネル」 をクリックします。

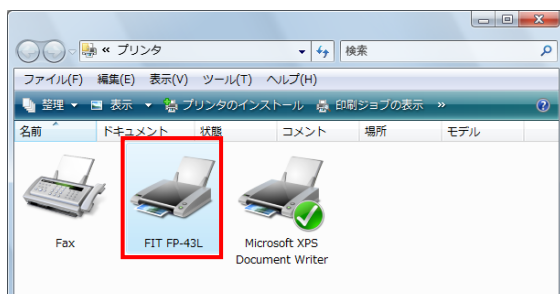


- 2 Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。

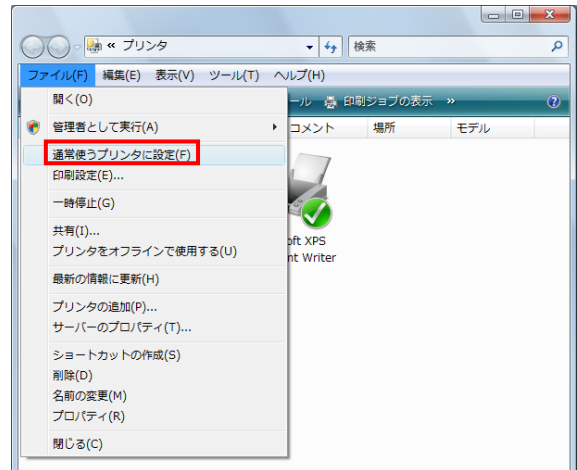


- 2 「FIT FP-43L」 アイコンをクリックします。

ドライバーのインストール時に付けた名前が表示されます。

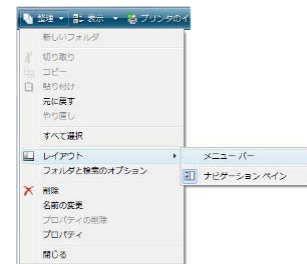


- 3 [ファイル] メニューの [通常使うプリンターに設定] をクリックします。



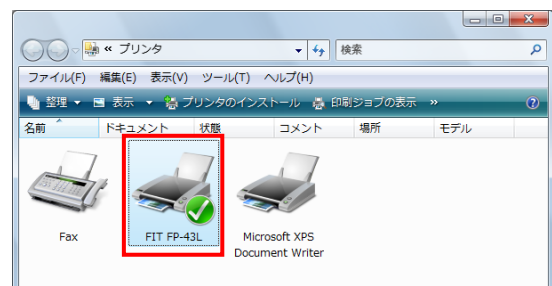
チェック

Windows Vista/Server 2008 をお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



コンピュータのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

これでプリンタードライバーが選択されます。



1-3 プリンタードライバーの削除(アンインストール)

プリンタードライバーの削除（アンインストール）方法を説明します。

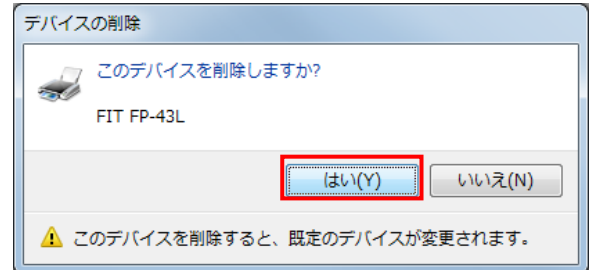
- 1 コントロールパネルから[デバイスとプリンター]フォルダーまたは[プリンター] フォルダーを開きます。
- 2 削除するプリンターのアイコンをクリックします。
- 3 プリンタードライバーの削除を行います。

Windows 10/8.1/8/7/Server 2012/Server 2008 R2 の場合は、メニューバーから[デバイスの削除]をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は[ファイル]メニューから[管理者として実行] - [削除]の順にクリックします。



- 4 [はい] をクリックします。
プリンタードライバーが削除されます。



プリンタードライバーのファイルを削除したい場合

プリンタードライバーを削除してもプリンタードライバーのファイルは削除されずに残っています。プリンタードライバーのファイルを削除したい場合は、次の手順で削除してください。

- 1 [デバイスとプリンター]フォルダーまたは[プリンター] フォルダーから[サーバーのプロパティ] 画面を表示させます。

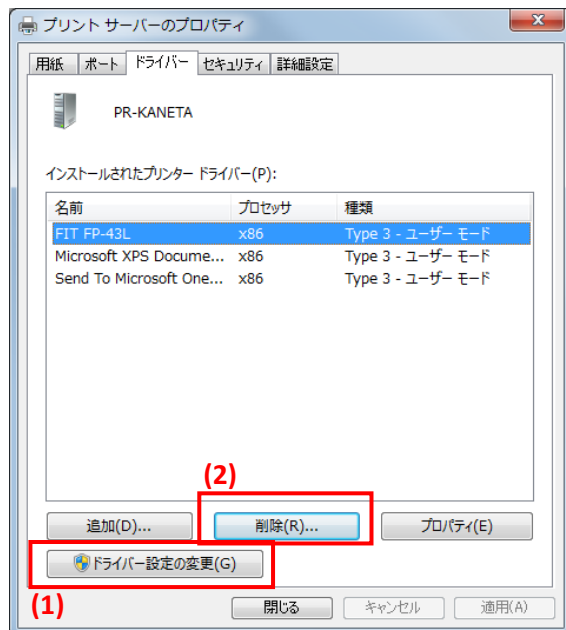
Windows 10/8.1/8/7 または Windows Server 2012/ 2008 R2 の場合は、プリンターフォルダ内に残っているプリンターを選択し、メニューバーの[プリントサーバープロパティ]をクリックすると開きます。

Windows Vista または Windows Server 2008 の場合は、[ファイル]メニューから、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ]の順にクリックします。



2 [ドライバー] タブをクリックします。

3 [インストールされたプリンタードライバー] 一覧から本プリンター（[FIT FP-43L]）をクリックし、[削除] をクリックします。



[ドライバー設定の変更] ボタンが表示されている場合は、クリックして管理者権限で実行してください。

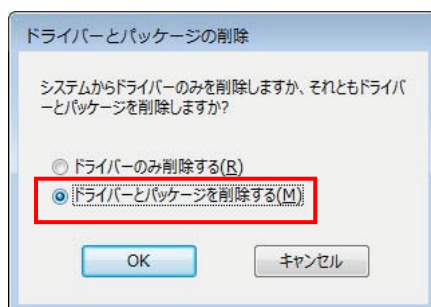
✓ チェック

削除できないことを示す画面が表示された場合は、いったん作業を取りやめた後、OS を再起動してください。その後、はじめからやり直してください。

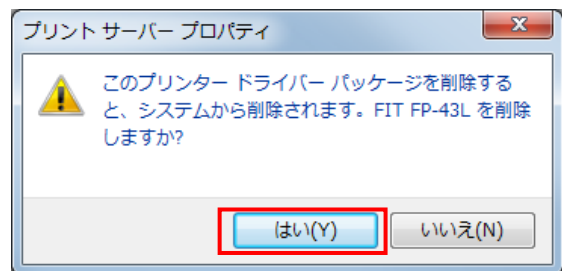
4 削除する内容を選択して [OK] をクリックします。

プリンタードライバーのみを削除するか、プリンタードライバーに関連する情報ファイルなど「ドライバーパッケージ」を含む一式を削除するかを選択します。
[プリンタードライバーのみ削除する] を選んで [OK] をクリックした場合はドライバーを削除して完了します。

[ドライバーとドライバーパッケージを削除する] を選んだ場合は次へ進んでください。

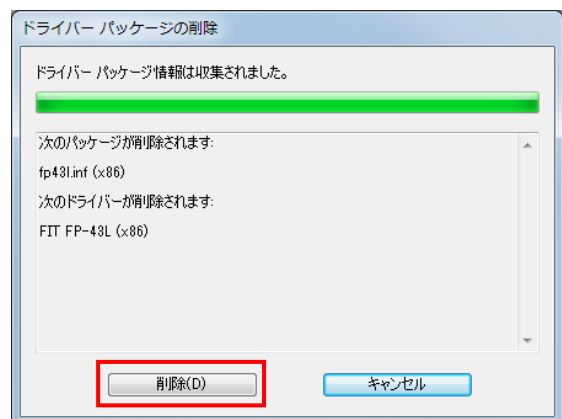


5 [はい] をクリックします。

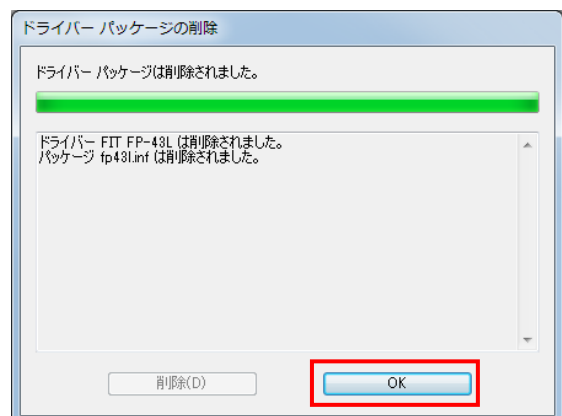


6 [削除] をクリックします。

[インストールされたプリンタードライバー] 一覧から [FIT FP-43L] が削除されます。



7 [OK] をクリックします。



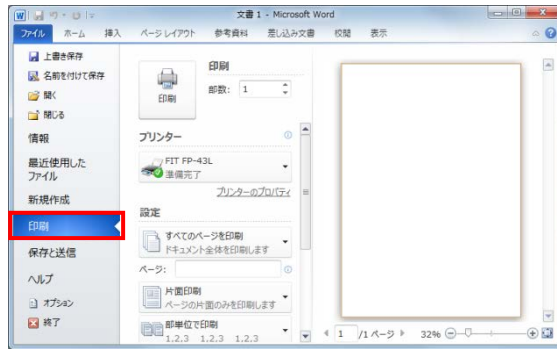
8 [インストールされたプリンタードライバー] 一覧から本プリンター（[FIT FP-43L]）が削除されたことを確認し、プロパティ画面を閉じます。

1-4 印刷の手順

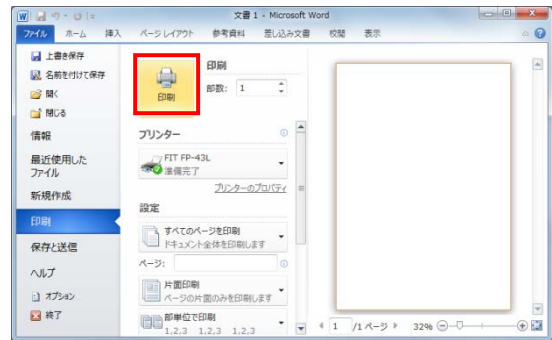
ここでは、Microsoft Word を使用した場合を例にとって印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。

「1-9 印刷の指示」も併せて参照してください。

- 1** Microsoft Word を起動して [ファイル] - [印刷] をクリックします。

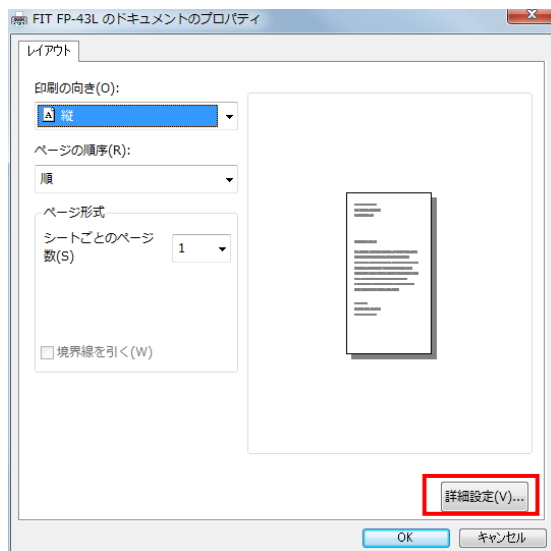


- 3** [印刷] をクリックします。
印刷が開始されます。



- 2** [プリンター名] に「FIT FP-43L」が選択されていることを確認して [プリンターのプロパティ] をクリックします。

本プリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。印刷の向きなどを設定します。さらに詳しい設定をしたい場合は、[詳細設定] をクリックし、設定を変更します。設定項目の詳細については「1-7 印刷の詳細設定」を参照してください。



印刷の設定が終わったら [OK] をクリックします。

1-5 印刷先の変更

本プリンターは次のインターフェースをサポートしています。

- ・ USB インターフェース (USBnnn nnn は任意の数字)
- ・ LAN インターフェース (FIT Print Server Port)

上記のカッコ内に示す「ポート（印刷先）」はプリンタードライバのインストールの際に登録されます。プリンターの接続先を変更した場合は、プリンターのプロパティダイアログボックスでもポートの設定を変更する必要があります。ここでは Windows 7 日本語版の環境でインストール済みのプリンタードライバの印刷先を変更する方法について説明します。その他の OS も同じ手順で変更できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。



チェック

- ・ 印刷先は添付のソフトウェア CD-ROM を使ったプリンタードライバのインストール手順の中で設定することもできます。詳しくは「1-1 プリンタードライバのインストール」を参照してください。
- ・ FIT Print Server Port はソフトウェア CD-ROM からインストールを行ってください。

USB インターフェースへの切り替え

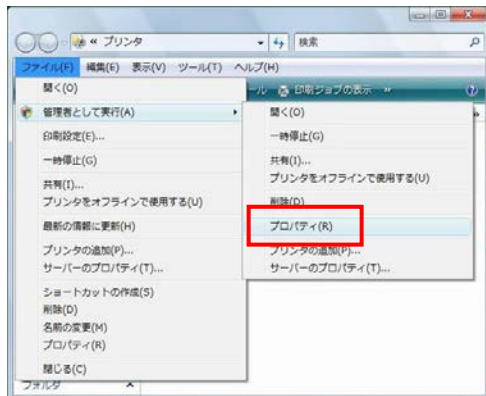
プリンタードライバーをインストールする際に接続先を LAN にした設定を USB に切り替える手順です。

チェック

- ここに示す手順において、[ポート]の一覧に該当のポートが存在しない場合は、「1-1 プリンタードライバーのインストール」の「プラグ・アンド・プレイによるインストール」を参照してプラグ・アンド・プレイでプリンタードライバーをインストールしてください。
- FP-43L シリーズにインターフェースボードが装着された状態で USB インターフェースを使用する場合は、プリンター本体にあるスイッチ (DIP SW10) を“ON”に切り替えてください。DIP SW の変更についてはユーザーズマニュアルを参照してください。

- 1 [コントロールパネル]から[デバイスとプリンター]フォルダーまたは[プリンター]フォルダーを開きます。
[FIT FP-43L のプロパティ] ダイアログボックスを表示させます。

Windows 10/8.1/8/Server 2012 の場合は、[FIT FP-43L]アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[ファイル]メニューの[プリンターのプロパティ]をクリックします。Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ファイル]メニューの[管理者として実行]から[プロパティ]をクリックします。

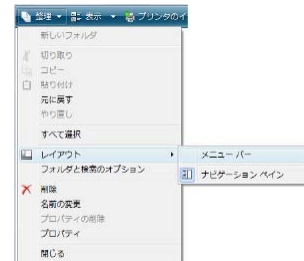


重要

- Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または[続行]の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで[ファイル]メニューの配下にある[プロパティ]を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー]の場合は、[管理者として実行]から[プロパティ]を選択してください。

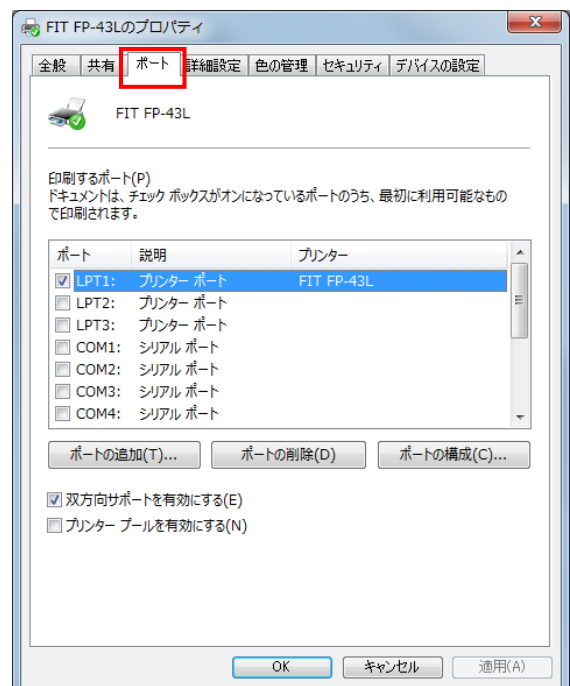
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008 をお使いのコンピュータで、[ファイル]メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理]メニューから[レイアウト]を選び、[メニューバー]をクリックしてチェックマークを付けてください。

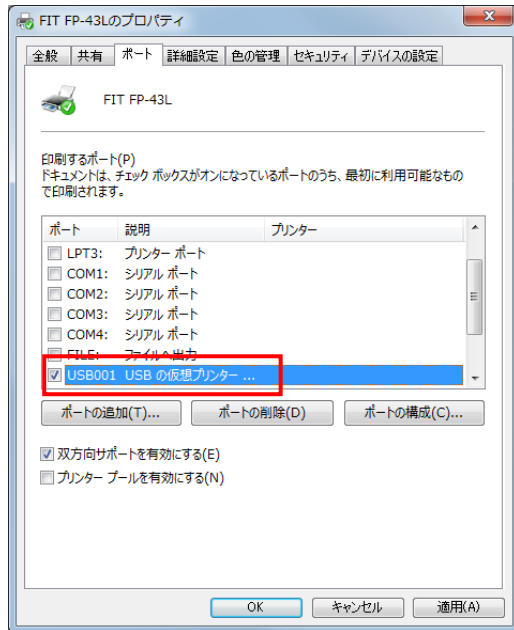


コンピュータのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

- 2 [ポート] シートを開きます。

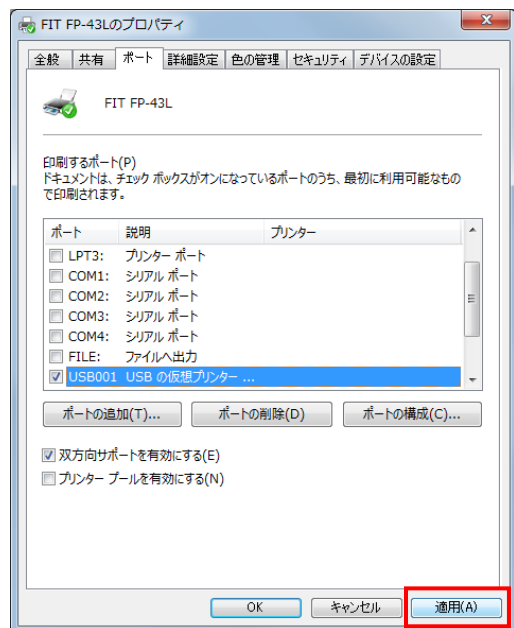


- 3 [ポート] の一覧から [USBnnn] (nnn は任意の数字) をクリックします。



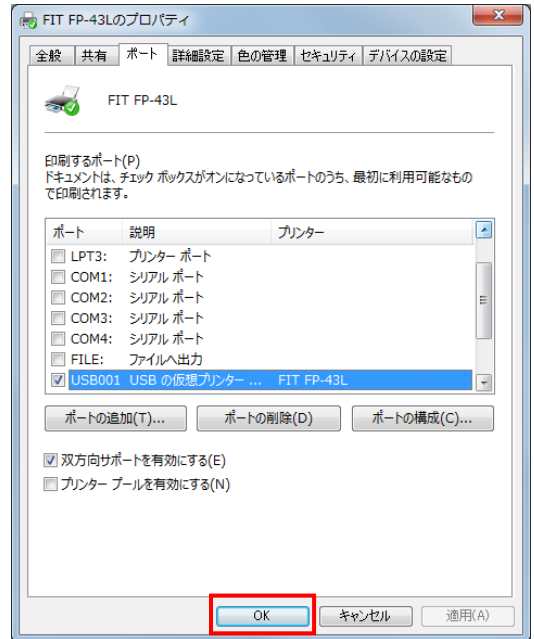
- 4 [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



- 5 [OK] をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



LAN インターフェースへの切り替え

プリンタードライバーをインストールする際に、接続先を USB としてインストールした設定を LAN に切り替える手順です。LAN への切り替えは LPR (Line Printer Remote)、IPP (Internet Printing Protocol)、または RAW (TCP/IP 9100) の 3 つのプロトコルから選択することができますが、ここでは LPR プロトコルへの切り替え手順を説明します。プリンターソフトウェアのインストールにより作成されたプリンターの [ポート] プロパティシート上でを行います。印刷先は「FIT Print Server Port」を指定します。

✓ チェック

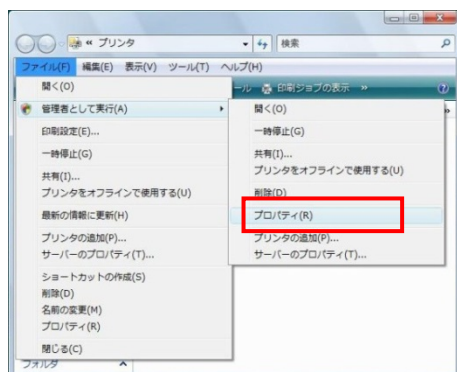
- FIT Print Server Port はプリントサーバーに添付の CD-ROM からインストールを行ってください。手順の詳細についてはプリントサーバーのマニュアルを参照してください。
- FP-43L シリーズで LAN インターフェースを使用する場合は、プリンターの DIP SW10 (インターフェースの切り替え) を「OFF」に設定してください。DIP SW の変更については、ユーザズマニュアルを参照してください。

1 [コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] フォルダーまたは [プリンター] フォルダーを開きます。[FIT FP-43L のプロパティ] ダイアログボックスを表示させます。

Windows 10/8.1/8/Server 2012 の場合は、[FIT FP-43L] アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[ファイル] メニューの [プリンターのプロパティ] をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [プロパティ] をクリックします。

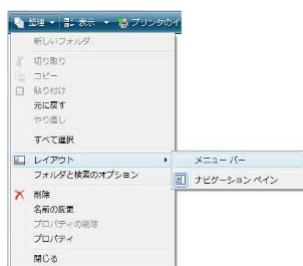


🔑 重要

- Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [プロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー] の場合は、[管理者として実行] から [プロパティ] を選択してください。

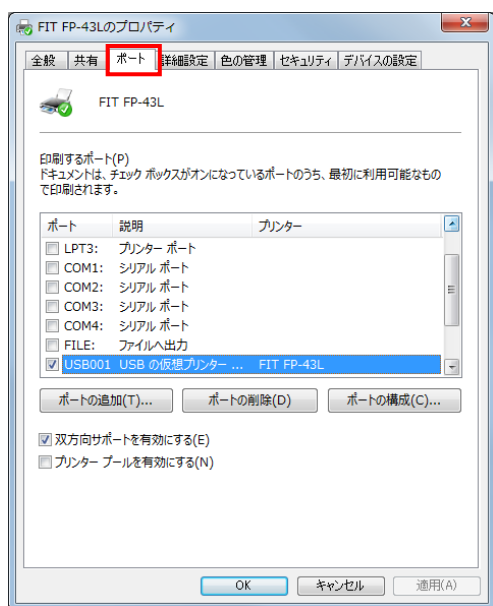
✓ チェック

Windows 7/Vista/Server 2008 をお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



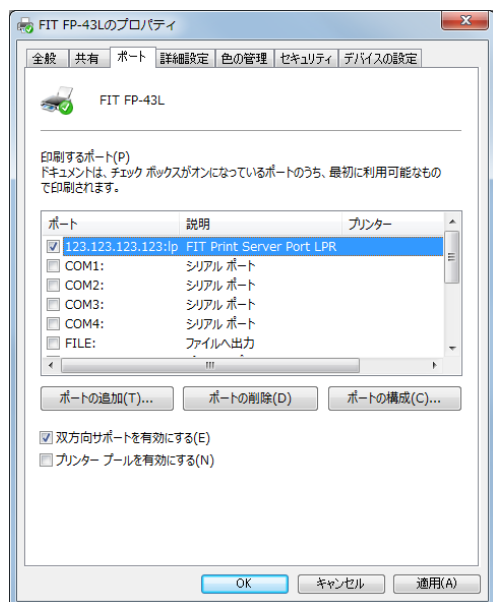
コンピュータのキーボードの <Alt> キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

2 [ポート] シートを開きます。



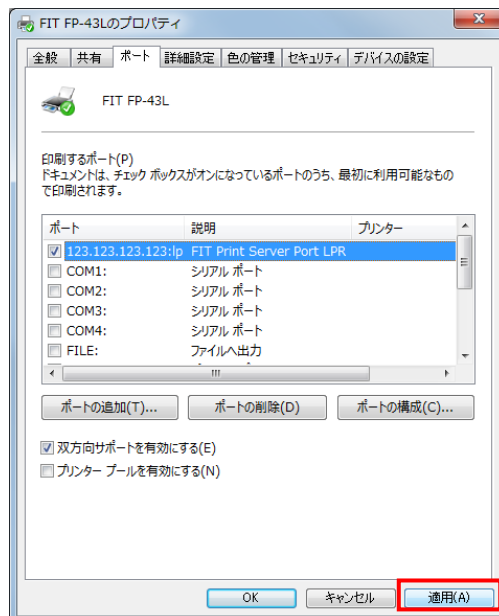
3 設定済みの FIT Print Server Port を選択します。

下図は [FIT Print Server Port LPR] で IP アドレスが [123.123.123.123] に設定された FIT Print Server Port を選択している場合の例です。使用するポートが一覧にない場合は、[ポートの追加] をクリックして新しいポートを作成してください。作成手順の詳細はプリントサーバーのマニュアルを参照してください。



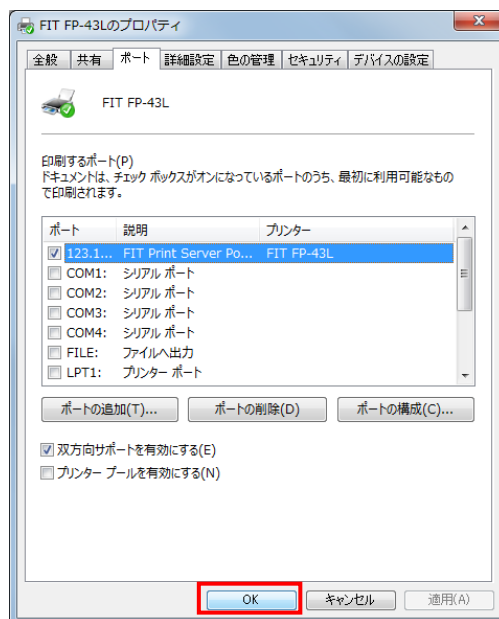
4 [適用] をクリックします。

[プリンター] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



5 [OK] をクリックします。

印刷先の変更が完了しました。



1-6 共有プリンターに設定する

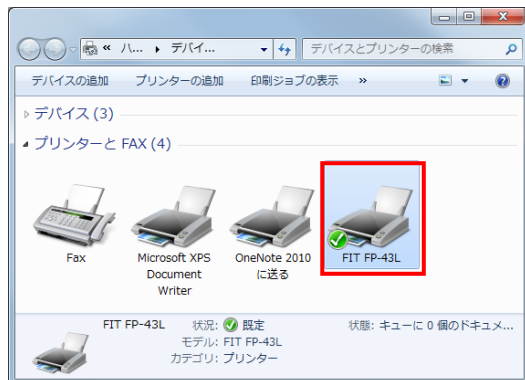
本プリンターをネットワークで共有する場合の設定について説明します。ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくは OS の取扱説明書をご覧ください。

ここでは Windows 7 の環境で共有プリンターに設定する方法について説明します。その他の OS も同じ手順で変更できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

1 [コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] フォルダーまたは [プリンター] フォルダーを開きます。

2 「FIT FP-43L」アイコンをクリックします。

アイコン名は、プリンタードライバーのインストール時に付けた名前が表示されます。



3 [FIT FP-43L のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] シートを表示します。

Windows 10/8.1/8/Server 2012 の場合は [FIT FP-43L] アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[ファイル] メニューの [プリンターのプロパティ] をクリックします。Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [共有] をクリックします。



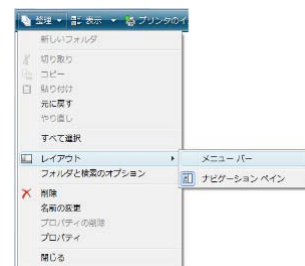
重要

- Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどのシステム変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。

- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [プロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。[標準ユーザー] の場合は、[管理者として実行] から [プロパティ] を選択してください。

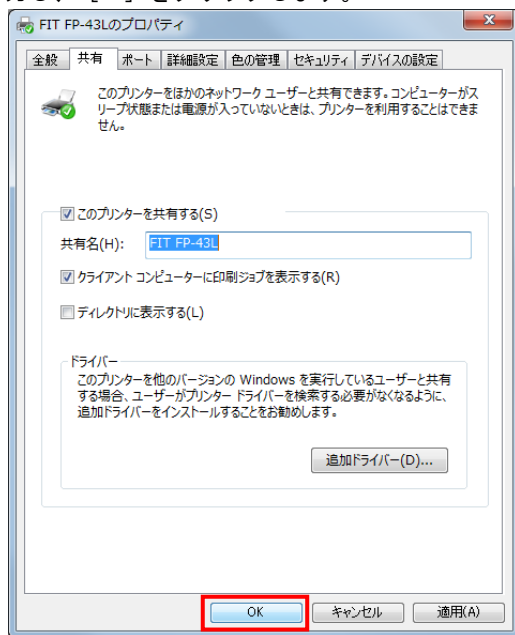
チェック

Windows 7/Vista/Server 2008 をお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



コンピュータのキーボードの <Alt> キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

- 4 [このプリンターを共有する] または [共有する] をチェックし、そのプリンターの共有名を入力し、[OK] をクリックします。



これで共有プリンターの設定は完了です。

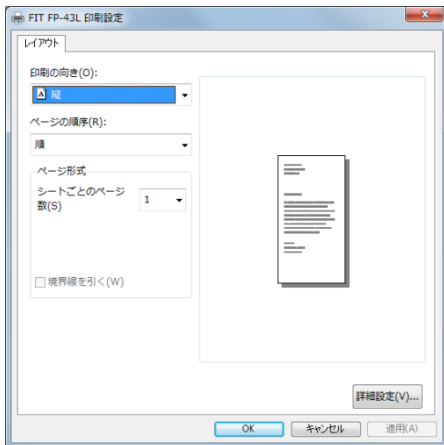
1-7 印刷の詳細設定

次のような 2 つの [プロパティ] ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

お使いの OS によって画面の表示が多少異なりますが、プリンタードライバーが提供する機能はほとんど同じです。OS によって異なる機能やメニュー項目については該当の部分で説明を加えています。

[印刷設定] ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次のプロパティシートから構成されています。



- ・ [レイアウト] シート

[プロパティ] ダイアログボックス

プリンターのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の 6 枚のプロパティシートから構成されています。



- ・ [全般] シート
- ・ [共有] シート
- ・ [ポート] シート
- ・ [詳細設定] シート
- ・ [色の管理] シート
- ・ [セキュリティ] シート*

* セキュリティの設定によって表示されないことがあります。

✓ チェック

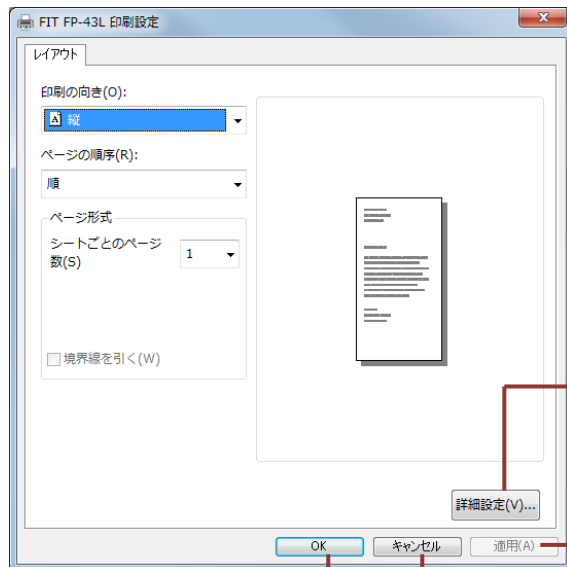
アプリケーションから呼び出される [印刷設定] ダイアログボックスで設定した内容は、そのアプリケーション内でのみ有効となります。

プリンタードライバー自体の設定は変わりません。

[印刷設定]ダイアログボックスで詳細設定を行う([レイアウト]シート)

[印刷設定] ダイアログボックスは [レイアウト] シートの 1 枚のプロパティシートから構成されています。このプロパティシートは印刷の向き、ページの順序など印刷のレイアウトに関する設定を行うものです。印刷の向き、ページの順序などを設定すると右側に表示されているイラストが設定に応じて変化します。以下にこのシート上の項目について説明します。

プロパティシートで共通に使用されているボタンには以下のような機能があります。



[詳細オプション]ダイアログボックスを表示します。「[詳細オプション]ダイアログボックス」(30 ページ)を参照してください。

現在開いているプロパティシート内の設定に変更します。

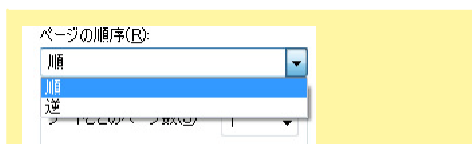
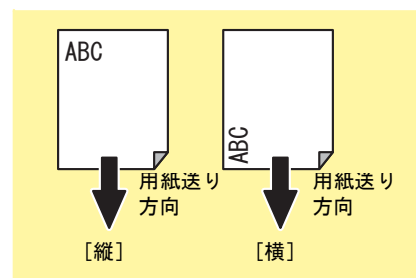
すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。

すべての設定を有効にし、設定を終了します。



印刷の向き

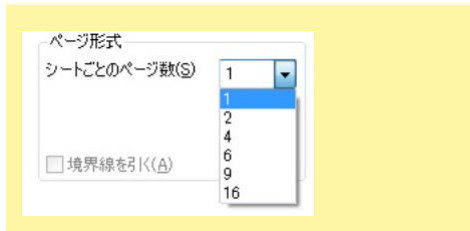
縦：用紙を縦長にを使って印刷します。
横：用紙を横長にを使って印刷します。



ページの順序

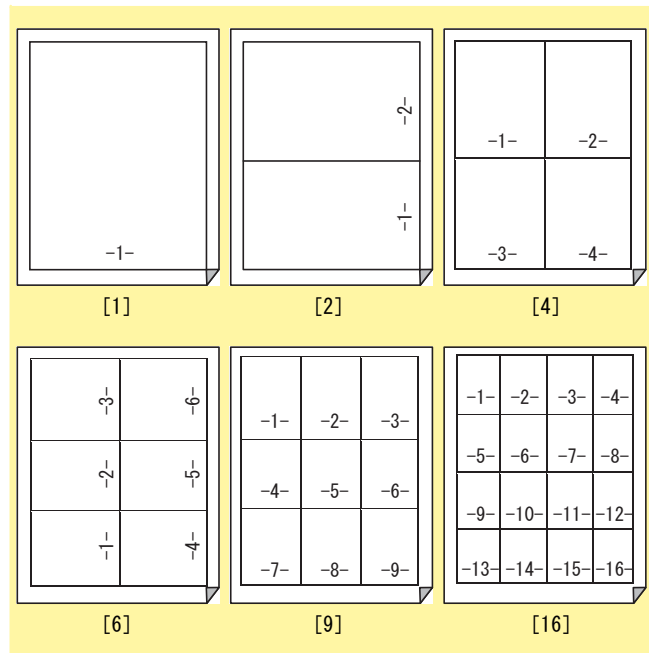
順：用紙をページの始めから順に印刷します。
逆：用紙をページの終わりにから順に印刷します。

シートごとのページ

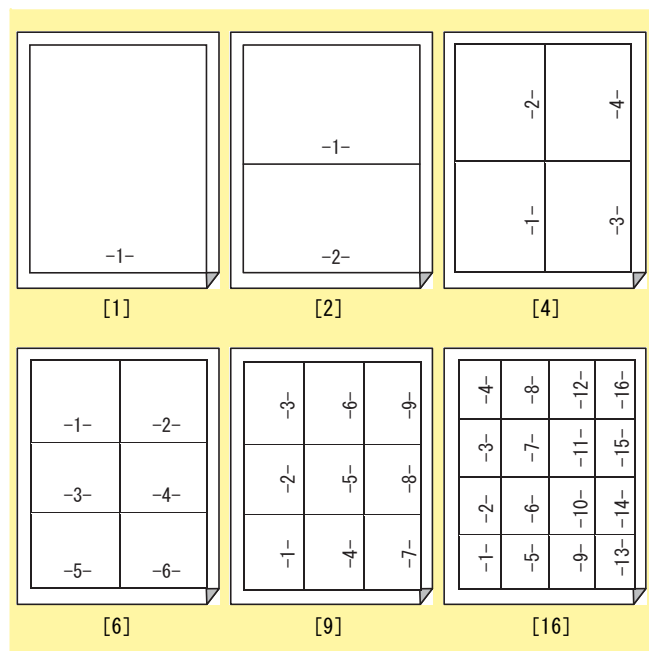


1 枚の用紙にドキュメントの何ページ分（1～16 ページ）を印刷するかを指定します。設定している用紙サイズの幅と高さによって印刷結果は次のようになります。

- ・ 用紙幅＜用紙高さの場合



- ・ 用紙幅＝用紙高さ、または用紙幅＞用紙高さの場合



境界線を引く

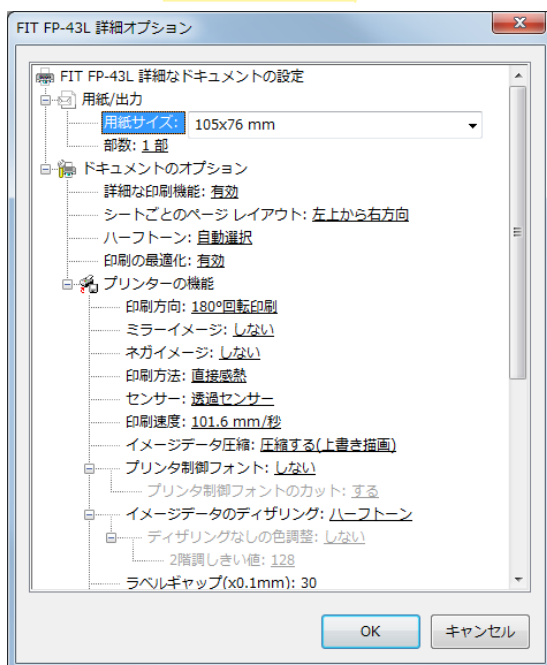
「シートごとのページ」で 1 枚に複数ページを印刷する設定にした場合にページ間に境界線を引くかどうかを選択します。

[詳細オプション]ダイアログボックス

[印刷設定] ダイアログボックスの [詳細設定] をクリックすると、[詳細オプション] ダイアログボックスが表示されます。

詳細設定(V)...

このダイアログボックスで印刷の詳細に関する以下の設定を行うことができます。

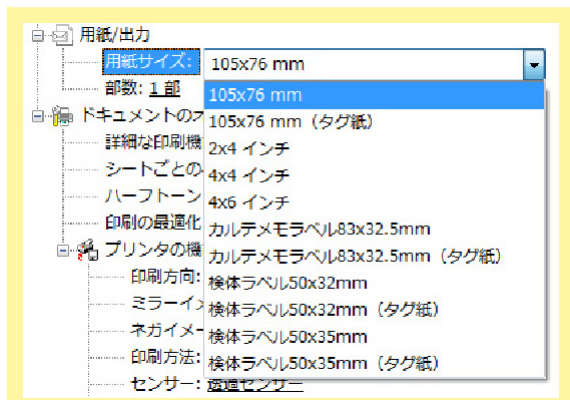


✓チェック

このダイアログボックスで右クリックすると、次のメニューを表示します。

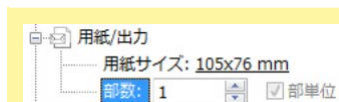
- ・ 変更したオプションを元に戻す
変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します（設定を変更した場合にのみ表示します）。
- ・ バージョン情報
本プリンターに関する情報を表示します。

[用紙/出力]



用紙サイズ

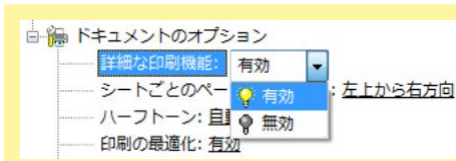
印刷用紙のサイズを選択します。



部数

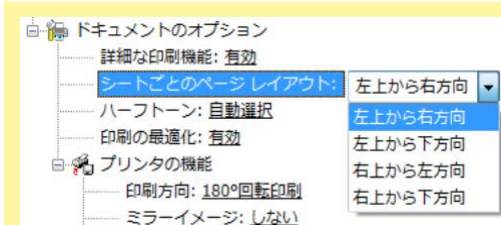
印刷部数を選択します。複数部数に設定すると、部単位に印刷するかどうかを選択することができます。

[ドキュメントのオプション]



詳細な印刷機能

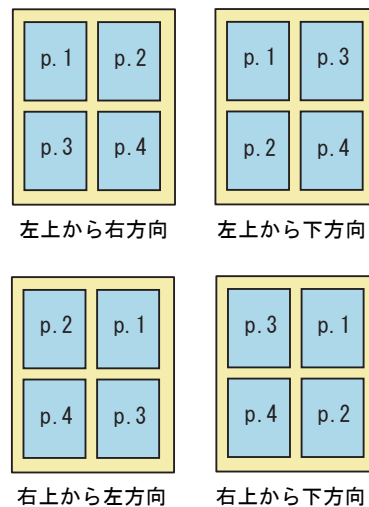
「詳細オプション」ダイアログボックスで設定した印刷機能を有効にするか、無効にするかを選択します。



シートごとのページレイアウト

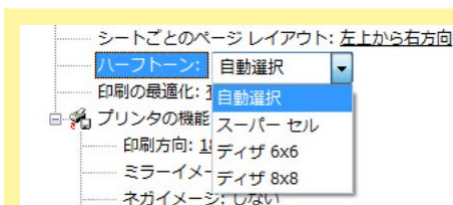
1枚（シート）に複数のページを印刷する際のページの配置（レイアウト）を指定します。

以下は、1枚に4ページ分を配置する場合での設定と印刷結果の例です。印刷結果のイメージは「レイアウト」シートの右側にも表示されます。



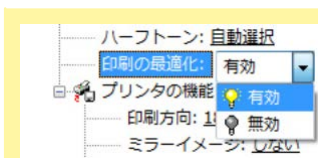
ハーフトーン

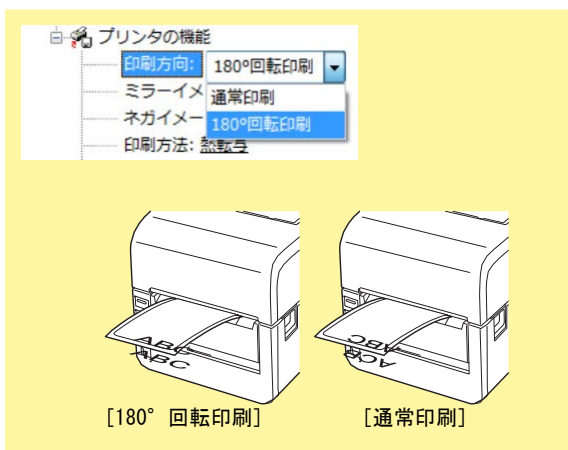
グラフィックスを印刷するときに使用するハーフトーンの設定方法を選択します。プリンターによって最適なハーフトーンの品質を決定するには、「自動選択」を選択します。カラーのグラフィックスを印刷するときに、プリンターで対応していない色を使う場合は、ディザリングの設定をオンにしてください。



印刷の最適化

印刷の最適化機能を有効にするか、無効にするかを選択します。有効にすると、TrueType フォントからデバイスフォントへの置き換えや文書内の横書き／縦書きのスキャンなどの印刷の最適化をプリンタードライバーが行います。ただし、ドキュメント内でテキストとグラフィックスが重なり合っている場合、グラフィックスの上に配置されたテキストが正しく印刷されないことがあります。



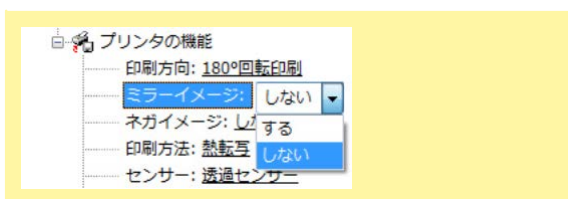


印刷方向

印刷イメージを 180 度回転させて印刷するかどうかを指定します。出荷時の設定 [180° 回転印刷] は印刷済みの印刷内容をプリンター前面から見て正しく読める向きで印刷します。[通常印刷] にすると印刷データの先頭から印刷するため、印刷結果を本プリンター前面から見ると、さかさまに見えます。

✓ チェック

リモートパネルによる設定で [コマンド優先] (工場出荷時の設定) を指定している場合に有効となります。プリンタードライバーの設定に関わらず固定の印刷方向で使用したい場合はリモートパネルを使って設定します。詳しくは「2 章 リモートパネル」を参照してください。

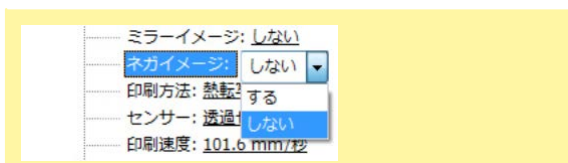


ミラーイメージ

ミラーイメージで印刷するかどうかを指定します。

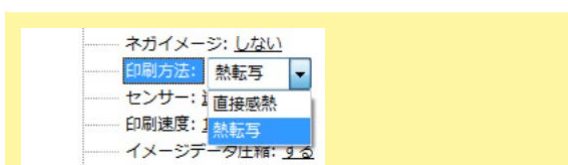
✓ チェック

リモートパネルによる設定で [コマンド優先] (工場出荷時の設定) を指定している場合に有効となります。プリンタードライバーの設定に関わらず固定の印刷方向で使用したい場合はリモートパネルを使って設定します。詳しくは「2 章 リモートパネル」を参照してください。



ネガイメージ

ネガイメージで印刷するかどうかを指定します。

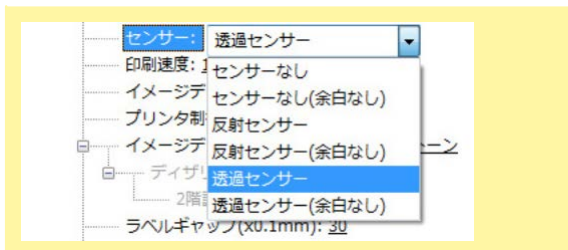


印刷方法

用紙の印刷方式の種別を選択します。リボンを使った熱転写方式で印刷をする場合は [熱転写] を選択します。リボンを使わず感熱方式で印刷する場合は [直接感熱] を選択します。

✓ チェック

- ・ プリンター本体にあるスイッチ (DIP SW) の SW8 を [OFF] (工場出荷時の設定) に設定している場合に有効となります。DIP SW を変更する場合はユーザーマニュアルを参照してください。
- ・ [熱転写] を選択するときはリボンをプリンターにセットしてください。[直接感熱] を選択するときは、リボンをプリンターから取り外してください。リボンの取り付け・取り外しについてはユーザーズマニュアルを参照してください。



センサー

センサーの種別を選択します。用紙の裏面の黒マークを使用し、用紙位置を自動的に調整する場合は[反射センサー]を選択します。ラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）を使用して用紙位置を自動的に調整する場合は[透過センサー]を選択します。



設定を変更したら、プリンターのユーザーズマニュアルを参照してしきい値の調整を必ず行ってください。

「センサーなし」は、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従い印刷を行います。

「センサーなし（余白なし）」は、データのあるところまで印刷を行います。余白は紙送りされません。

「反射センサー」は、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従い印刷を行います。ただし、タグの裏面に設けられた黒マークを反射センサーにて自動的に検出し、1枚ごとに用紙位置を微調整します。

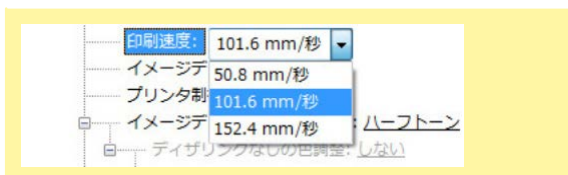
「反射センサー（余白なし）」は、データのあるところまで印刷を行います。印刷後は反射センサーにて黒マークを検出したところまで紙送りされます。この設定で印刷する場合は、「印刷方向」を[通常印刷]に設定してください。

「透過センサー」は、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従い印刷を行います。ラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）を透過センサーにて自動的に検出し、1枚ごとに用紙位置を微調整します。

「透過センサー（余白なし）」は、データのあるところまで印刷を行います。印刷後は透過センサーにてラベル間ギャップを検出したところまで紙送りされます。この設定で印刷する場合は、「印刷方向」を[通常印刷]に設定してください。

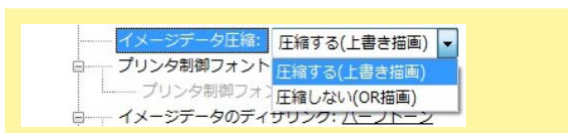


プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）のSW8を[OFF]（工場出荷時の設定）に設定している場合に有効となります。DIP SWを変更する場合はユーザーズマニュアルを参照してください。



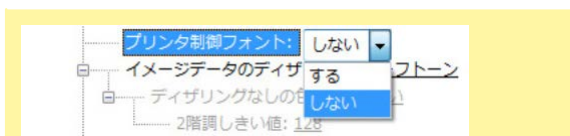
印刷速度

印刷速度を指定します。50.8mm/秒・101.6mm/秒・152.4mm/秒



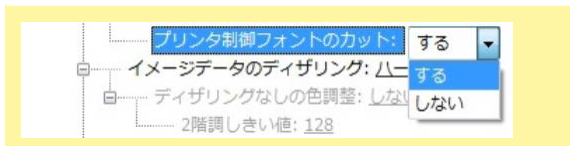
イメージデータ圧縮

イメージデータを圧縮するかどうかを指定します。



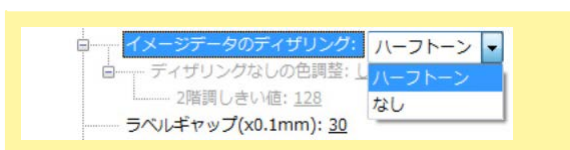
プリンター制御フォント

印刷文書に埋め込まれたプリンター制御フォントを使用するかどうかを設定します。詳細は「1-10 プリンター制御フォントの使用方法」を参照してください。
「印刷の最適化」が有効の場合にのみ使用できます。



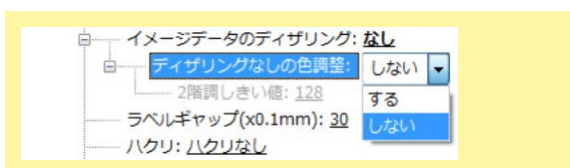
プリンター制御フォントのカット

プリンター制御フォントのカット指定を優先するかどうかを選択します。[する]を選択すると、プリンター制御フォントで選択したカット設定に従いカットを行います。[しない]を選択すると、[カット]の設定に従いカットを行います。



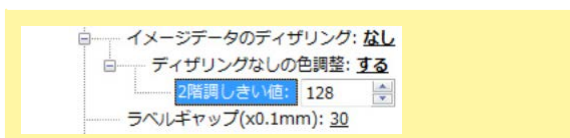
イメージデータのディザリング

イメージデータ内の黒（グレーは除く）と白以外の部分の表現方法の設定をします。本プリンタードライバーによるディザリングを使用する場合は[ハーフトーン]を選択します。この機能を利用せずに2階調（白黒）印刷をしたい場合は[なし]を選択すると、配下の設定ができるようになります。



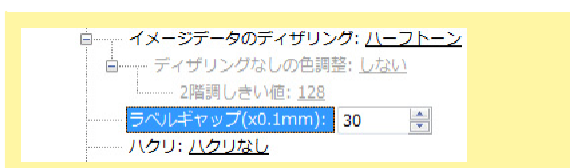
ディザリングなしの色調整

2階調で印刷する際のしきい値を標準の設定にするか手動で設定するかを選択します。[する]を選ぶとその配下の設定に従って2階調での印刷をします。[しない]を選ぶと標準の2階調しきい値（128）で印刷します。



2階調しきい値

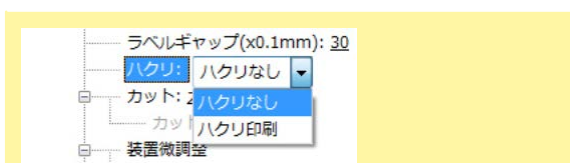
イメージデータ内の色調を2階調で印刷するためのしきい値を設定します。[0]に近くなるにつれてイメージデータは白く印刷され、[255]に近くなるにつれて黒く印刷されます。



ラベルギャップ

ラベル間ギャップの大きさを設定します。タグの場合は印刷しない領域を設定します。

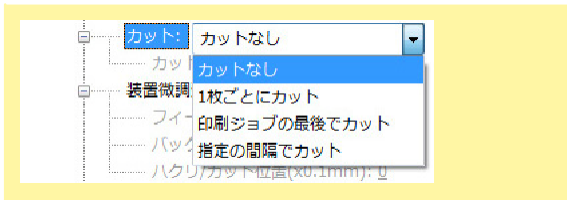
0 (0mm) ~ 100 (10.0mm) *¹の間を 0.1mm 単位で設定できます。ラベル間の距離が 2.0mm の場合は、「20」を指定します。



ハクリ

FP-43L シリーズにはハクリ機能はありません。ハクリなしでご使用ください。

* 1 ラベルギャップはユーザーズマニュアルの「4章 用紙規格と印刷範囲」を参照して設定してください。

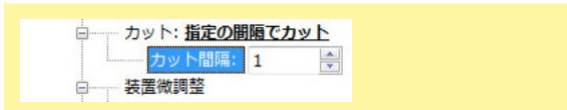


カット

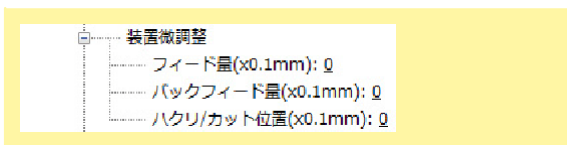
カット印刷するかどうかを指定します。カット間隔は次の印刷ジョブには引き継がれません。また、複部数印刷や部単位印刷時でもカット間隔が優先されます。

✓ チェック

プリンター本体にあるスイッチ (DIP SW) のSW8 を [OFF] (工場出荷時の設定) に設定している場合に有効となります。DIP SW を変更する場合はユーザーズマニュアルを参照してください。

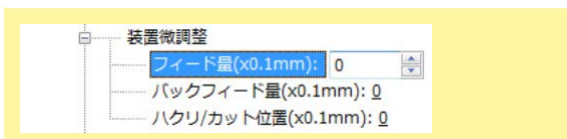


カット間隔何枚ごとにカットするかを指定します。前述の [カット] で [指定の間隔でカット] を選択した場合に指定できます。1 (枚) から 100 (枚) までを 1 枚単位で指定できます。



装置微調整

装置微調整は、フィード量、バックフィード量、ハクリ/カット位置の微調整を行う項目で構成されています。各項目の詳細は次のとおりです。



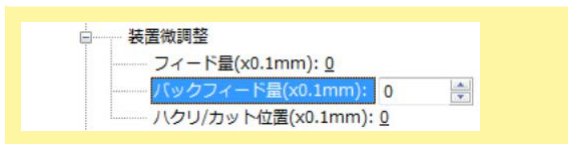
フィード量

自動的に位置決めされた印刷開始位置に対し、後方（プラス値）または前方（マイナス値）で止まる位置を指定します。99 (+9.9mm) ~ 0 ~ -99 (-9.9mm) の間を 1 (0.1mm) 単位で設定できます。

✓ チェック

フィード量はリモートパネルによる設定値との合計値で表現されます*¹（設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります）。リモートパネルによる設定については「2章 リモートパネル」を参照してください。

*¹ 微調整の詳細は「2-3 リモートパネルの使い方」の「微調整設定」を参照してください。



バックフィード量

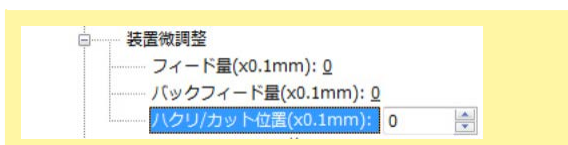
カット後、用紙をホームポジションまでバックフィードする量を指定します。

99 (+9.9mm) ～0～-99 (-9.9mm) の間を 1 (0.1mm) 単位で設定できます。

✓ チェック

フィード量はリモートパネルによる設定値との合計値で表現されます*¹ (設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります)。リモートパネルによる設定については「2章 リモートパネル」を参照してください。

*¹ 微調整の詳細は「2-3 リモートパネルの使い方」の「微調整設定」を参照してください。



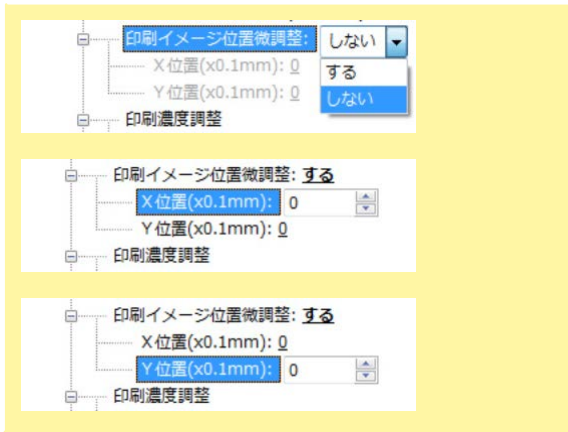
ハクリ/カット位置 (FP-43L シリーズにはハクリ機能はありません。カット位置のみ有効です。)

自動的に位置決めされたカット位置に対し、後方または前方でカットする位置を指定します。

99 (+9.9mm) ～0～-99 (-9.9mm) の間を 1 (0.1mm) 単位で設定できます。

✓ チェック

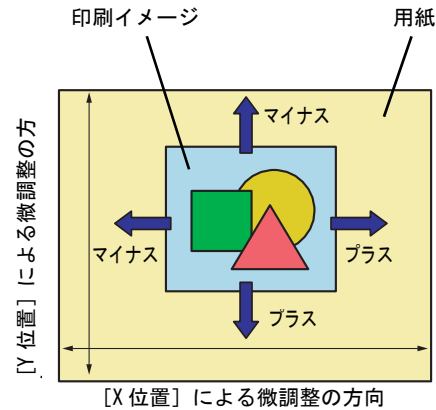
カット位置はリモートパネルによる設定値との合計値で表現されます (設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります)。リモートパネルによる設定については「2章 リモートパネル」を参照してください。



印刷イメージ位置微調整

印刷イメージ位置微調整を行うかどうかを設定します。微調整を行う場合は、[する]を選択します。微調整を行わない場合は、[しない]を選択してください。

[する]を選択すると、[X位置]および[Y位置]に値を入力することができるようになります。



[X位置]の微調整は、印刷イメージをX軸方向に右（プラス）または左（マイナス）に位置を調整します。

[Y位置]の微調整は、印刷イメージをY軸方向に下（プラス）または上（マイナス）に位置を調整します。

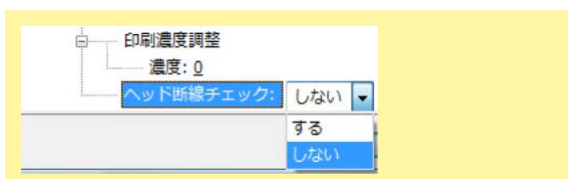


印刷濃度調整

印刷濃度の微調整を10～0～-10の間を1単位で設定できます。[10]を選択すると最も濃く印刷され、[-10]を選択すると最も薄く印刷されます。

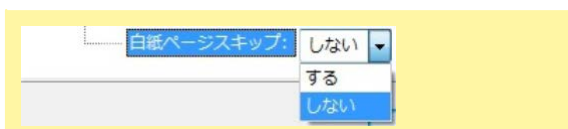
✓ チェック

印刷濃度はリモートパネルによる設定値との合計値で表現されます（設定できる範囲を超えた場合は、プリンターが調整できる最大値の設定となります）。リモートパネルによる設定については「2章 リモートパネル」を参照してください。



ヘッド断線チェック

印刷ジョブごとにプリンターのサーマルヘッドの断線チェックを行うかどうかを設定します。サーマルヘッドの断線を検出すると、プリンター前面のERRORランプと7セグメントLED () で知らせます。



白紙ページスキップ

白紙ページをスキップする（出力しない）かどうかを選択します。白紙ページをスキップしない場合は[しない]を選択します。白紙ページをスキップする場合は[する]を選択します。

[プロパティ]ダイアログボックスで詳細設定を行う

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

[プロパティ]ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。また、各プロパティシート共通に使用されているボタンには以下のような機能があります。



すべての設定を有効にし、設定を終了します。

現在開いているプロパティシート内の設定に変更します。

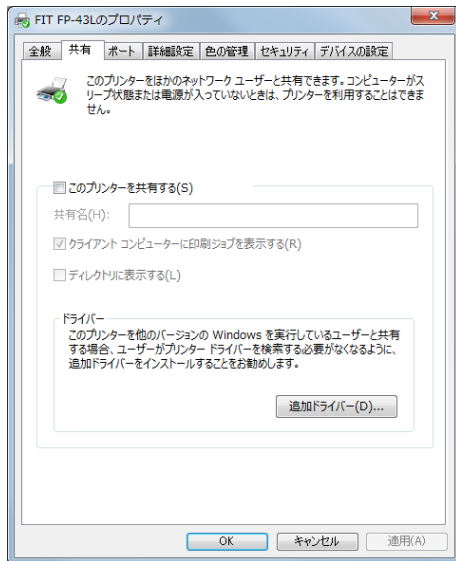
すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。

[全般] シート



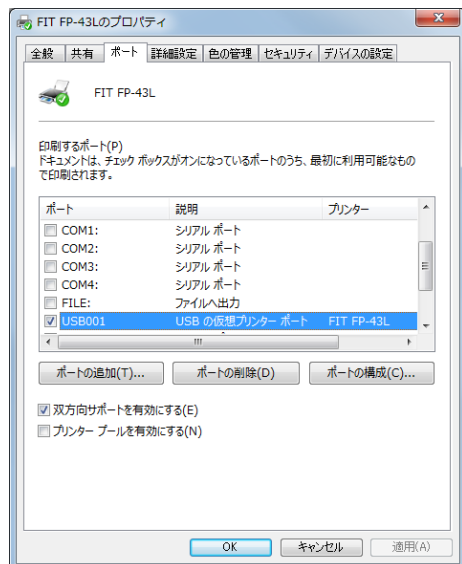
[場所] や [コメント] には印刷の際の参照となる情報を登録しておくことができます。また、プリンターの持つ機能の一覧や印刷設定ダイアログボックスの表示、テストページの印刷などもできます。

〔共有〕 シート



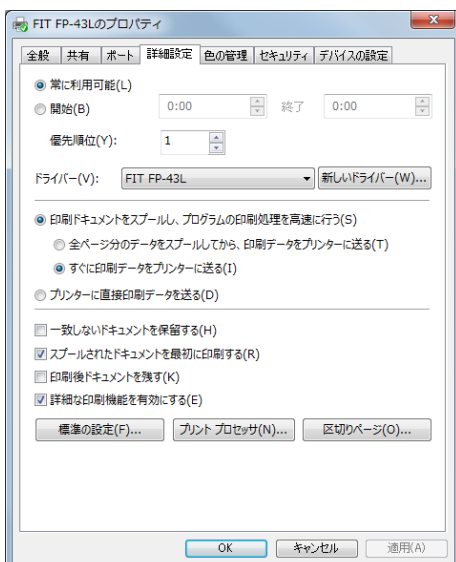
プリンターをネットワーク上の「共有プリンター」として使用する際にこのシートで設定します。「1-6 共有プリンターに設定する」で詳しい手順を説明しています。

〔ポート〕 シート



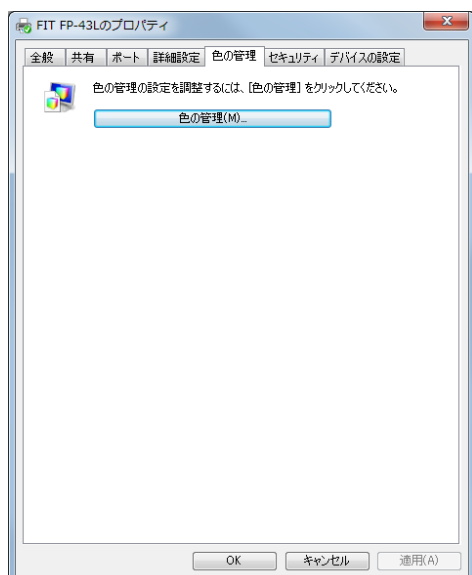
プリンターとコンピュータの接続方法（USB やネットワーク）を変更した際などにこのシートで接続先（ポート）の指定をします。「1-5 印刷先の変更」で詳しい手順を説明しています。

〔詳細設定〕 シート



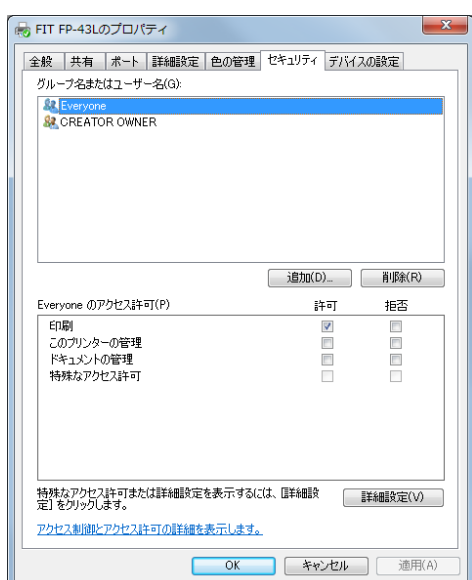
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。特に説明のない限り、初期状態の設定でご利用ください。

[色の管理] シート



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません
(FP-43L シリーズはカラー印刷に対応していません)。

[セキュリティ] シート



通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。
セキュリティの設定によって表示されないことがあります。



変更の内容によっては印刷の権限を失うことなどがあります。変更する前にシステム管理者にお問い合わせの上、設定してください。

1-8 ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

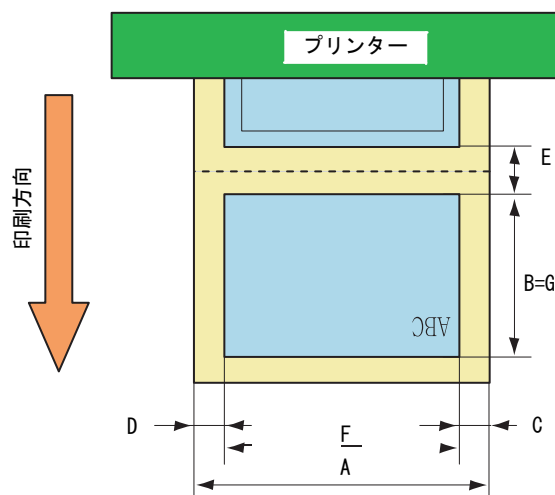
用紙サイズについて

本プリンタードライバーがサポートする用紙サイズは次のとおりです。

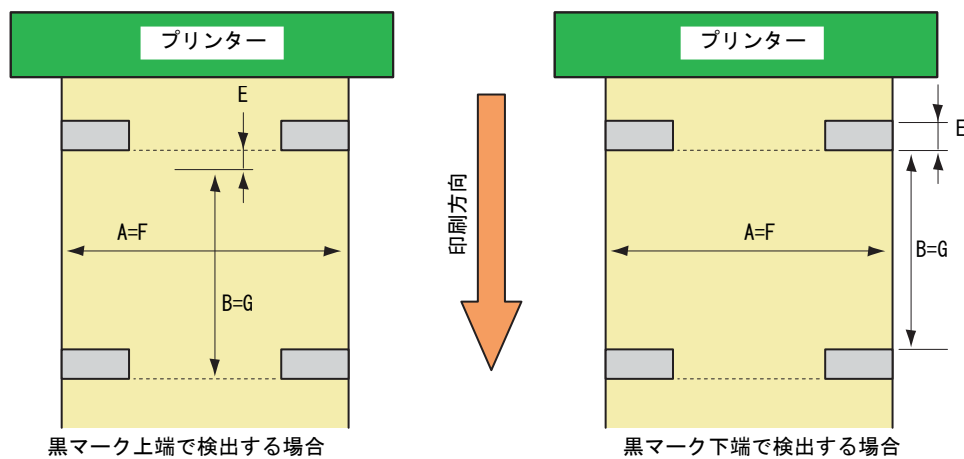


本プリンターで使用可能な用紙サイズはユーザーズマニュアルの「4章 用紙規格と印刷範囲」、リストバンドマニュアルを参照してください。

ラベルの場合



タグ紙の場合



- 黒マークの検出制御はリモートパネルで変更することができます。
- 印刷範囲の大きさは変わりません。印刷開始位置がラベルギャップ分異なります。

用紙サイズ		A (用紙幅)	B (用紙高さ)	C (右余白)	D (左余白)	E*1 (ラベルギャップ)	F (印刷可能幅)	G (印刷可能高さ)
105×76mm	mm	108.00	76.00	1.50	1.50	3.00	105.00	76.00
	インチ	4.25	2.99	0.06	0.06	0.12	4.13	2.99
105×76mm (タグ紙)	mm	105.00	73.00	0.00	0.00	3.00	105.00	73.00
	インチ	4.13	2.87	0.00	0.00	0.12	4.13	2.87
2×4 インチ	mm	53.80	101.60	1.50	1.50	3.00	50.80	101.60
	インチ	2.12	4.00	0.06	0.06	0.12	2.00	4.00
4×4 インチ	mm	104.60	101.60	1.50	1.50	3.00	101.60	101.60
	インチ	4.12	4.00	0.06	0.06	0.12	4.00	4.00
4×6 インチ	mm	104.60	152.40	1.50	1.50	3.00	101.60	152.40
	インチ	4.12	6.00	0.06	0.06	0.12	4.00	6.00
検体ラベル 50×32mm	mm	53.00	32.00	1.50	1.50	3.00	50.00	32.00
	インチ	2.09	1.25	0.06	0.06	0.12	1.97	1.25
検体ラベル 50×32mm (タグ紙)	mm	50.00	29.00	1.50	1.50	3.00	50.00	29.00
	インチ	1.97	1.14	0.06	0.06	0.12	1.97	1.14
検体ラベル 50×35mm	mm	53.00	35.00	1.50	1.50	3.00	50.00	35.00
	インチ	2.09	1.38	0.06	0.06	0.12	1.97	1.38
検体ラベル 50×35mm (タグ紙)	mm	50.00	32.00	1.50	1.50	3.00	50.00	32.00
	インチ	1.97	1.25	0.06	0.06	0.12	1.97	1.25
カルテメモラベル 83×32.5mm	mm	86.00	32.50	1.50	1.50	3.00	83.00	32.50
	インチ	3.39	1.28	0.06	0.06	0.12	3.25	1.28
カルテメモラベル 83×32.5mm (タグ紙)	mm	83.00	29.50	1.50	1.50	3.00	83.00	29.50
	インチ	3.25	1.16	0.06	0.06	0.12	3.25	1.16
ユーザー定義 サイズ (最小)	mm	25.00	3.00	0.00	0.00	2.00	25.00	3.00
	インチ	0.98	0.12	0.00	0.00	0.12	0.98	0.12
ユーザー定義 サ イズ (最大) *2	mm	118.00	996.90	6.15	6.15	2.00	105.70	996.90
	インチ	4.65	39.25	0.25	0.25	0.12	4.16	39.25

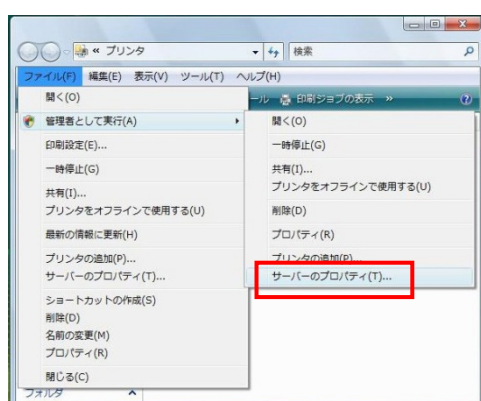
*1 ラベルの場合、ラベルギャップはラベルとラベルの間の長さとなります。タグ紙の場合は、黒マークの長さとなります。センサーを使用しない場合も、最少 2.0mm 以上を設定してください。

*2 ユーザー定義サイズの最大は、用紙高さでラベルギャップを合わせて 999.0mm です。

登録手順

- 1 コントロールパネルから「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンター」フォルダーを開きます。
- 2 「プリントサーバーのプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

Windows 10/8.1/8/Server 2012、Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、プリンターを選択し、メニューバーの「プリントサーバープロパティ」をクリックします。Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ファイル] メニューの「管理者として実行」から「サーバーのプロパティ」をクリックします。

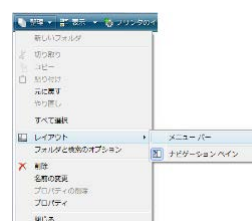


重要

- Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「続行」の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで「ファイル」メニューの配下にある「プロパティ」を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。「標準ユーザー」の場合は、「管理者として実行」から「プロパティ」を選択してください。

チェック

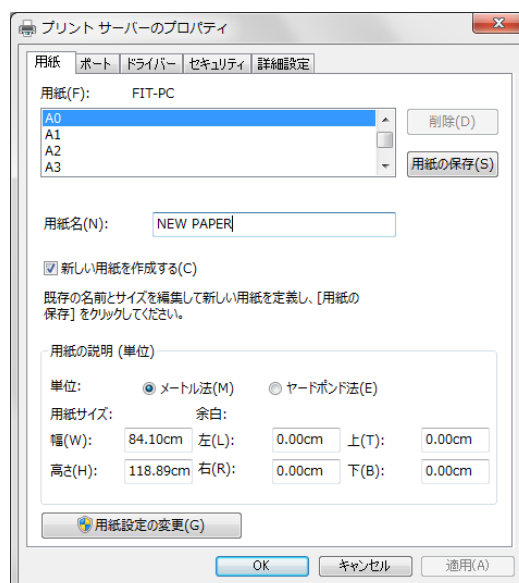
Windows 7/Vista/Server 2008 をお使いのコンピュータで、「ファイル」メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、「整理」メニューから「レイアウト」を選び、「メニューバー」をクリックしてチェックマークを付けてください。



コンピュータのキーボードの<Alt>キーを一度押すと、メニューバーをいったん表示させることもできます。

- 3 「用紙」シートにおいて「新しい用紙を作成する」をチェックします。

- 4 「用紙名」に用紙の名前を設定します。

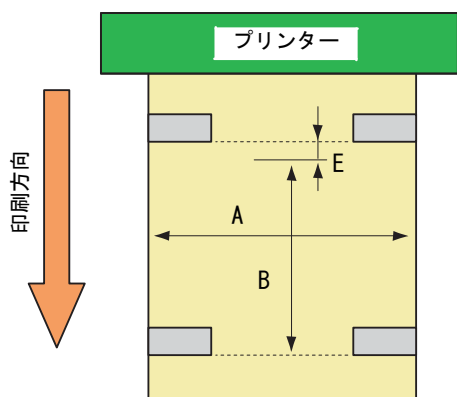
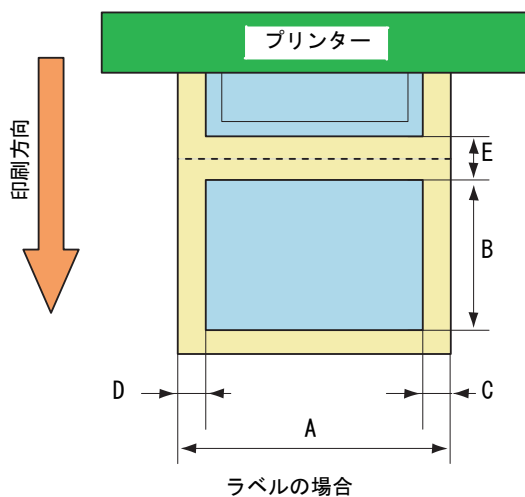


チェック

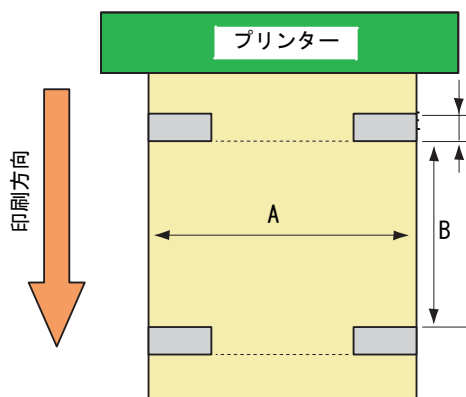
すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

5 「単位」を指定して「用紙サイズ」と「余白」を設定します。

幅はラベルの台紙を含む大きさになります (A)。
高さはラベルの台紙を含まない大きさになります (B)。
左右の余白は台紙とラベルの間になります (CとD)。上下の余白は“0”としてください。Eはプリンタードライバーの「詳細オプション」ダイアログボックスの「ラベルギャップ」で設定してください。

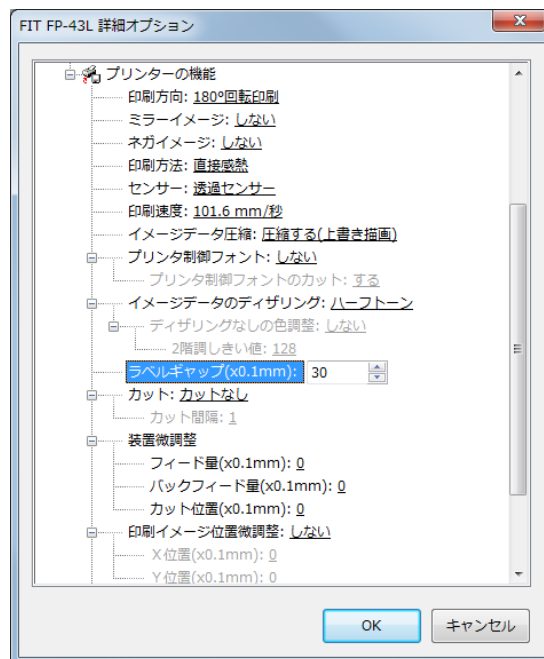


タグ紙（黒マーク上端で検出）の場合



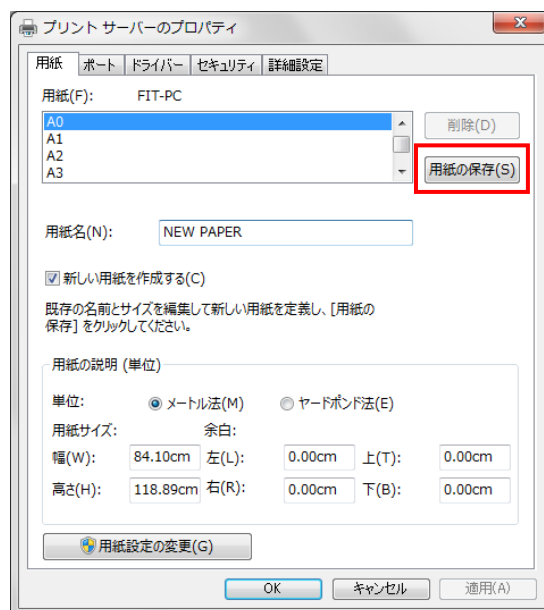
タグ紙（黒マーク下端で検出）の場合

Eの値を「ラベルギャップ (x0.1mm)」で設定



タグ紙の場合、ラベルギャップは黒マークの長さとなります。

6 「用紙の保存」をクリックします。

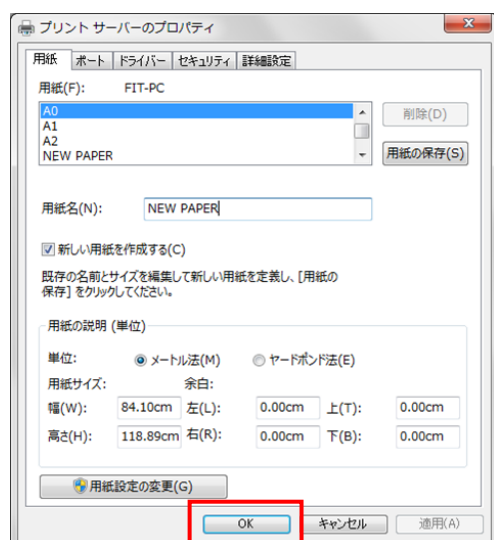


チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- 本プリンタードライバーで設定できる用紙サイズについては「用紙サイズについて」を参照してください。

7 「用紙」一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

8 「閉じる」をクリックします。



1-9 印刷の指示

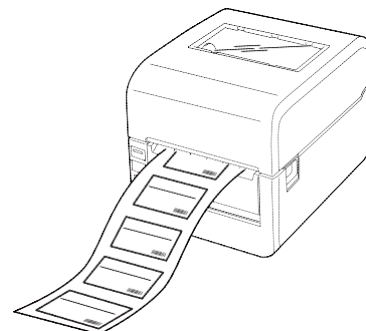
コンピューターで作成したデータを本プリンターに対して印刷する方法について説明します。印刷はコンピューターのアプリケーションから行います。印刷の詳しい手順についてはお使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

印刷の種類と方法

本プリンターは次の印刷方法をサポートしています。

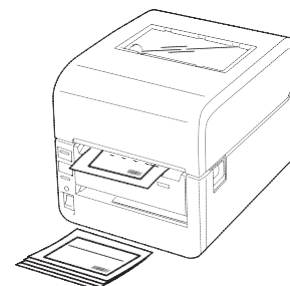
- ・ 連続印刷（自動カット送り対応）

印刷データを連続して用紙に印刷します。印刷終了後、印刷された用紙を手動で切り離せる位置まで排出します（「2 章 リモートパネル」により機能の有効／無効を切り替えることができます）。



- ・ カット印刷（フルカット）

印刷された用紙を 1 枚ごとに切り離す方法です。



チェック

リストバンドへの印刷方法については、リストバンドのマニュアルを参照してください。

連続印刷

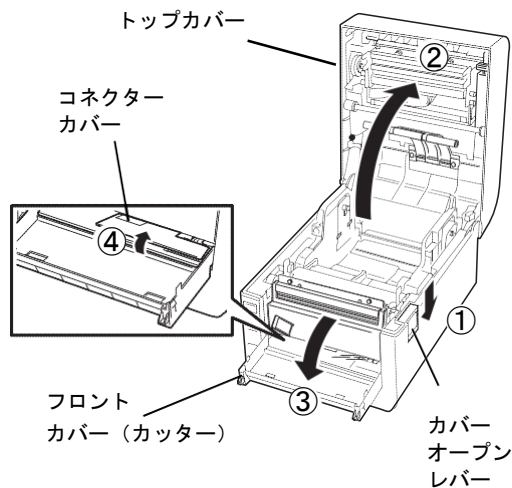
連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。ユーザーズマニュアルの「用紙のセット」を参照してください。また、リストバンドは連続印刷のみで行えます。

✓ チェック

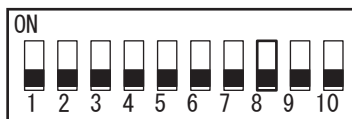
プリンターを動作させる際はユーザーズマニュアルの「1-8 用紙をセットする」を参照して必ず用紙をセットしてください。

プリンタードライバーの設定を使用する場合

- 1 電源を OFF にします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。

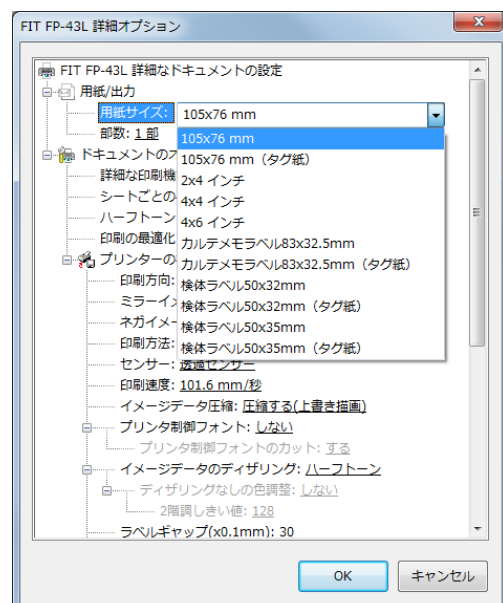


- 3 DIP SW8 を OFF にしてプリンタードライバーの設定を有効にします。



- 4 コネクターカバーを取り付けます。
- 5 プリンターの電源スイッチを ON にします。
- 6 用紙をセットします。
- 7 フロントカバーを閉じます。
- 8 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- 9 プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。

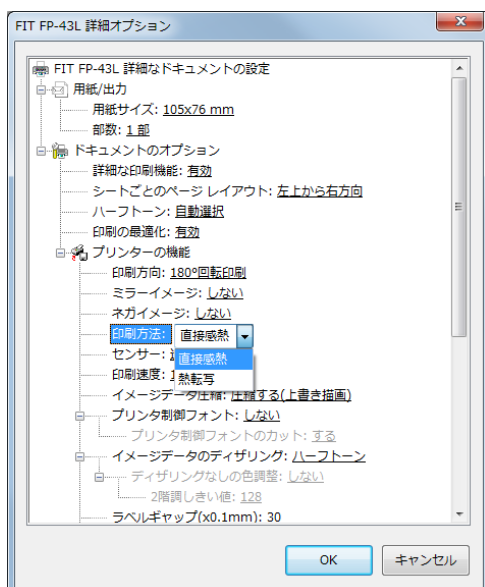


10 プリンタードライバーの「印刷方式」を「直接感熱」にします。

リボンを使用する場合は「熱転写」を選択します。

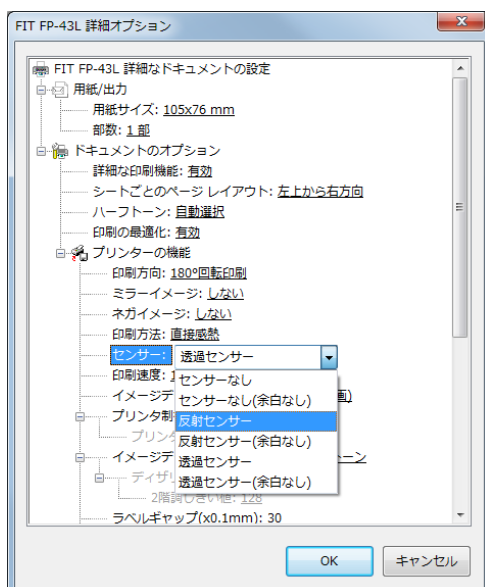


「直接感熱」を選択した場合は、リボンをプリンターから取り外してください。
「熱転写」を選択する場合はプリンターにリボンが取り付けられていないと印刷を実行したときにエラーが起きます。

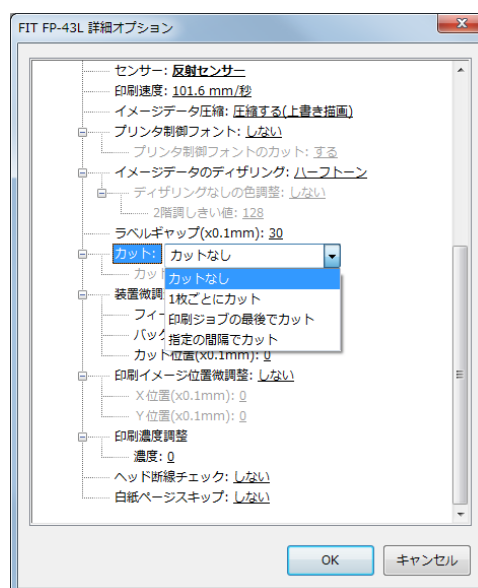


11 プリンタードライバーの「センサー」を「反射センサー」にします。

ラベルとラベルの間のギャップを検出する場合は、「透過センサー」を選択します。



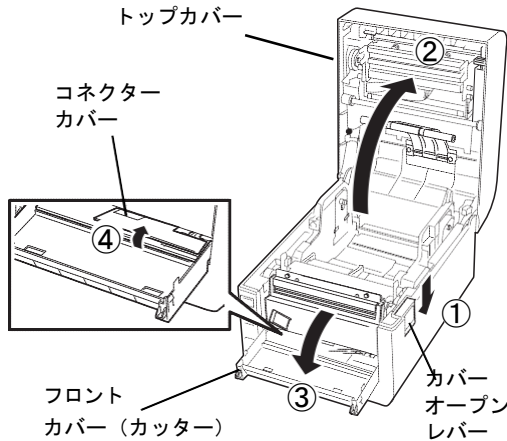
12 プリンタードライバーで「カット」を「カットなし」に設定します。



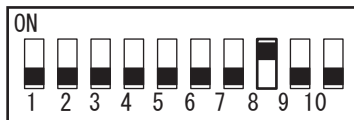
13 コンピューターから印刷を行います。

プリンタードライバーの設定を使用しない場合

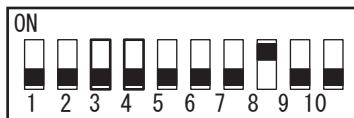
- 1 電源を OFF にします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



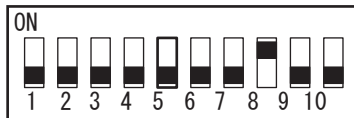
- 3 DIP SW8 を ON にしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- 4 DIP SW3 と 4 を OFF にして連続印刷モードにします。



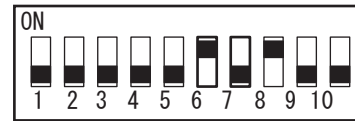
- 5 DIP SW5 を OFF にして感熱方式にします。
リボンを使用する場合は ON にしてください。



チェック

FP-43LD タイプ（感熱タイプ）は ON/OFF の機能を無視して感熱方式で動作します。

- 6 DIP SW6 を ON、SW7 を OFF にして反射センサーにします。



- 7 コネクタカバーを取り付けます。
- 8 プリンターの電源スイッチを ON にします。
- 9 用紙をセットします。
- 10 フロントカバーを閉じます。
- 11 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 12 コンピューターから印刷を行います。

カット印刷

印刷方法には、カット印刷をする方法と連続印刷をする方法があります。また、それぞれの設定には「プリンタードライバー設定」を使用する方法と使用しない方法があります。ここでは例として、熱転写方式でラベルに印刷し、1枚ごとにカットする方法について説明します。カッタースタッカーを装着している場合は、取り外してから設定してください。

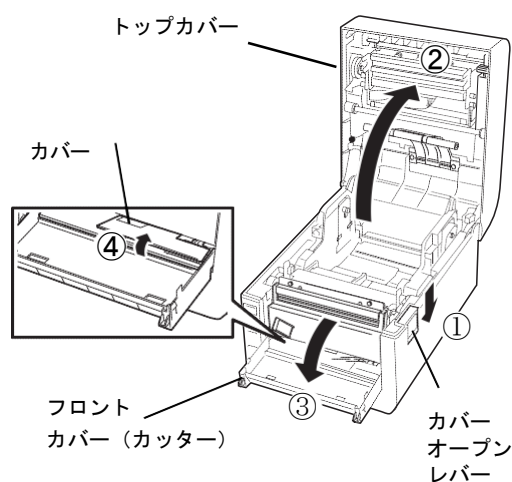
✓ チェック

- ・ プリンターを動作させる際はユーザーズマニュアルの「1-8 用紙をセットする」を参照して必ず用紙をセットしてください。
- ・ リストバンドはカット印刷をすることはできません。

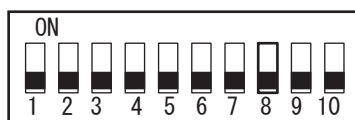
カット印刷をする

プリンタードライバーの設定を使用する場合

- 1 電源を OFF にします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクタカバーを取り外します。

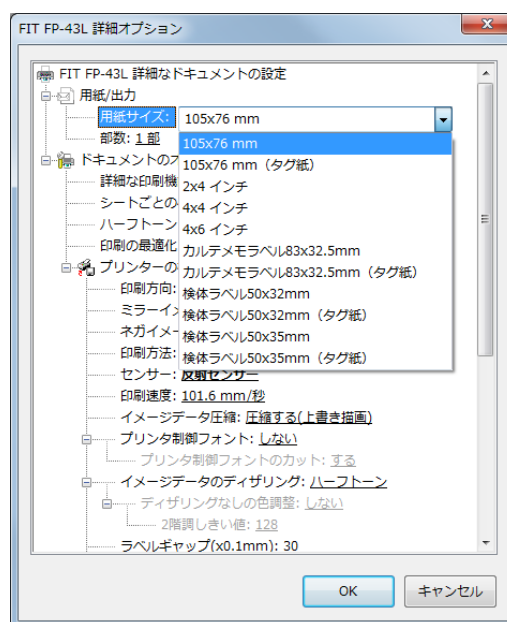


- 3 DIP SW8 を OFF にしてプリンタードライバーの設定を有効にします。

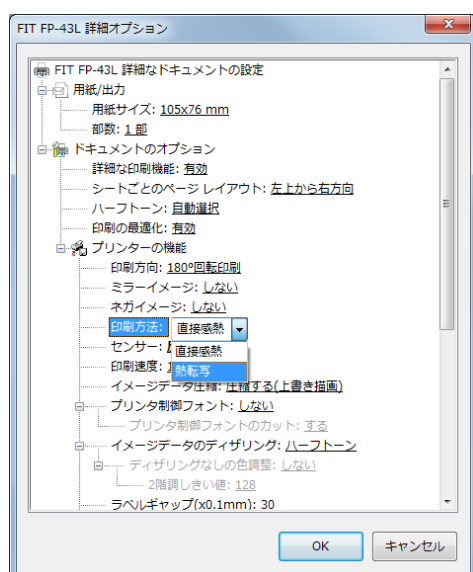


- 4 コネクタカバーを取り付けます。
- 5 プリンターの電源スイッチを ON にします。
- 6 用紙をセットします。
- 7 フロントカバー（カッター）を閉じます。

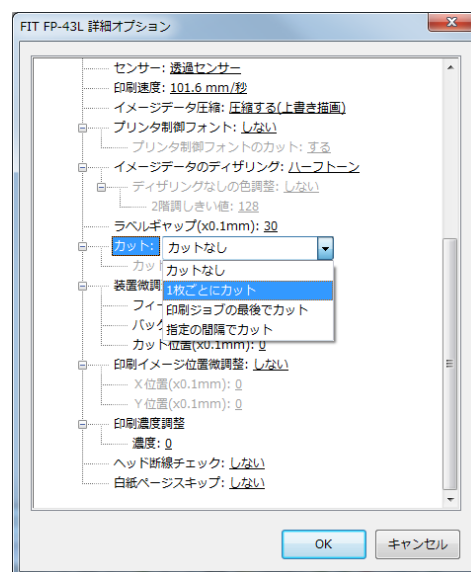
- 8 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 9 プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。



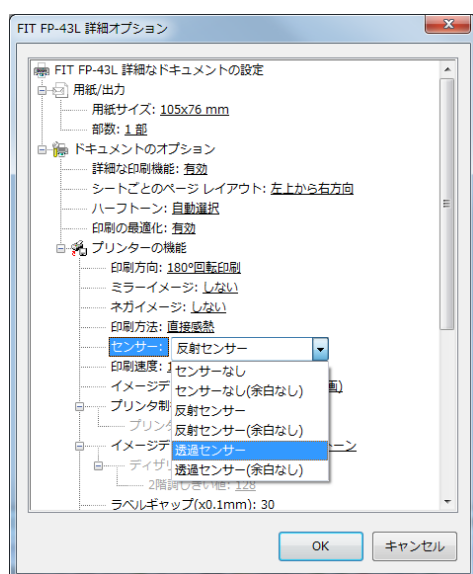
- 10 プリンタードライバーの「印刷方式」を「熱転写」にします。



- 12 プリンタードライバーの「カット」を「1枚ごとにカット」にします。

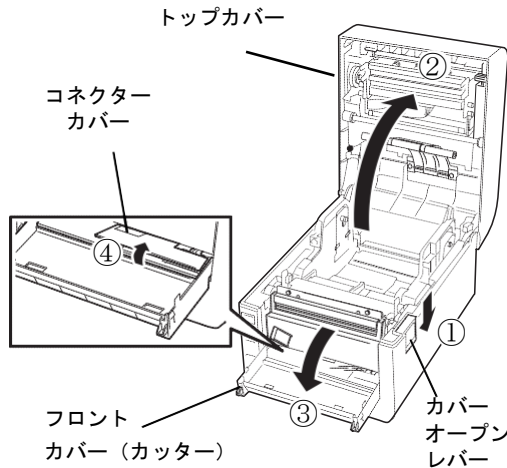


- 11 プリンタードライバーの「センサー」を「透過センサー」にします。

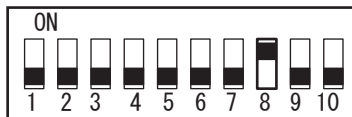


プリンタードライバーの設定を使用しない場合

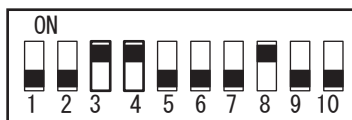
- 1 電源を OFF にします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。



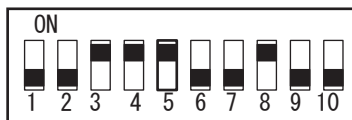
- 3 DIP SW8 を ON にしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- 4 DIP SW3 と 4 を ON にしてカット印刷モードにします。



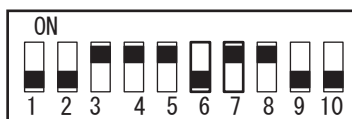
- 5 DIP SW5 を ON にして熱転写方式にします。



✓ チェック

FP-43LD タイプ（感熱タイプ）は ON/OFF の機能を無視して感熱方式で動作します。

- 6 DIP SW6 を OFF、SW7 を ON にして透過センサーにします。



- 7 コネクターカバーを取り付けます。
- 8 プリンターの電源スイッチを ON にします。
- 9 用紙をセットします。
- 10 フロントカバー（カッター）を閉じます。
- 11 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 12 コンピューターから印刷を行います。

✓ チェック

プリンターの DIP SW3 と 4 で「印刷モード」を“カット印刷”に設定した場合は、1 枚ごとにカットされます。指定の間隔でカット、または印刷ジョブの最後でカットを行いたい場合は、プリンタードライバーの設定を使用してください。

1-10 プリンター制御フォントの使用法

プリンター制御フォントとは、アプリケーション内の任意のページでカットを指定するためのフォントです。アプリケーション内に記載されたプリンター制御フォントは印刷されません。様式には「CT」と「~」の2種類があり、それぞれカットの動作が異なります。

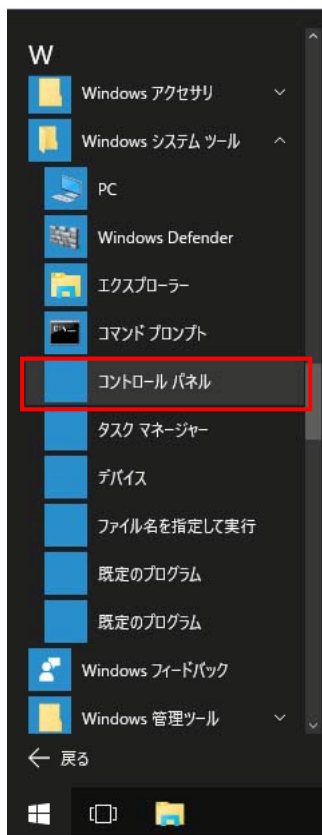
プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーに対してプリンター制御フォントを有効にする方法を以下に示します。

1 [プリンター] フォルダーまたは [プリンターと FAX] フォルダーを開きます。

Windows 10 の場合

- 1 [スタートボタン] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

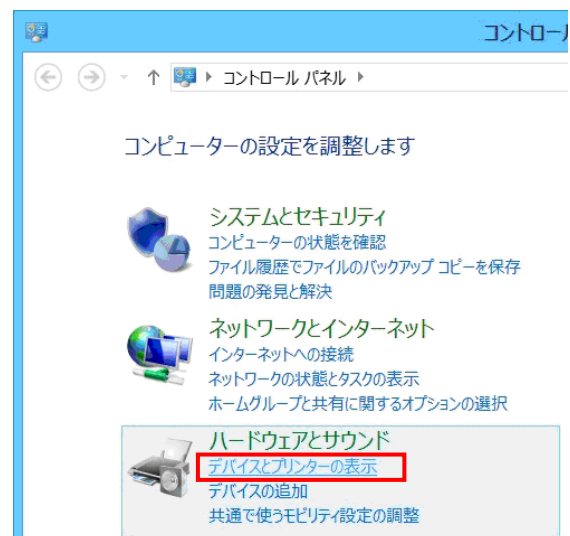


- 2 [ハードウェアとサウンド]項目内の[デバイスとプリンターの表示]をクリックします。



Windows 8/Server 2012 の場合

- 1 マウスポインタを画面右下隅に移動し、チャームを表示させます。表示されたチャームから[設定チャーム] → [コントロールパネル]をクリックします。
- 2 [ハードウェアとサウンド]項目内の[デバイスとプリンターの表示]をクリックします。

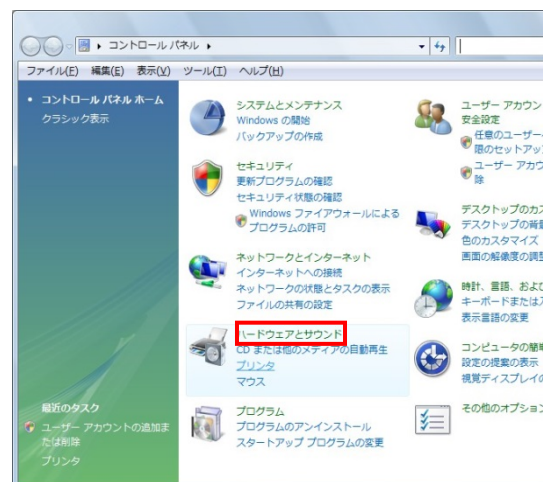


Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008 の場合

- 1 [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。

- 2 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ハードウェアとサウンド] の [プリンター] をクリックします。



2 「FIT FP-43L」アイコンをクリックします。

3 プリンターのプロパティダイアログボックスを表示させます。

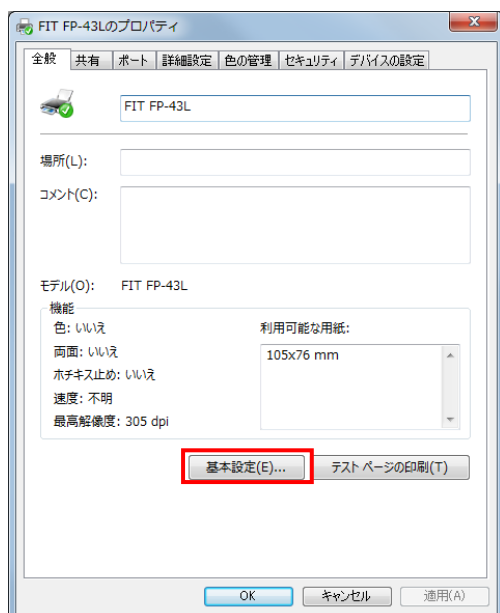
Windows 10/8.1/8/7/Server 2012/Server 2008 R2 の場合は、プリンターを選択し、アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、[ファイル]メニューの[管理者として実行]から[サーバーのプロパティ]をクリックします。



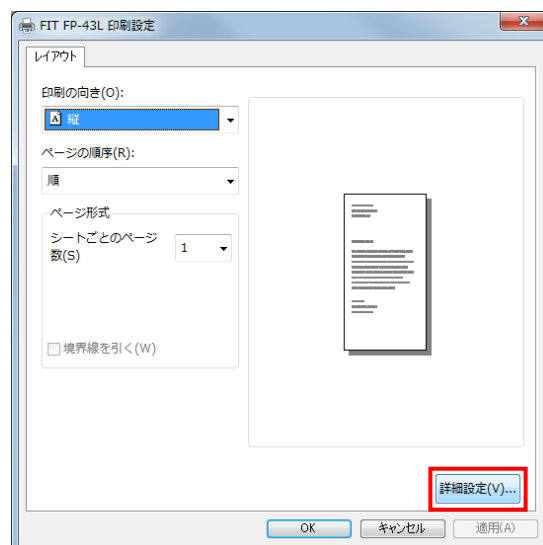
4 [全般]シートの[基本設定]をクリックします。

[FIT FP-43L 印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

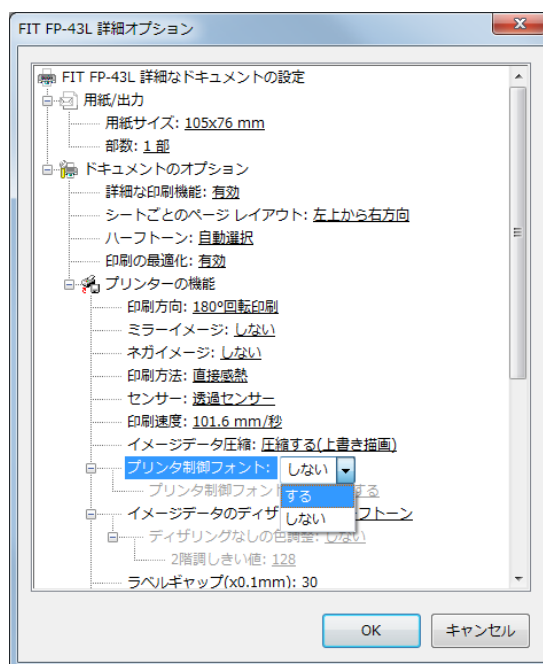


5 [詳細設定]をクリックします。

[FIT FP-43L 詳細オプション] ダイアログボックスが表示されます。



6 [プリンター制御フォント]を[する]に設定して、[OK]をクリックします。



「印刷の最適化」が有効の場合のみ使用できます。

7 [FIT FP-43L 印刷設定] ダイアログボックスおよび [FIT FP-43L のプロパティ] ダイアログボックスでそれぞれ [OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

以上でプリンタードライバ側の設定は完了です。

アプリケーションでの指定方法

アプリケーション上の文字列をプリンター制御フォントで記載することで、プリンタードライバーは記載された文字列をプリンタードライバーに対する命令として解釈します。プリンター制御フォントで記載された文字列は印刷されません。

プリンター制御フォントには、文書内に直接命令を埋め込むものと、外部ファイルに記載された命令を取り込むための2種類のフォントがあり、それぞれに横書き用と縦書き用があります。フォント名は次のとおりです（「@」が付いたフォントは縦書き用です）。

フォント名	説 明	受付可能な命令	入力例
FIT プリンター制御	文書内に埋め込む場合に使用する横書き用フォント	- CTn (n=0~9999 までの半角数字) ~n (n=0~9999 までの半角数字)	
@FIT プリンター制御	文書内に埋め込む場合に使用する縦書き用フォント	- CTn (n=0~9999 までの半角数字) ~n (n=0~9999 までの半角数字)	
FIT プリンター制御 (ファイル)	外部ファイルを参照する場合の横書き用フォント	ファイル名 (パスを含む) 外部ファイル内の受付可能な命令 - CTn (n=0~9999 までの半角数字) ~n (n=0~9999 までの半角数字)	
@FIT プリンター制御 (ファイル)	外部ファイルを参照する場合の縦書き用フォント	ファイル名 (パスを含む) 外部ファイル内の受付可能な命令 - CTn (n=0~9999 までの半角数字) ~n (n=0~9999 までの半角数字)	

ここでは Microsoft Word を例に説明します。

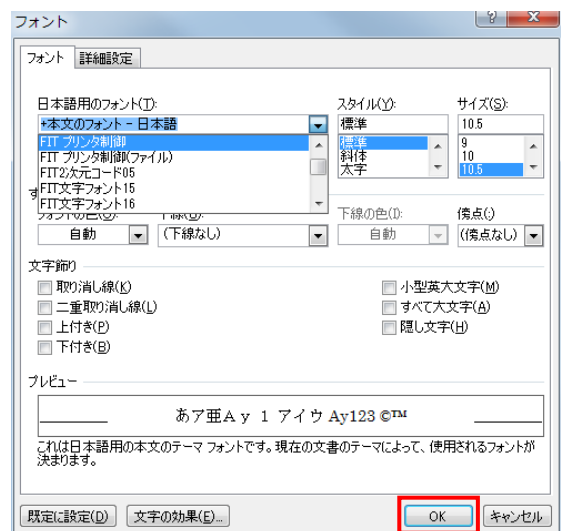
1 Microsoft Word を起動して、任意のファイルを開きます。

2 [フォント] ダイアログボックスを表示させます。
 他のアプリケーションの場合は、アプリケーションのヘルプを参照してフォントを変更するための手順を確認し、ダイアログボックスを表示させてください。



プリンター制御フォントに修飾しようとしているテキストボックス内の文字列は、「FIT プリンター制御」フォントを使ったカット指定」および「FIT プリンター制御 (ファイル)」フォントを使ったカット指定」で説明する命令またはファイル名であることを確認してください。

3 フォントの一覧から、プリンター制御フォントを選択して [OK] をクリックします。

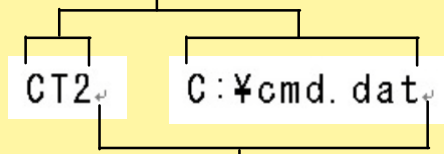




フォント指定時の注意事項

- ・ プリンター制御フォントを記述する場合は、文字列をすべて同じプリンター制御フォントおよびフォントサイズで記述してください。
- ・ 記述後に改行する際、プリンター制御フォントで改行しないようにしてください。

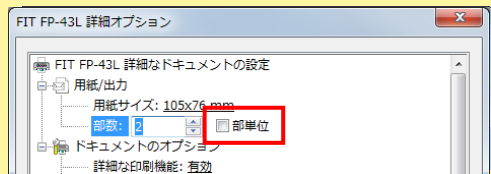
命令または外部ファイル名にはプリンター制御フォントを同じサイズで指定する。



改行する場合は、プリンター制御フォント以外の通常フォントを指定してから改行する。

部数の設定について

部数印刷を指定する場合は、[部単位]のチェックを外してください。[部単位]がオンの場合は、毎ページカットされます。



「FIT プリンター制御」フォントを使ったカット指定

「FIT プリンター制御」フォントまたは「@FIT プリンター制御」フォントで修飾された文字列について、プリンタードライバーは次の2種類の記述を命令として受け付けます。

✓ チェック

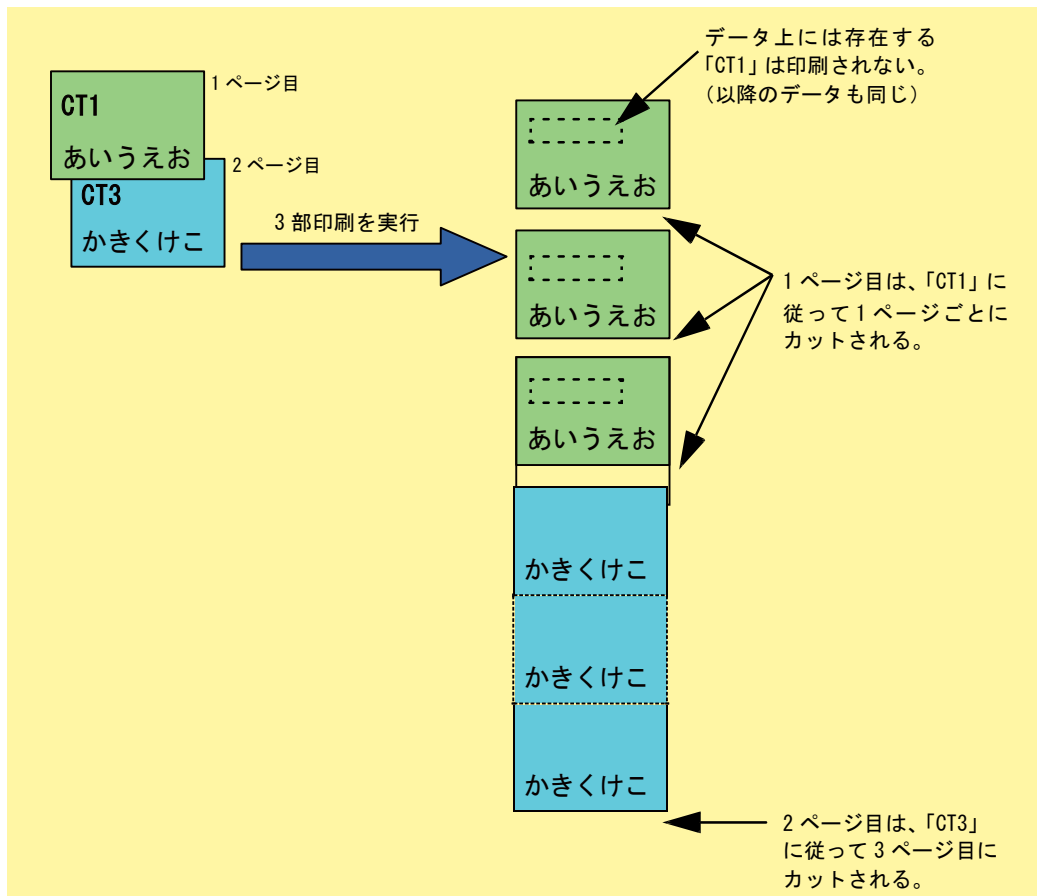
- ・ 文書中にプリンター制御フォントによるカット指定がない、または無効な記述がされている場合は、1 枚ごとにカットを行います。
- ・ 記述をプリンター制御フォントに指定していない場合は、文字列として印刷されます。
- ・ 記述の入力上の注意事項については「アプリケーションでの指定方法」（前頁）を参照してください。
- ・ 印刷時の部数指定については「アプリケーションでの指定方法」（前項）を参照してください。

CT（任意のページでカットする）

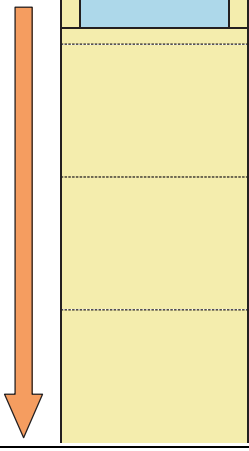
「CT」に続く数字で指定されたページ数を印刷後にカットします。

指定方法 CT n 「 n 」は0～9999 までの半角の数値です。
 n に0を指定した場合、指定したページではカットしません。
 n に1を指定した場合、指定したページを1 枚印刷するごとにカットします。
 n に2を指定した場合、指定したページを2 枚印刷するごとにカットします。

使用例（2 ページ、3 部印刷の場合）



1-11 プリンタードライバーに関する問題一覧

現 象	原 因	処 置
プリンタードライバーの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
プリンタードライバーに使用したい用紙サイズが登録されていない。	Windows OS およびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、「1-8 ユーザー定義用紙サイズの登録」を参照してください。
用紙サイズのユーザー定義サイズが設定できない。	Windows OS およびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、「1-8 ユーザー定義用紙サイズの登録」を参照してください。
印刷されない。	ポートの設定が正しくない。	接続を確認し、ポートの設定を確認してください。
	プリンターでエラーが発生している。	オンライン状態でないと印刷できません。エラーを解除してオンライン状態（ONLINE ランプ点灯）にしてください。
用紙送りエラーが発生する。 （プリンターの7セグLEDに“  ”が表示される。）	ラベルのギャップを検出できませんでした。	- ラベルギャップを検出するときは、「透過センサー」を選択してください。 - 黒マークを検出するときは、反射センサーを選択してください。 - ユーザーズマニュアルの1章を参照して「しきい値の調整」を行ってください。
	黒マークを検出できませんでした。	
	センサーのしきい値の設定が用紙に合っていない。	
白紙のページができる（用紙抜けが発生する）。 	用紙長が合っていない。	「1-7 印刷の詳細設定」の「[印刷設定] ダイアログボックスで詳細設定を行う（[レイアウト] シート）」を参照して用紙を選択してください。 「1-8 ユーザー定義用紙サイズの登録」を参照して用紙を作成してください。
リボンエラーが発生する。 （プリンターの7セグLEDに“  ”が表示される。）	リボンがセットされていません。	[熱転写] を選択するときはリボンをセットしてください。[直接感熱] を選択するときは、リボンを取り外してください。

2 章 リモートパネル

リモートパネルは、本プリンターの各種機能をご使用のコンピューターの画面上で設定できるように作成されたソフトウェアです。ここではリモートパネルのインストール（アンインストール）方法、起動方法、およびリモートパネルの使い方について説明します。なお、リモートパネルのヘルプも併せて参照してください。



- ・ リモートパネルを動作させるためには事前にプリンタードライバーのインストールが必要です。

2-1 リモートパネルのインストールとアンインストール

お使いのコンピューターでリモートパネルをご使用になる場合、コンピューターにリモートパネルをインストールしてください。

リモートパネルのインストール

リモートパネルのインストール手順は次のとおりです。

- 1 ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
[プリンターソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

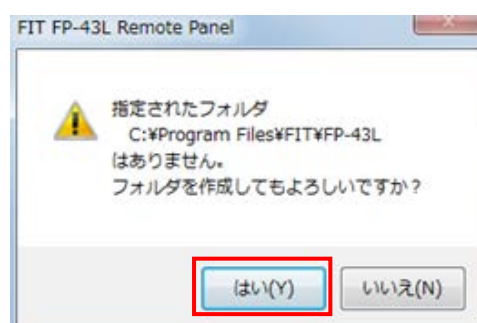
- 2 [リモートパネルのインストール] ボタンをクリックします。



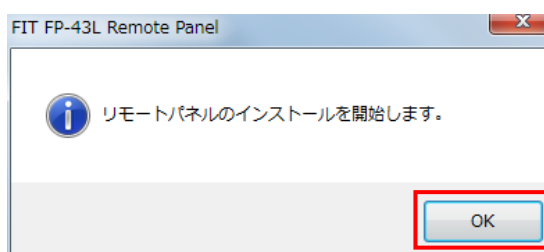
- 3 インストール先のフォルダを指定し、[OK] をクリックします。



下の画面が表示された場合は [はい] をクリックしてください。フォルダーが作成されます。



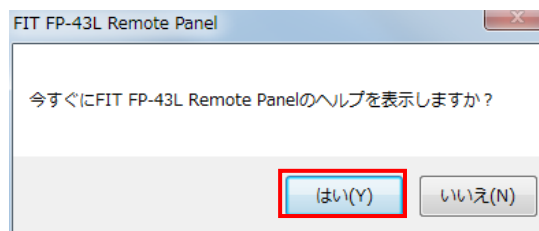
- 4 [OK] をクリックします。



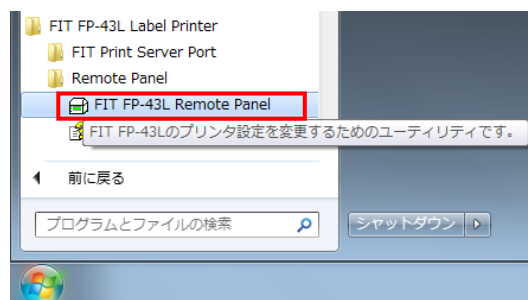
5 [OK] をクリックします。



6 リモートパネルのヘルプを表示する場合は [はい] を、表示しない場合は [いいえ] をクリックします。



[
[スタート] メニューの [すべてのプログラム] または
[プログラム] に「FIT FP-43L Remote Panel」の表示
が出ていればインストール完了です。



リモートパネルの削除(アンインストール)

次の手順で削除(アンインストール)を行ってください。

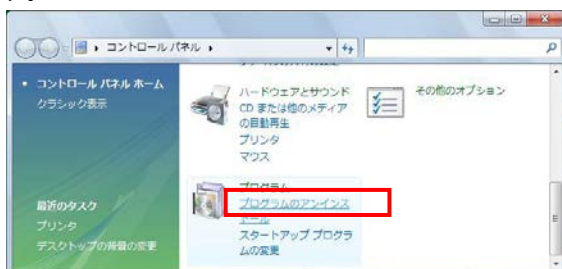
1 [コントロールパネル] フォルダーを開きます。

Windows10 の場合、[スタートボタン] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

Windows 8/Server 2012 の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定] - [コントロールパネル] をクリックします。

Windows 7/Vista/Server 2008 R2/Server 2008 の場合、[コントロールパネル] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

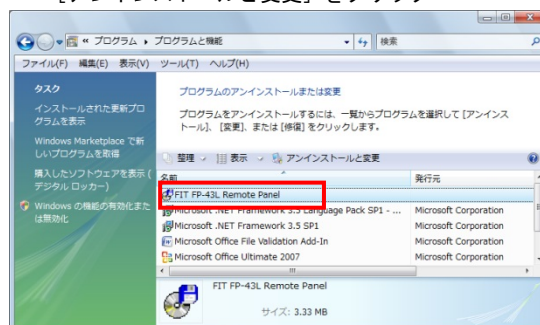
2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。



3 「FIT FP-43L Remote Panel」を選択し、次の操作をします。

- Windows 10 の場合
[アンインストールと変更] をクリック
- Windows 8/Server 2012 の場合
「FIT FP-43L Remote Panel」を右クリックし、[アンインストールと変更] をクリック

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合
[プログラムのアンインストール] をクリック
- Windows Vista/Server 2008 の場合
[アンインストールと変更] をクリック

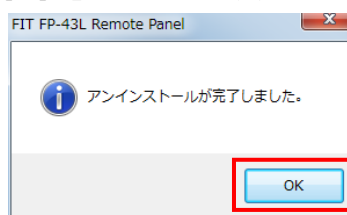


Windows Vista の場合の表示例

4 [はい] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。



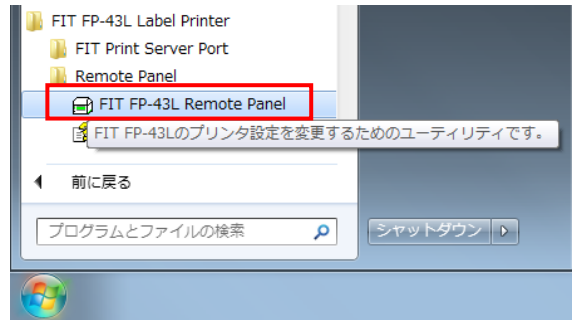
アンインストールの完了です。

2-2 リモートパネルの起動

[リモートパネル] は以下の方法で開きます。

[スタート] の [すべてのプログラム] または [すべてのアプリ] から、[FIT FP-43L Remote Panel] フォルダの [FIT FP-43L Remote Panel] をクリックします。

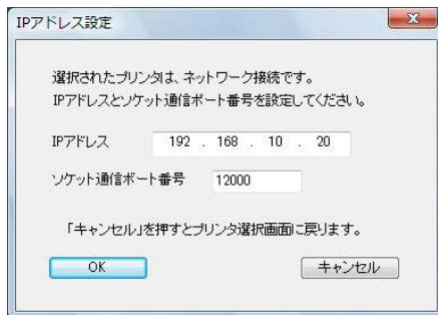
Windows 8/Server 2012 の場合、スタート画面から、「FIT FP-43L Remote Panel」をクリックします。



Windows 7 の場合の表示例

✓ チェック

リモートパネルはネットワーク接続プリンターを選択した場合、「IP アドレス」と「ソケット通信ポート番号」設定画面が表示されます。



右のようなリモートパネルが表示されます。

✓ チェック

- リモートパネルは起動時にプリンター本体の設定値を取得し、画面に表示します。設定値の取得に失敗した場合は、工場出荷設定の値を表示します。



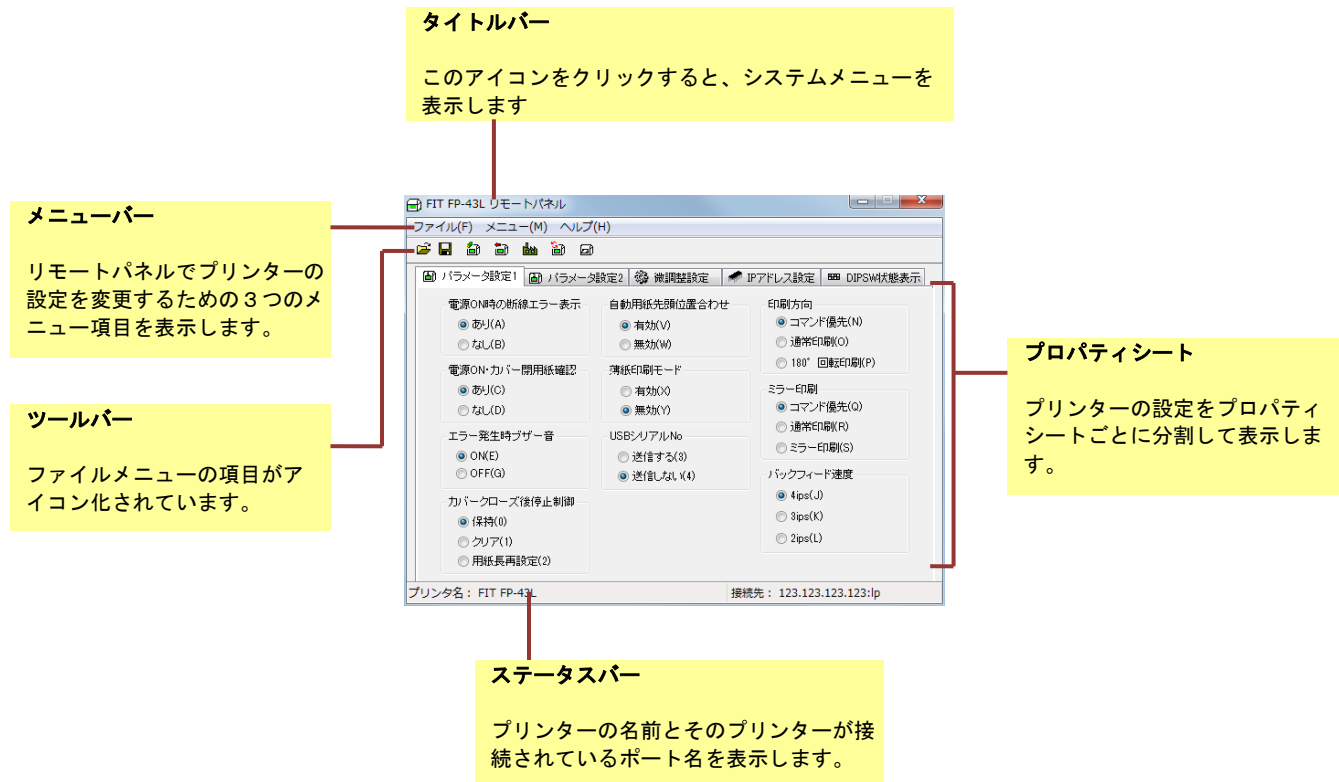
- 複数の FIT FP-43L のプリンタードライバーをインストールしているコンピューターではリモートパネルを表示する前にプリンターの選択画面が表示されます。プリンターを選択するとそのプリンター用のリモートパネルが表示されます。



リモートパネルの表示例

2-3 リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような「リモートパネル」メインダイアログボックスが表示されます。



システムメニュー



・元のサイズに戻す

アイコン化されているリモートパネルをウィンドウ状態に戻します。アイコン化されていないときはグレー表示されます。

・移動

リモートパネルのウィンドウを移動します。リモートパネルがアイコン表示されているときは移動できないため、グレー表示されます。

・サイズ変更

使用できないためグレー表示されます。

・最小化

リモートパネルをアイコン表示します。すでにアイコン表示されているときはグレー表示されます。

・最大化

使用できないためグレー表示されます。

・閉じる

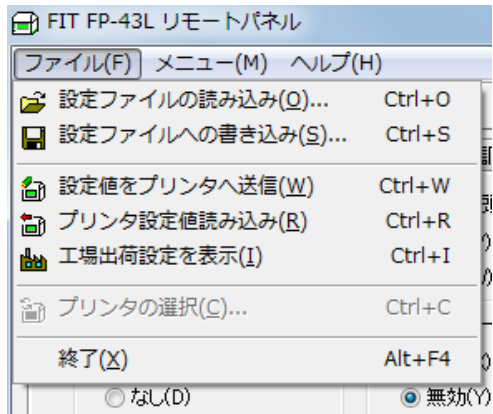
リモートパネルを終了します。

メニューバー

リモートパネルでプリンターの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

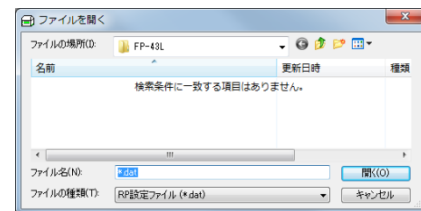
ファイル

「ファイル」をクリックすると、リモートパネルで設定した値を書き込んだり、工場出荷時の設定値に戻して表示させたりすることができます。



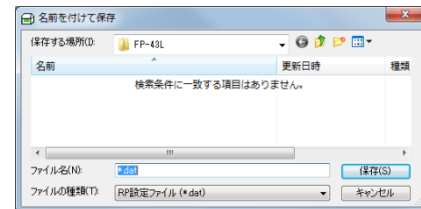
設定ファイルの読み込み

この項目をクリックすると「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。



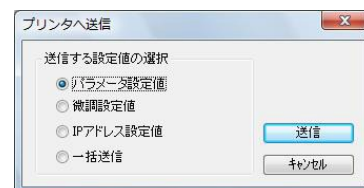
設定ファイルへの書き込み

この項目をクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するための右のダイアログボックスが表示されます。



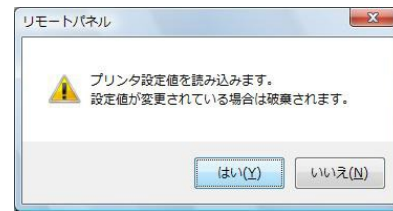
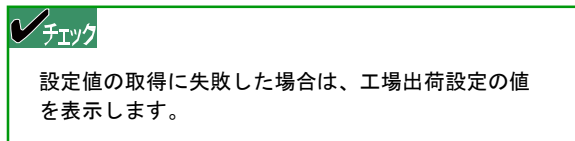
設定値をプリンターへ送信

選択されているプリンターにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。



プリンターの設定値読み込み

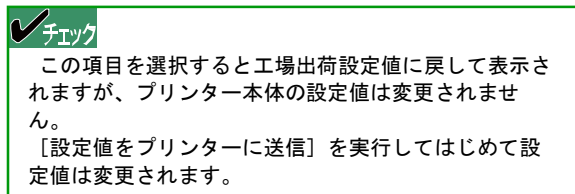
プリンターから現在の設定値を読み込んで画面に表示します。



工場出荷設定値を表示

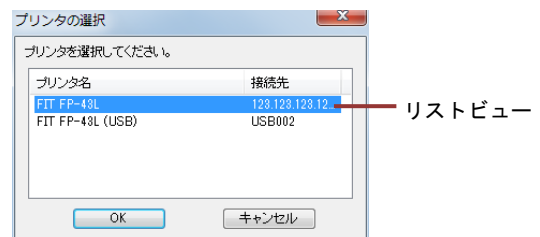
リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき右のダイアログボックスが表示されます。

このとき「キャンセル」をクリックすると工場出荷設定値には戻らず、メインダイアログボックスに戻ります。「OK」をクリックすると右のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

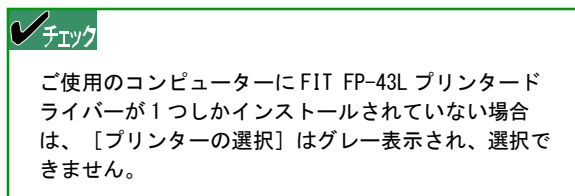


プリンターの選択

リモートパネルで設定変更したいプリンターを選択することができます。ご使用のコンピューターに複数のFIT FP-43L プリンタードライバーがインストールされている場合のみ、プリンターを選択するため右のダイアログボックスが表示されます。設定を変更または表示したいプリンターをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンター名および接続先が表示されます。



「OK」をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンターの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

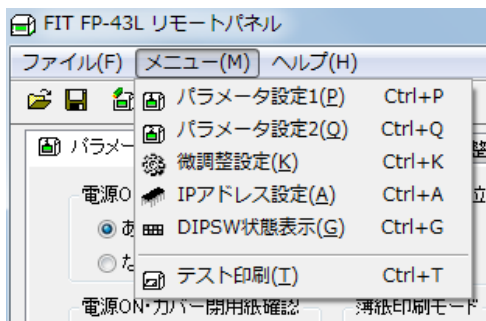


終了

リモートパネルを終了することができます。

メニュー

リモートパネルで設定変更したい項目またはプリンターの設定状態の表示を選択することができます。



項目を選択することで各種機能設定の画面または設定状態の画面に切り替わります。メニュー上の仕切り線より上にある5つの項目の詳細については、「2.3 リモートパネルの使い方」の「プロパティシート」またはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

テスト印刷

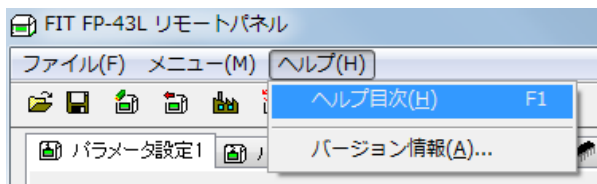
選択しているプリンターに対してテスト印刷を実行します。テスト用ラベルをプリンターにセットしてください。テスト印刷の印刷結果例を以下に示します。

印刷試験



ヘルプ

ヘルプをクリックすると、リモートパネルのヘルプやバージョン情報を表示することができます。



ヘルプ目次

リモートパネルのヘルプを表示します。

バージョン情報

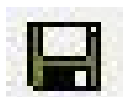
リモートパネルのバージョン情報を表示します。

ツールバー



・【設定ファイルの読み込み】ボタン

このボタンをクリックすると、【ファイルを開く】ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。



・【設定ファイルへの書き込み】ボタン

このボタンをクリックすると、リモートパネル設定ファイルを保存するためのダイアログボックスが表示されます。



・【設定値をプリンターへ送信】ボタン

このボタンをクリックすると、プリンターにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。



・【プリンター設定値読み込み】ボタン

このボタンをクリックすると、プリンターの設定値を読み取り、画面に表示することができます。



・【工場出荷設定を表示】ボタン

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき次のダイアログボックスが表示されます。



このとき【キャンセル】を選択すると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。

【OK】を選択すると次のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。



✓ チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンター本体の設定値は変更されません。【設定値をプリンターに送信】を実行してはじめて設定値は変更されます。



・ [プリンターの選択] ボタン

このボタンをクリックすると、リモートパネルで設定変更したいプリンターを選択することができます。ご使用のコンピューターに複数の FIT FP-43L プリンタードライバーがインストールされている場合のみ、プリンターを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。設定または表示したいプリンターをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンター名および接続先が表示されます。



[OK] をクリックすると、リストビュー上で選択されているプリンターの設定を表示および変更するリモートパネルが起動します。



ご使用のコンピューターに FIT FP-43L プリンタードライバーが1つしかインストールされていない場合は、[プリンターの選択] はグレー表示され、選択できません。



・ [テスト印刷] ボタン

このボタンをクリックすると、テスト印刷を実行します。

プロパティシート

リモートパネルは次の 5 つのプロパティシートを持っています。プロパティシートの切り替えは 4 つのタブまたは [メニュー] の中から切り替えることができます。

パラメータ設定 1

用意されているパラメータからプリンターが行う動作や処理を指定するプロパティ（その 1）です。



項目名	説明	パラメーター【既定値】
電源 ON 時の断線エラー表示	電源 ON 時に自動でサーマルヘッドの断線チェックをするかどうかを設定します。[あり] に設定しているときに断線チェックエラーを検出すると、プリンターの ERROR ランプを点滅させ、7 セメント LED にはエラーコードを表示します。	【あり】・なし
電源 ON・カバー閉用紙確認	電源 ON 時、またはカバークローズ動作時に用紙の有無を確認するかどうかを切り替えます。	【あり】・なし
エラー発生時ブザー音	エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。	【ON（鳴らす）】・OFF
カバークローズ後停止制御	用紙の停止位置を制御する方法を切り替えます。	【保持】・クリア・用紙長再設定
カッターオプション制御方法* ¹	カッター制御方法を切り替えます。[フルカット] にした場合、用紙を完全に切り離します。[パーシャルカット] は用紙の中央部分を少しだけ残してカットします。	【フルカット】・パーシャルカット
自動用紙先頭位置合わせ	自動用紙位置合わせをするかどうかを切り替えます。[有効] にした場合、用紙位置合わせをします。	【有効】・無効
薄紙印刷モード	カット位置からの用紙戻し動作を行うかどうかを切り替えます。無効の場合は、用紙戻し動作を行います。有効の場合は、カット位置からの用紙戻し動作を行いません。また、センサーの設定に関わらず、センサー無し設定時の動作となります。	有効・【無効】
印刷方向	印刷の向きを切り替えます。[コマンド優先] にした場合、プリンタードライバーの設定に従います。	【コマンド優先】・通常印刷・180° 回転印刷
ミラー印刷	ミラー印刷をするかどうかを切り替えます。[コマンド優先] にした場合、プリンタードライバーの設定に従います。	【コマンド優先】・通常印刷・ミラー印刷
バックフィード速度	用紙をプリンター内へ戻す（後ろに送る）速度（ips：インチ/秒）を切り替えます。印刷結果に汚れが目立つ場合は速度を落としてください。	【4ips】・3ips・2ips
USB シリアル No	USB ケーブルで接続したときに、プリンターから PC に対して USB のシリアル No を送信するかどうかを切り替えます。	送信する 【送信しない】

*¹ フルカットのみ機能します。

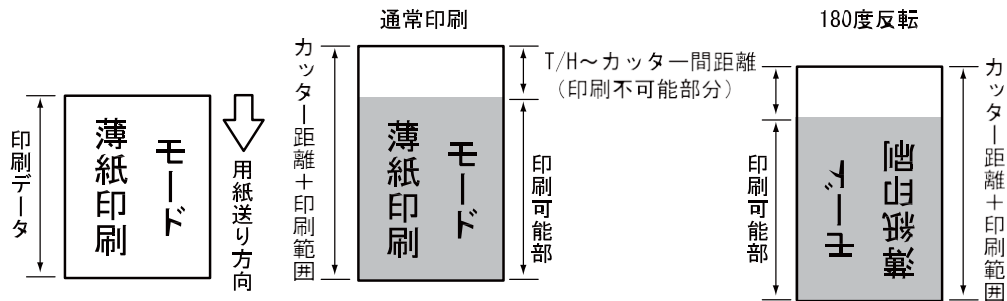
・薄紙印刷モード

このモードは厚さ $80\mu\text{m}$ 以下 ($75\mu\text{m}$ 程度) の用紙を印刷するときに使用する機能です。

印刷後のカット位置や、自動カット送り位置よりバックフィード動作を行いません。

- ー 用紙はタグ紙を使用してください。透過／反射センサーは動作しません。

印刷範囲は通常印刷（フルカット時）と同じです。ただし、上部に 18mm 土カット微調量の余白が付加されます。

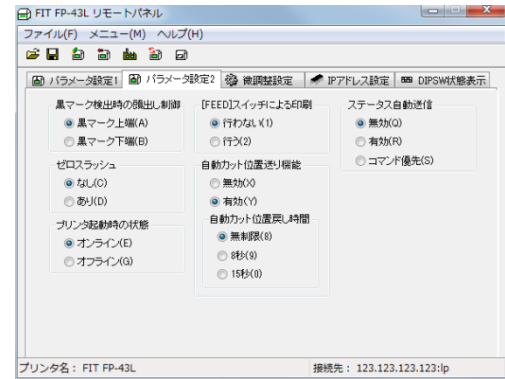


✓ チェック

レシートのような可変長のデータの場合は、プリンタードライバーの用紙を十分な長さに設定し、センサー種別を「センサーなし（余白なし）」に設定することで、可変長の印刷を行うことができます。

パラメータ設定 2

用意されているパラメーターからプリンターが行う動作や処理を指定するプロパティ（その 2）です。



項目名	説 明	パラメーター【既定値】
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マークを検出する制御を切り替えます。	【黒マーク上端】・黒マーク下端
ゼロスラッシュ	内蔵フォントの半角の“0（ゼロ）”（JISコード0x30）に対して、スラッシュを付けて印刷するかどうかを切り替えます。	【なし】・あり
プリンター起動時の状態	電源投入時、本プリンターをオンライン状態で起動させるかオフライン状態で起動させるかを切り替えます。	【オンライン】・オフライン
[FEED] スイッチによる印刷	オンライン状態で、[FEED] スイッチを押したときにフィード動作のみを行うか、再印刷を行うかを切り替えます。	【（再印刷）を行わない】・行う
自動カット位置送り機能	自動カット位置送り機能の有効／無効を切り替えます。印刷終了後に自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。連続印刷のときのみこの機能を使うと用紙をプリンターの外で切ることができます。ただし、用紙長が27mm未満の場合は使用できません。	【有効 ^{*1} 】・無効
自動カット位置戻し時間	自動カット位置から元の位置に戻す時間の長さを切り替えます。印刷したラベルを取り出しやすくするためにいったん用紙を排出口へ送ります。指定した時間を超えるとプリンターは次の印刷をするために用紙を印刷部へ引き戻します。 [無制限] に設定している場合は、次の印刷データを受信すると用紙を印刷部へ戻します。	【無制限】・8秒・15秒
パラレル I/F ACK 幅変更 ^{*2}	パラレルインターフェース使用時、データ受信に対する ACK 応答の幅を指定します。	【0.5 μsec】・8 μsec
インプットプライム ^{*2}	パラレルインターフェース使用時、インプットプライム信号を受信した場合、本プリンターをリセットするかどうかを切り替えます。	【無効】・有効
ステータス自動送信 ^{*3}	ステータスの自動送信を行うかどうかを切り替えます。	【無効】・有効・コマンド優先

^{*1} 「連続印刷」を指定しているときのみ機能します。

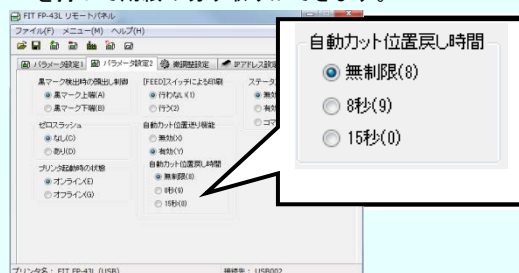
^{*2} 本 プ リ ン ター は パラレルインターフェースに対応していません。（設定は機能しません。）

^{*3} LAN インターフェース接続時に有効な機能です。

カット位置から印刷開始位置へ戻る時間の設定方法

1 リモートパネルで自動カット位置戻し時間を選びます。

工場設定値は「無制限」となっているため、余裕を持って用紙の切り取りができます。



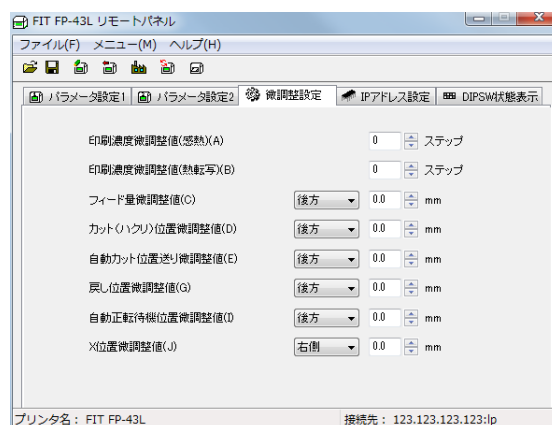
2 コンピューターから印刷を行います。
しばらくすると、用紙がフロントパネルまで送られます。ここで用紙を切り取ります。

3 設定時間が経過すると、用紙が印刷開始位置まで戻ります。

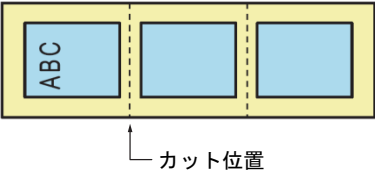
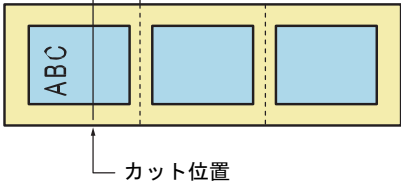
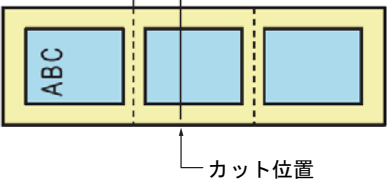
設定時間が経過する前に次の印刷データを受信すると、用紙が印刷開始位置まで戻ってから印刷を行います。

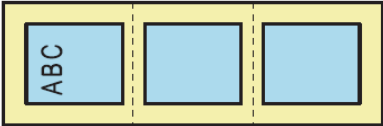
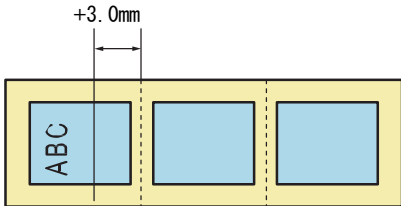
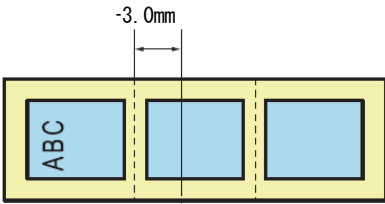
微調整設定

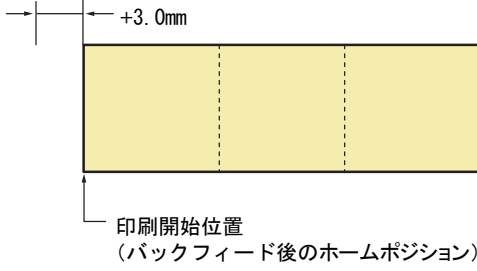
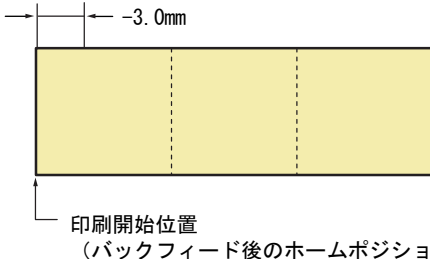
プリンター本体のフィード量やカット位置など印刷のための微調整をするプロパティです。

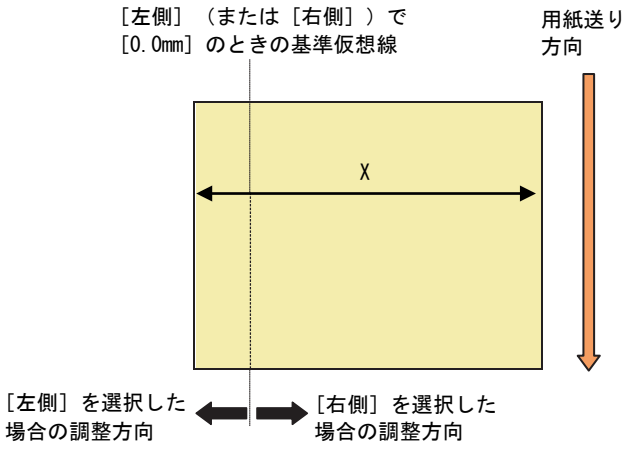


項目名	説明	パラメーター【既定値】
印刷濃度微調整 (感熱)	感熱印刷での印刷濃度を設定します (1 ステップ単位)。	-10～【0】～10
印刷濃度微調整値 (熱転写)	リボンを使った熱転写印刷での印刷濃度を設定します (1 ステップ単位)。	-10～【0】～10
フィード量微調整値* ¹	プリンターのスイッチまたはソフトウェアのコマンドによってラベル1枚分を送った (フィード) 後の印刷開始位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して [前方] と [後方] へそれぞれ 0.1mm 単位で設定できます。 用紙送り方向 ← ① [前方] (または [後方]) の [0.0mm] での印刷結果例 ② ①から [後方] の [3.0mm] にした場合の印刷結果例 +3.0mm ③ ①から [前方] の [3.0mm] にした場合の印刷結果例 -3.0mm	方向: 【後方】・前方 微調整値: 【0.0】～9.9

項目名	説明	パラメーター【既定値】
カット（ハクリ）位置 微調整値*1	カット位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 用紙送り方向 ← ① 「前方」（または「後方」）の「0.0mm」での印刷結果例  ② ①から「後方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 +3.0mm  ③ ①から「前方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 -3.0mm 	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
自動カット位置送り微調整値	手でカットをする場合に印刷済みの用紙を排出する位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 用紙送り方向  ① 「前方」（または「後方」）の「0.0mm」での印刷結果例  カット位置送り位置 ② ①から「後方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例  カット位置送り位置 ③ ①から「前方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例  カット位置送り位置	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

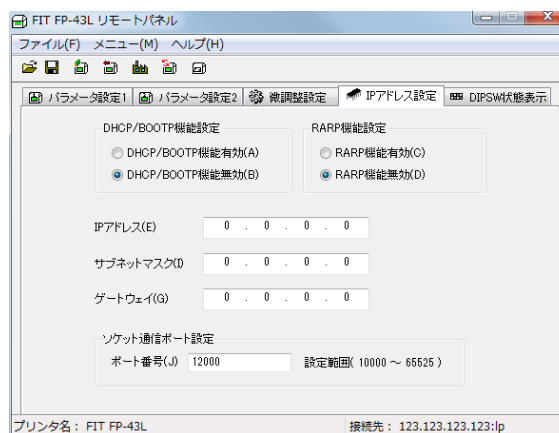
項目名	説明	パラメーター【既定値】
戻し位置微調整値* ¹	カット、自動カット位置送り、または自動正転待機動作後、印刷開始位置（ホームポジション）まで用紙を戻す位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。バックフィード動作は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーを起こさないよう微調整してください。 用紙送り方向  ①「前方」（または「後方」）の【0.0mm】での印刷結果例  印刷開始位置 (バックフィード後のホームポジション) ② ①から「後方」の【3.0mm】にした場合の印刷結果例  印刷開始位置 (バックフィード後のホームポジション) ③ ①から「前方」の【3.0mm】にした場合の印刷結果例  印刷開始位置 (バックフィード後のホームポジション)	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9
自動正転待機位置微調整値	自動正転待機の際の停止位置の微調整をします（カッターモジュールを装着している場合にのみ有効です）。「自動正転待機」とはジョブの最終ラベルを印刷終了後、2秒間経っても次のジョブを受信しない時に自動で数mm（装置カッター部まで）の正転フィードを行う動作です。これにより長時間放置した後に印刷したとき、カッターユニット部への巻き込みを防ぎます。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
X 位置微調整値	横方向位置の微調整をします。微調整は0.1mm単位で設定できますが、用紙の印刷幅の範囲内で調整してください。 [左側] (または [右側]) で [0.0mm] のときの基準仮想線  用紙送り方向 [左側] を選択した場合の調整方向 [右側] を選択した場合の調整方向	方向：【右側】・左側 微調整値：【0.0】～105.7

* ¹ カット印刷時は設定可能な微調整量が制限されるため、設定値どおりの位置決めができない場合があります。十分な試し印刷をした上でご利用ください。

IP アドレス設定

プリンターをネットワークプリンターとして使用する場合は IP アドレスやゲートウェイアドレスなどを設定するプロパティです。



項目名	説 明	パラメーター【既定値】
DHCP/BOOTP 機能設定	DHCP/BOOTP 機能の無効／有効を設定します。	【DHCP/BOOTP 機能無効】・DHCP/BOOTP 機能有効
RARP 機能設定	RARP 機能の無効／有効を設定します。	【RARP 機能無効】・RARP 機能有効
IP アドレス	プリンターの IP アドレスを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
ゲートウェイ	プリンターのゲートウェイアドレスを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
ソケット通信ポート設定	使用する通信ポート番号を設定します。	10000～【12000】～65525

DIPSW 状態表示

プリンター本体のスイッチ（DIPSW）の設定状態を表示します。設定の変更はできません。変更したい場合は、プリンター本体のスイッチを操作してください。



USB インターフェース、LAN インターフェース接続で、双方向通信が可能な状態の場合に現在の設定状態を表示することができます。



2-4 設定変更手順

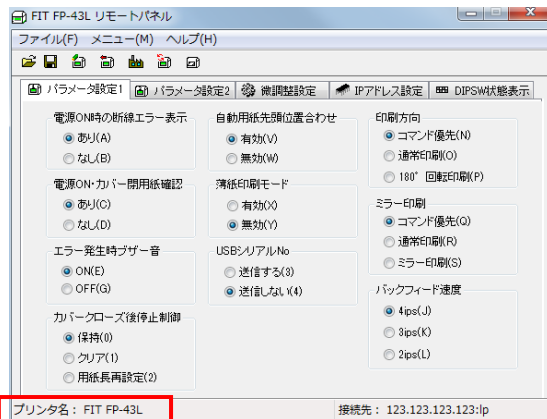
リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

✓チェック

- ・ リモートパネルは、対応機種のパリンタードライバーがインストールされていない場合、起動できません。対応機種のパリンタードライバーをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- ・ 設定を変更するには、プリンターとコンピューターがケーブルまたはネットワーク上で正しく接続されている必要があります。また、プリンタードライバーのポートが正しく設定されている必要があります（「1-5 印刷先の変更」を参照）。
- ・ リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピューターと送信先プリンターが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンターに送信しないように注意してください。

1 設定を変えたいプリンターかどうか確認します。

ステータスバーでプリンター名を確認してください。もし希望のプリンターでない場合はツールバーの「プリンターの選択」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「プリンターの選択」を選んで変更します。

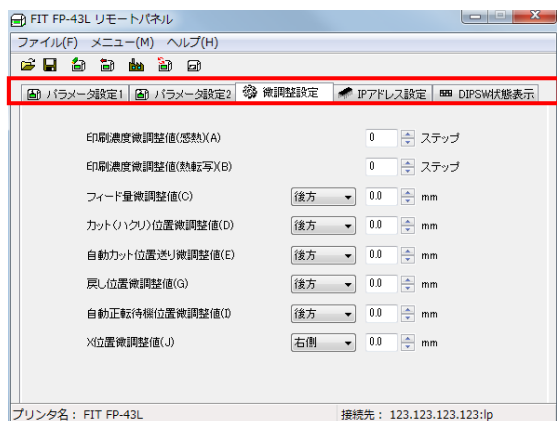


✓チェック

プリンターの変更はFIT FP-43L プリンタードライバーが複数インストールされている場合のみ可能です。

2 設定をしたいプロパティを表示します。

表示したいプロパティのタブをクリックするか、「メニュー」から選択してください。

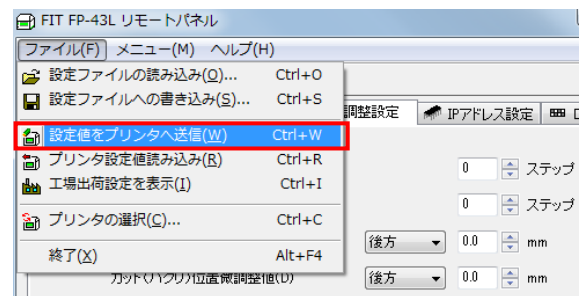


3 プロパティシートで設定を変更します。

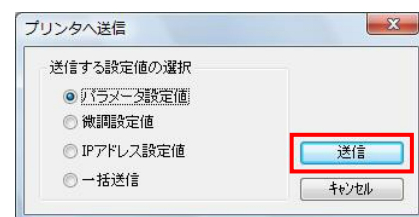
設定項目の詳細については、「2-3 リモートパネルの使い方」の「プロパティシート」またはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

4 変更した設定内容をプリンターに書き込みます。

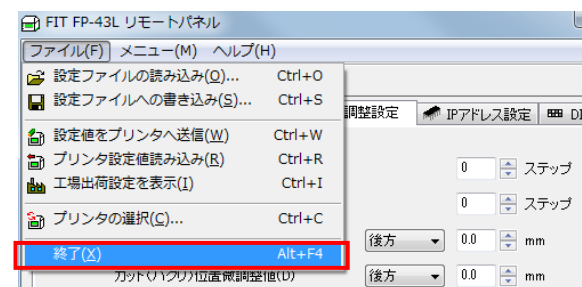
ツールバーの「設定値をプリンターへ送信」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「設定値をプリンターへ送信」を選択します。



5 送信したい設定項目を選択して、「送信」をクリックします。



6 「ファイル」メニューから「終了」を選択し、リモートパネルを終了します。



これでリモートパネルの設定変更は終了です。

2-5 リモートパネルが正しく動作しないときは

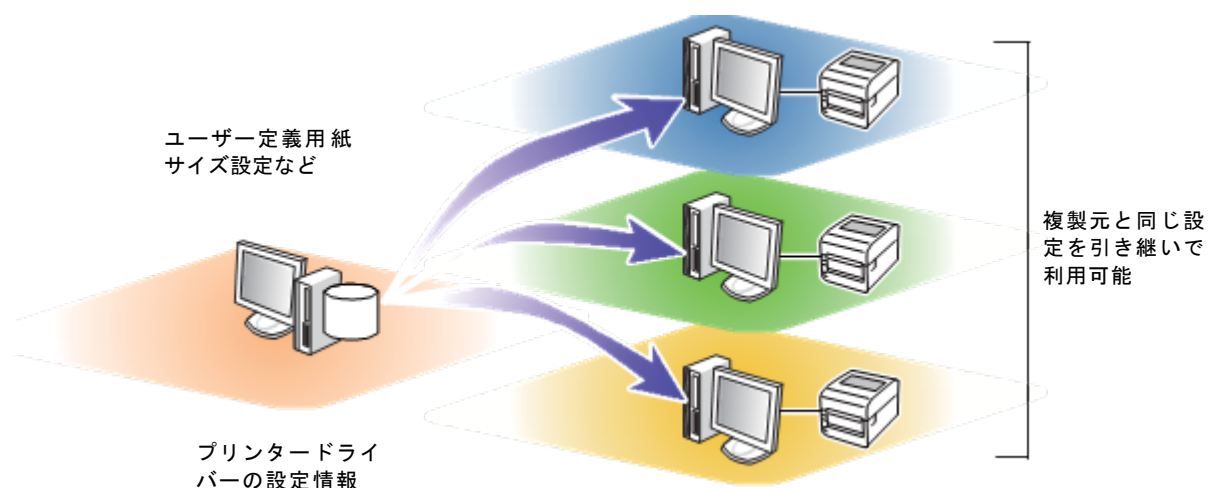
次の表にリモートパネルが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症 状	原 因	対処方法
リモートパネルが起動しない。	プリンターフォルダに必要なプリンタードライバが登録されていません。	プリンタードライバをインストールしてください。
	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
リモートパネルでプリンターへの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
	プリンターがポーズ状態です（ディセレクト状態）。	ONLINE 状態でないとプリンターの設定できません。ONLINE スイッチを押してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中の場合はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。
	プリンターと接続されていません。	インターフェースケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバのポートを設定してください。
リモートパネルでプリンターから設定値を読み込むことができない。	プリンターと接続されていません。	インターフェースケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバのポートを設定してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中の場合はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。

3 章 プリンタドライバ一括設定ツール

この章では、ソフトウェア CD-ROM に収録されている「プリンタドライバ一括設定ツール」の使用方法について説明します。

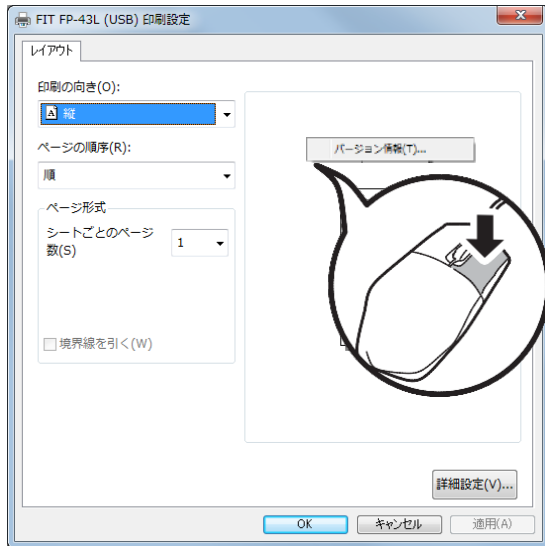
プリンタドライバ一括設定ツールは複数のプリンタドライバのインストール、設定内容の保存、および展開を一括で行うことのできるツールです。コンピュータの買い換えによる再セットアップや複数台のコンピュータをセットアップする時間を短縮するとともに、同じ設定内容を間違えることなく別のコンピュータへ複製することができます。



3-1 制限事項・注意事項

プリンタドライバ一括設定ツールの使用上の制限事項や注意事項は次のとおりです。

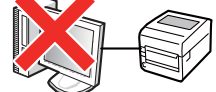
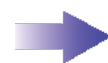
- 異なる OS への情報展開はできません。また、ユニバーサルドライバのバージョンが異なる場合も展開することはできません。バージョンはプリンタのプロパティの「印刷設定」ダイアログで右クリックすることで表示されます。



(例)

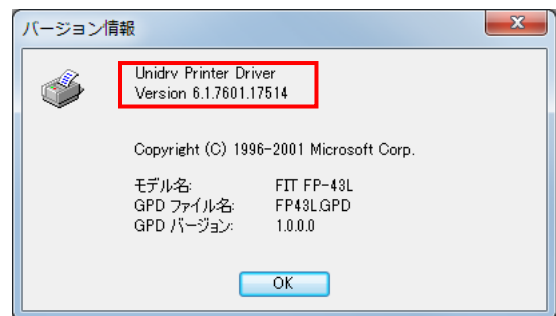
Windows 10

Windows 10 以外



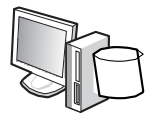
Ver. 1. 2. 3xxx. 4xxxx

Ver. 9. 8. 7xxx. 6xxxx

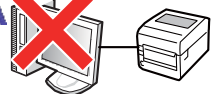
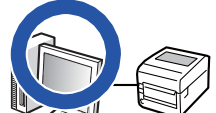


- 現在ログオンしているユーザーの設定に対して情報を展開します。別のユーザーについてはそれぞれログオン直して、情報展開を行ってください（「プリンター設定取得」も同様です）。
（「標準の設定」（すべてのユーザーの既定のプロパティ）を設定することは可能です。）

(例)



ログオンしているユーザー



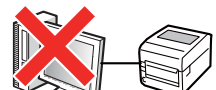
ログオンしていないユーザー

- プリンタのポートの設定は展開されません。別途設定してください。なお、「プリンター追加」で新規にプリンタードライバをインストールする場合、ローカルポートの「LPT1」でインストールされます。
- 「用紙の追加」で同じ名前の用紙が存在する場合、その用紙は登録されません。

(例)



ポート情報



(例)



A4

3-2 起動方法

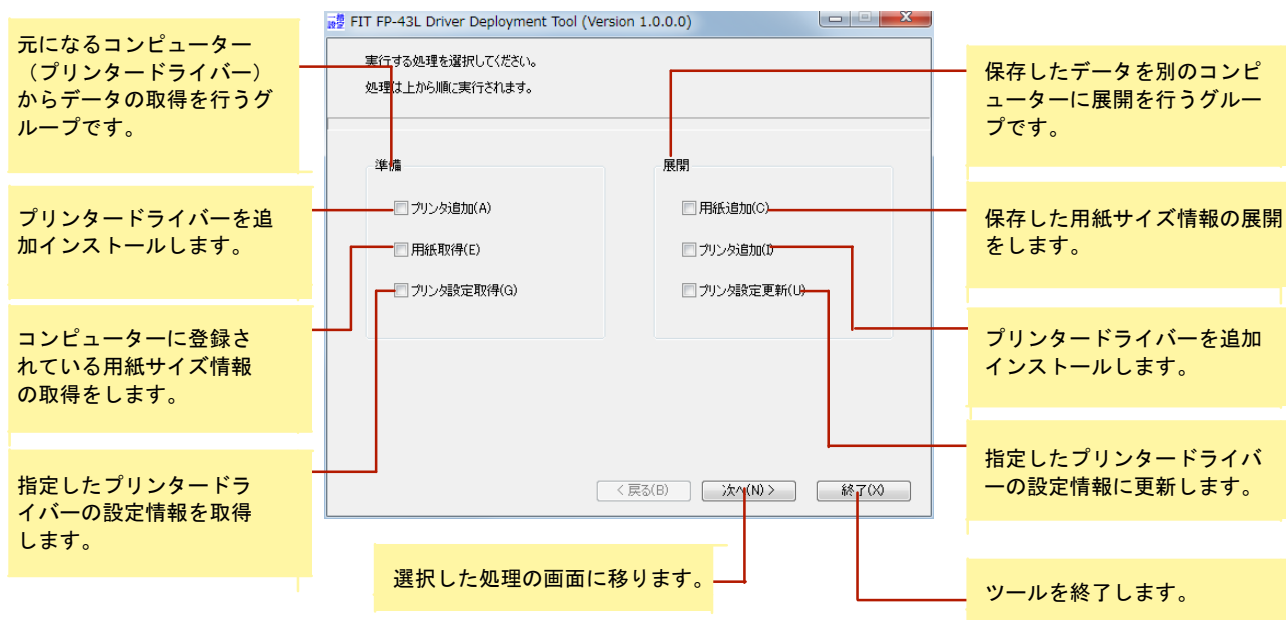
- 1 OSを起動し、情報を取得または展開したいユーザーアカウントでログオンします。
- 2 ソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
[プリンターソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。



- 3 [ドライバー一括設定ツール] ボタンをクリックします。



プリンタドライバー一括設定ツールが起動します。



複数の処理にチェックをつけることができますが、「準備」と「展開」グループ内の処理を同時にチェックすることはできません。

3-3 準 備

別のコンピュータに情報を展開するため、はじめに元となる設定情報が保存されているコンピュータから情報を取り出して準備をします。

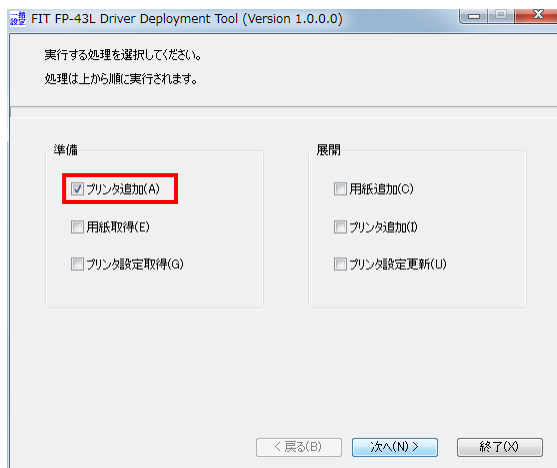
プリンターの追加

Windows のインストーラ（[プリンター] *¹ フォルダから行うプリンターの追加ウィザード）に代わってローカルのコンピュータにプリンターを追加します。一度に複数のプリンターをインストールすることができます。

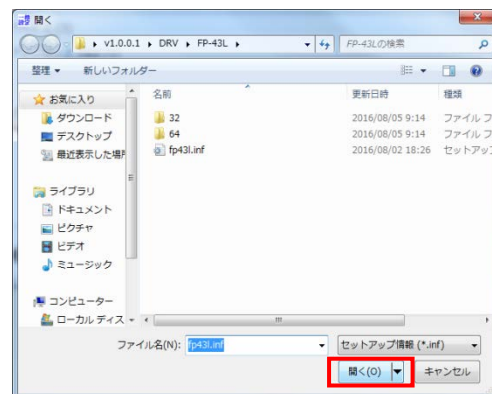
✓ チェック

追加したプリンタードライバーの印刷先ポートは、[LPT1] に固定で設定されます。インストール完了後、必要に応じてポートを変更してください。

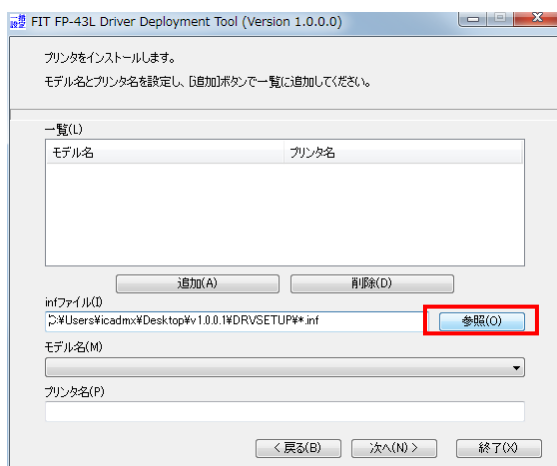
- 1 [準備] の [プリンター追加] にチェックされていることを確認して [次へ] をクリックします。



- 3 インストールしたいプリンタードライバーのセットアップ情報ファイル (.inf) が保存されている場所を指定します

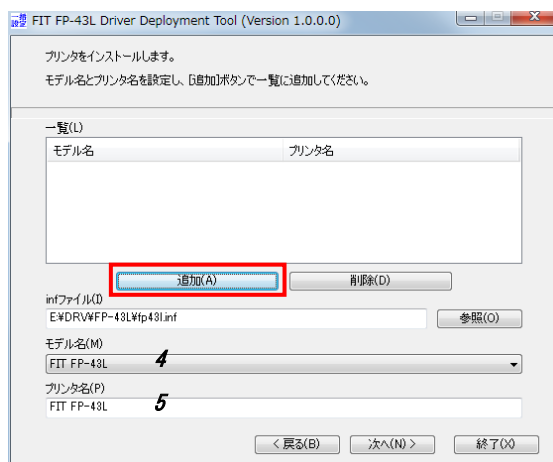


- 2 [参照] をクリックします。



* ¹ Windows XP の場合は、[プリンターと FAX] フォルダです。

- 4 [モデル名] のリストボックスからインストールしたいプリンタードライバーのモデルを選択します。
- 5 プリンター名を変更したい場合は [プリンター名] の入力ボックスに入力します。
- 6 [追加] をクリックします。
追加したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。

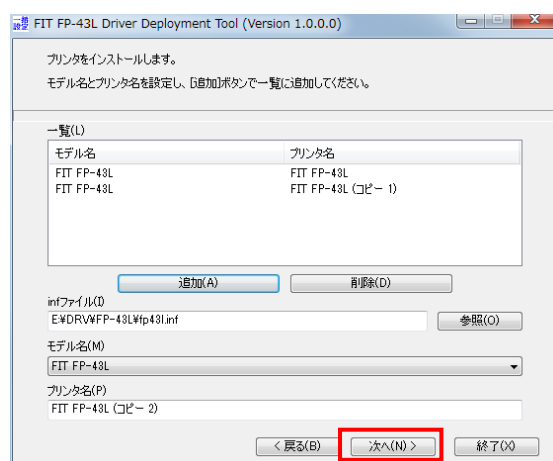


✓ チェック

- 複数のプリンタードライバーをインストールする場合は再度、[参照] をクリックして手順 3 から繰り返してください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して [削除] をクリックしてください。

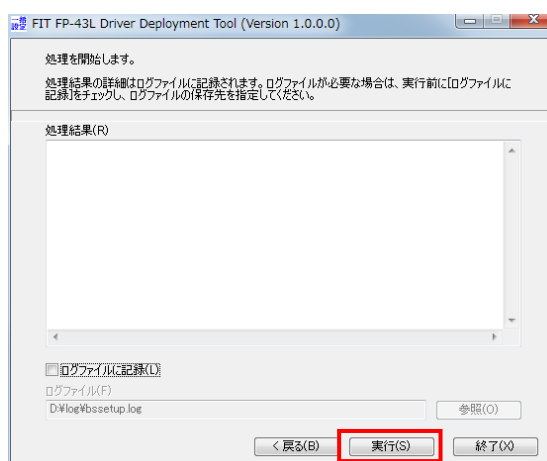
- 7 [次へ] をクリックします。

追加したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。



- 8 [実行] をクリックします。

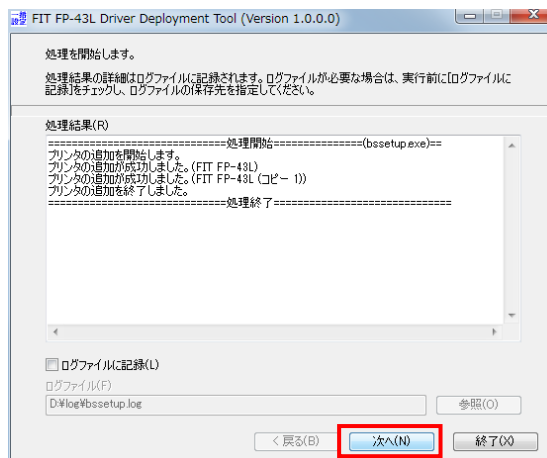
プリンタードライバーの追加を実行します。[処理結果] には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



✓ チェック

- [ログファイルに記録] にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- [処理結果] に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「3-1 制限事項・注意事項」に記載の内容を確認してください。

- 9 [次へ] をクリックします。
起動時の画面に戻ります。

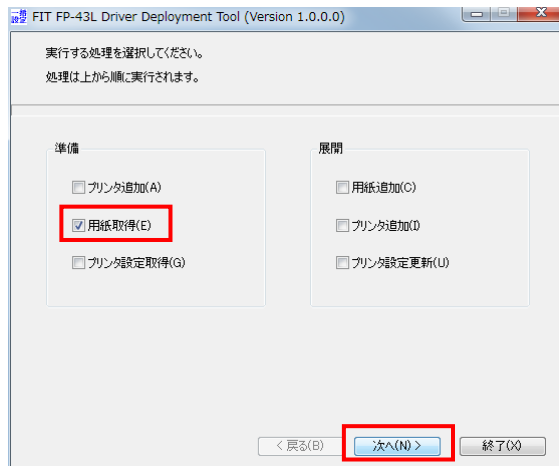


用紙情報の取得

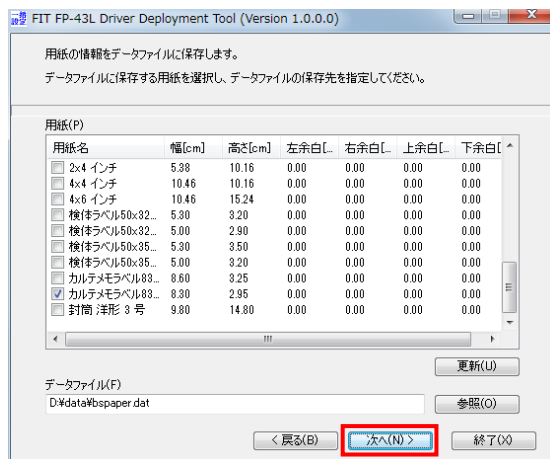
✓チェック

展開先のコンピューターに同じ名前の用紙が存在する場合、その用紙は登録（上書き）されません。

- 1 [準備] の [用紙取得] にチェックされていることを確認して [次へ] をクリックします。



- 2 取得したい用紙情報にチェックを付けて [次へ] をクリックします。

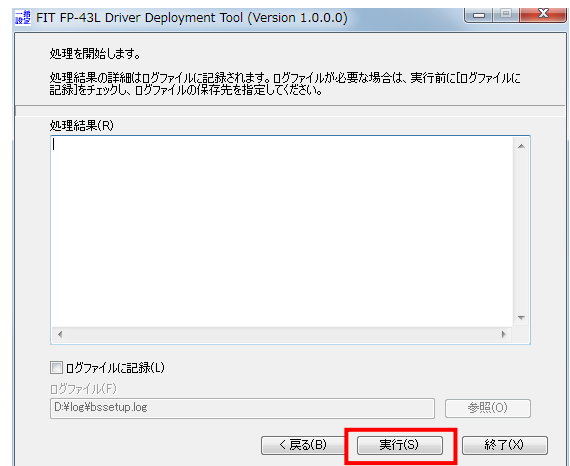


✓チェック

保存するファイル名と保存先は [参照] をクリックして変更することができます。

- 3 [実行] をクリックします。

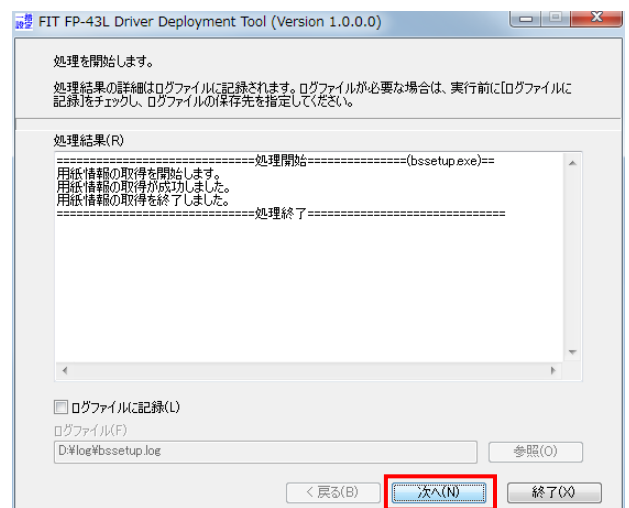
プリンタードライバーの追加を実行します。[処理結果] には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



✓チェック

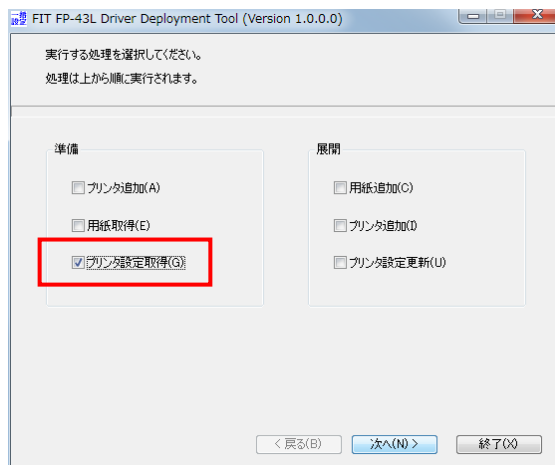
- ・ [ログファイルに記録] にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ・ [処理結果] に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「3-1 制限事項・注意事項」に記載の内容を確認してください。

- 4 [次へ] をクリックします。起動時の画面に戻ります。



プリンター設定の取得

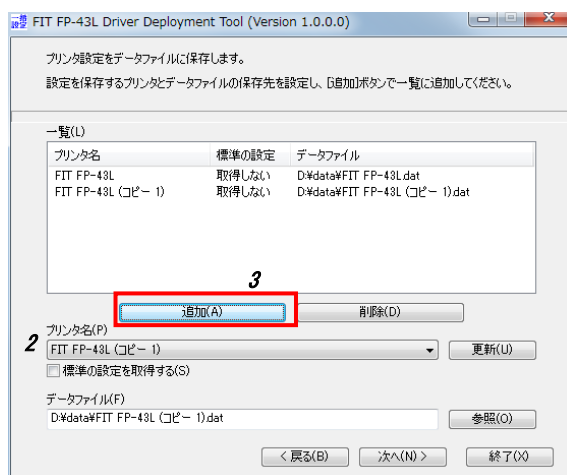
- 1 [準備] の [プリンター設定取得] にチェックされていることを確認して [次へ] をクリックします。



- 2 [プリンター名] のリストから情報を取得したいプリンタードライバーのモデル名を選択します。

- 3 [追加] をクリックします。

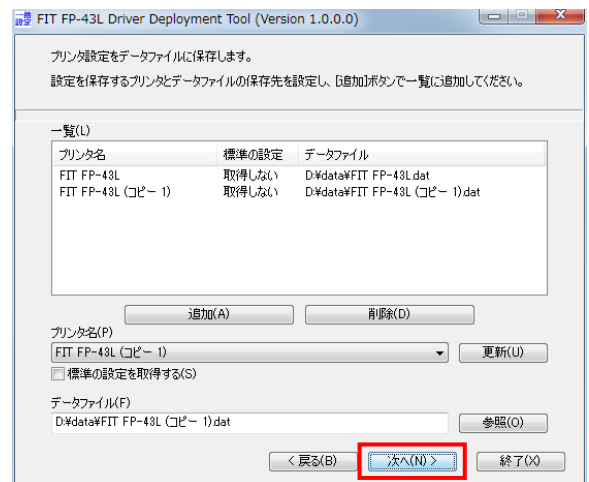
選択したプリンタードライバーが [一覧] に表示されます。[標準の設定を取得する] にチェックを付けると、プリンタードライバーの「標準の設定」も取得します。



チェック

- 「標準の設定」とは、すべてのユーザーの規定のプロパティです。プリンターを共有している場合は、この設定がほかのユーザーの規定のプロパティになります。
- 複数のプリンタードライバーをインストールする場合は再度、[プリンター名] のリストから選択して [追加] をクリックしてください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して [削除] をクリックしてください。

- 4 [次へ] をクリックします。

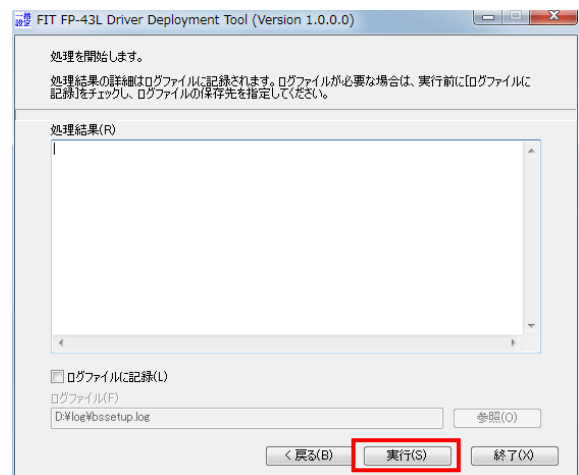


チェック

保存するファイル名と保存先は [参照] をクリックして変更することができます。

- 5 [実行] をクリックします。

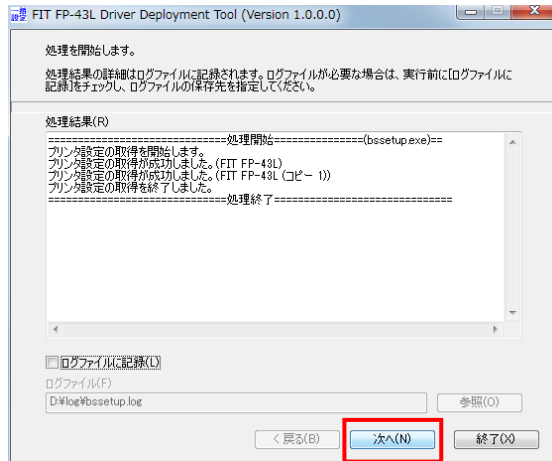
プリンタードライバーの追加を実行します。[処理結果] には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



チェック

- [ログファイルに記録] にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- [処理結果] に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「3-1 制限事項・注意事項」に記載の内容を確認してください。

- 6 [次へ] をクリックします。
起動時の画面に戻ります。

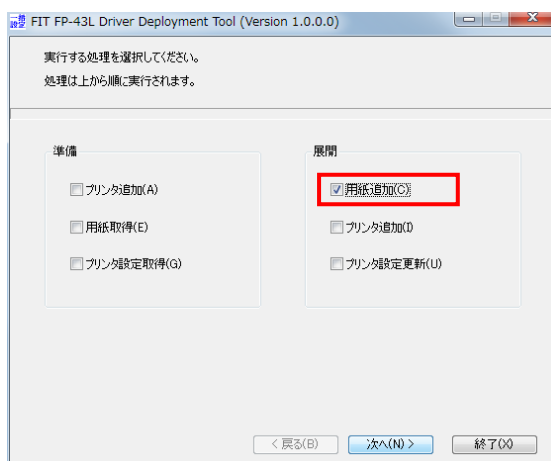


3-4 展 開

「3-3 準 備」で取得した情報を別のコンピューターへ展開します。

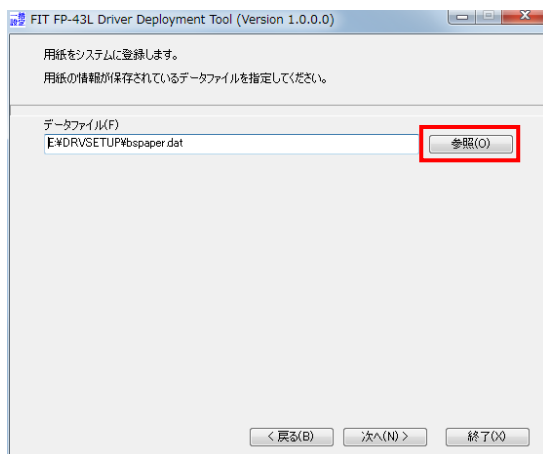
用紙の追加

- 1 「展開」の「用紙追加」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックします。

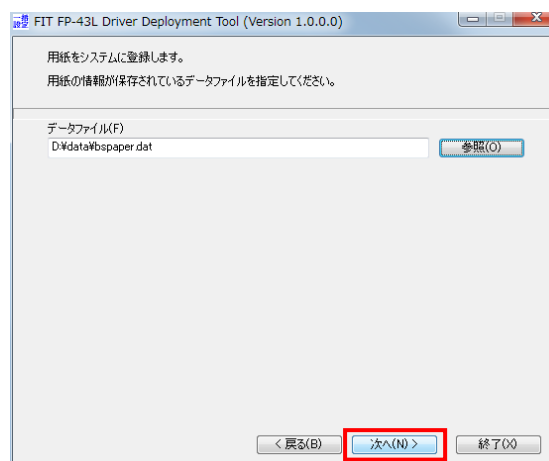


- 2 「参照」をクリックして、「3-3 準 備」の「用紙情報の取得」で保存したファイルを指定します。

「データファイル」の入力ボックスにファイルをドラッグ・アンド・ドロップで指定することもできます。

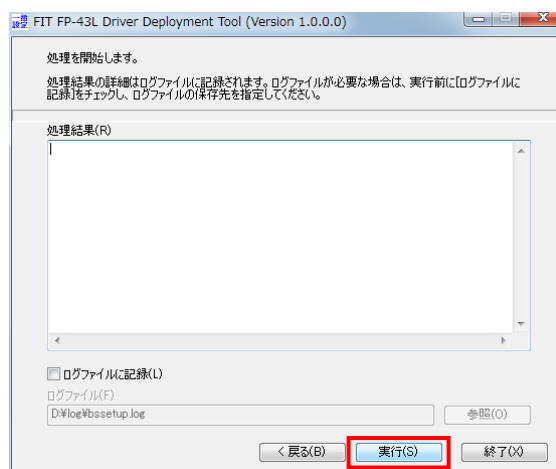


- 3 「次へ」をクリックします。



- 4 「実行」をクリックします。

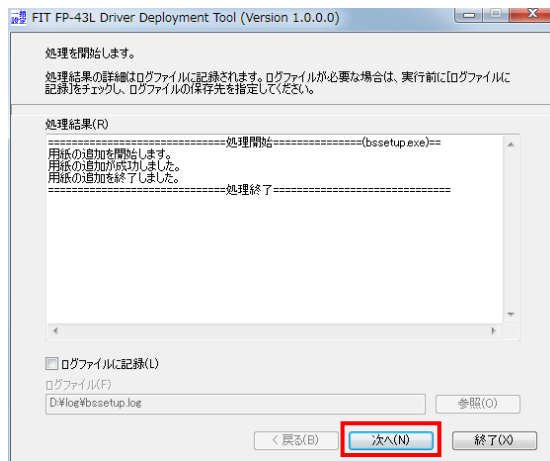
プリンタードライバーの追加を実行します。[処理結果]には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



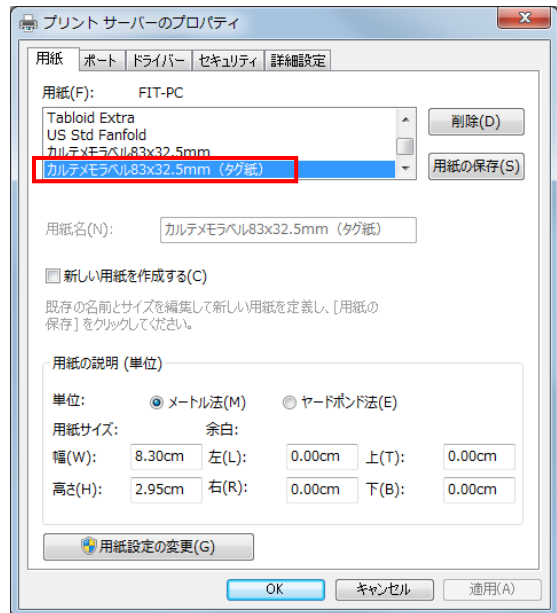
チェック

- ・「ログファイルに記録」にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- ・「処理結果」に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「3-1 制限事項・注意事項」に記載の内容を確認してください。

- 5 [次へ] をクリックします。
起動時の画面に戻ります。



- 6 [プリントサーバーのプロパティ] で指定した用紙が追加されていることを確認します。



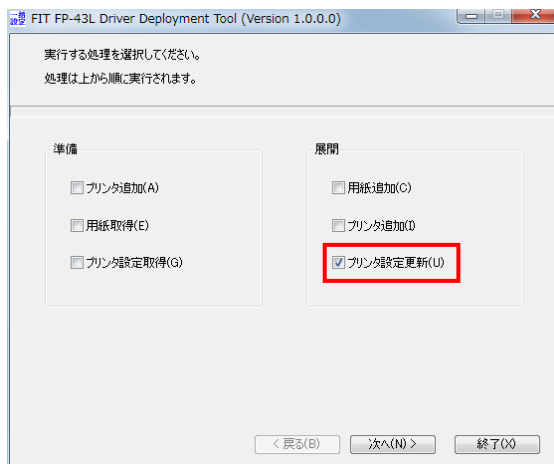
プリンターの追加

操作方法は「3-3 準備」の「プリンターの追加」と同じです。

起動時の画面で [プリンター追加] と [プリンター設定更新] の両方にチェックをつけた場合、プリンターの追加と設定を一度に行うことが可能です。

プリンター設定の更新

- 1 「展開」の「プリンター設定更新」にチェックされていることを確認して「次へ」をクリックします。



- 2 「参照」をクリックして、「3-3 準備」の「プリンター設定の取得」で保存したファイルを指定します。
[データファイル]の入力ボックスにファイルをドラッグ・アンド・ドロップで指定することもできます。

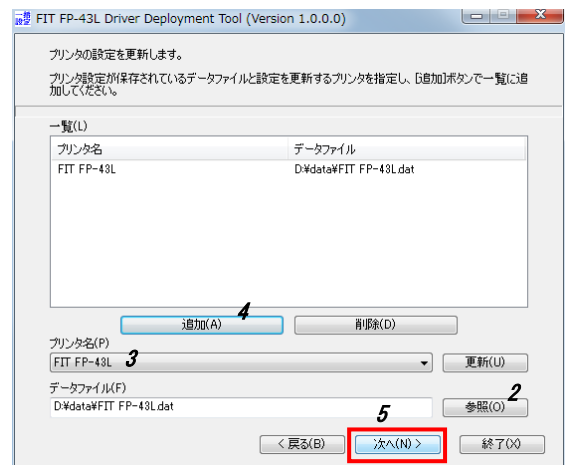
- 3 「プリンター名」のリストから情報を取得したいプリンタードライバーのモデル名を選択します。

- 4 「追加」をクリックします。
選択したプリンタードライバーが「一覧」に表示されます。

✓チェック

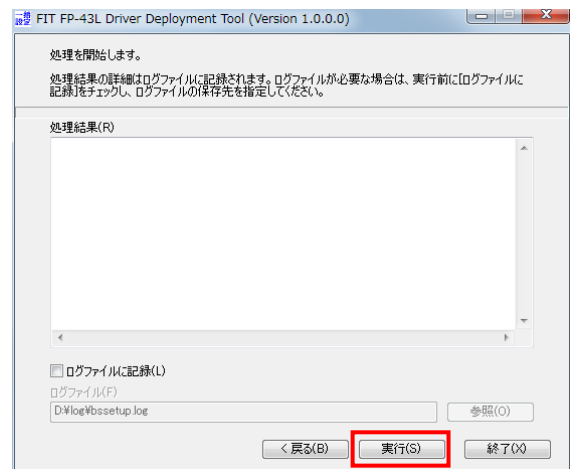
- 複数のプリンター設定を取得する場合は、該当するファイルを「データファイル」で指定して「プリンター名」のリストから選び、「追加」をクリックしてください。
- 一覧から削除したいプリンタードライバーがある場合は、該当のプリンタードライバーを一覧から選択して「削除」をクリックしてください。

- 5 「次へ」をクリックします。



- 6 「実行」をクリックします。

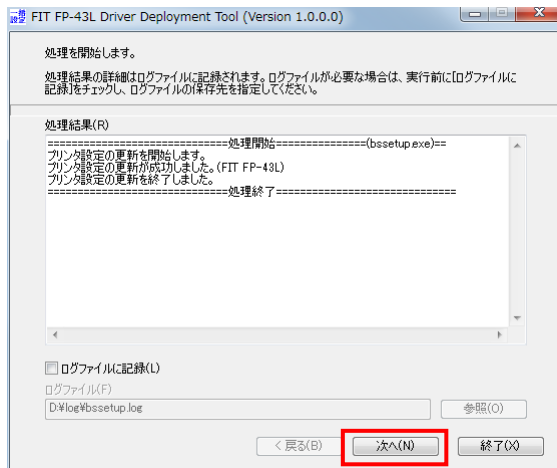
プリンタードライバーの追加を実行します。[処理結果]には処理の進捗状況と処理結果が表示されます。



✓チェック

- 「ログファイルに記録」にチェックしておくことで処理結果をファイルとして保存することができます。
- 「処理結果」に失敗したことを示すメッセージが表示された場合は、「3-1 制限事項・注意事項」に記載の内容を確認してください。

- 7 [次へ] をクリックします。
起動時の画面に戻ります。



印刷先のポートの設定は取り込めません。別途ポートの追加または印刷先の変更を行ってください。

